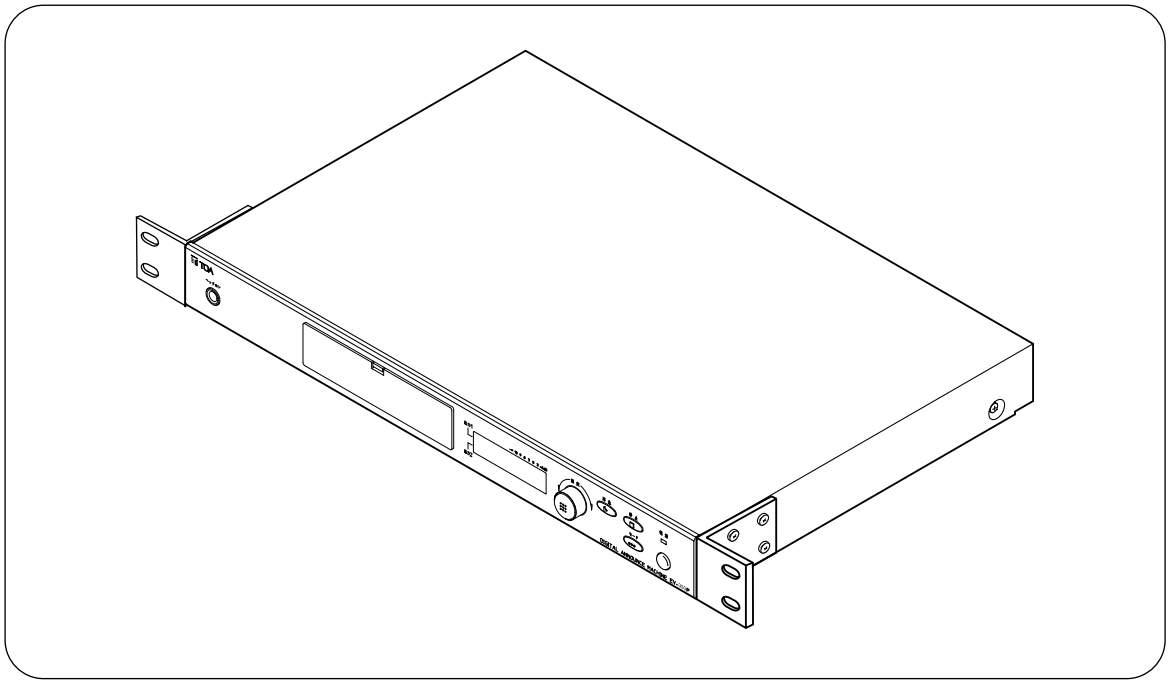
TOA

取扱説明書

デジタルアナウンスマシン　EV-350P



このたびは、TOA デジタルアナウンスマシンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますよう
お願い申し上げます。

TOA 株式会社

目　次

安全上のご注意 …… 6

機器の概要

はじめに
- 概　要 …… 9
- 特　長 …… 9
- 使用上のご注意 …… 9
- メモリーカードについて
  - 使用できるメモリーカード …… 10
  - SRAM メモリーカードの電池交換のしかた …… 10
  - メモリーカードの抜き差し …… 11
  - メモリーカードの取り扱い …… 11

各部の名称とはたらき
- ［前面］…… 12
- ［後面］…… 13

基本操作と機能
- 基本操作と表示画面
  - 各種設定・操作に使用するキーとダイアル …… 14
  - 表示画面の説明 …… 14
- 操作の全体の流れ（再生・設定） …… 15
- 操作機能の一覧（再生・設定）…… 16

文章とプログラム
- 文章とは …… 18
- プログラムとは …… 18

再生の機能と操作

再　生
- 再生する前に
  - 1 元再生モードと 2 元再生モード …… 20
  - 出力表示 …… 20
- 手動操作による再生
  - 操作部と接続部 …… 21
  - 再生のしかた …… 21
  - 再生操作の手順
    - ［出力 1 に設定されたプログラムの再生］ …… 22
    - ［出力 2 に設定されたプログラムの再生］ …… 22
    - ［出力 1 および出力 2 に設定されたプログラムの再生］…… 22
  - 再生中の画面表示 …… 24
  - 再生プログラムの情報表示 …… 25
- 緊急再生（外部起動）…… 26
- 緊急再生の起動 …… 26

設定の機能と操作

設定機能

設定機能（1. プログラムの設定）

プログラム入力の設定（1-1 プログラム入力） …… 27

再生方式

［プログラム連続再生］ …… 28

［プログラム単独再生］ …… 28

［リピート再生］ …… 29

［エンドレス再生］ …… 30

ステップの入力／削除／挿入 …… 31

プログラムの出力レベルの設定（1-2 出力レベル） …… 32

プログラムの確認（1-3 プログラム確認） …… 32

プログラムの初期化（1-4 プログラム初期化） …… 32

プログラムタイトルの入力・編集（1-5 プログラムタイトル入力） …… 32

設定機能（2. 文章の編集）

文章の確認（2-1 文章確認） …… 32

［録音音質について］ …… 32

設定機能（3. 文章／プログラムのモニタ）

文章のモニタ（3-1 文章モニタ） …… 33

プログラムモニタ（3-2 プログラムモニタ） …… 33

設定機能（4. 出力／音量の調節）

1元再生モード／2元再生モードの切り換え（4-1 1元／2元再生切り換え） …… 33

全体音量の設定（4-2 全体音量） …… 33

設定機能（5. 本体の動作設定）

リモート制御機能設定（5-1 制御機能設定）〔再生、停止〕 …… 34

リモート制御の起動モード切り換え（5-2 起動モード切り換え）

［起動モード］ …… 36

ダイレクトモード

［リモート再生］ …… 37

［リモート停止］ …… 38

バイナリモード

［リモート再生］ …… 39

［リモート停止］ …… 40

ビジー出力および再生遅延時間の設定（5-3 ビジー設定）

［ビジー出力の設定］ …… 41

［再生遅延時間の設定］ …… 41

設定機能（6. 本体の環境設定）

操作ビープ音の設定（6-1 操作ビープ音） …… 41

RS-232C の設定（6-2 RS-232C 設定） …… 41

パスワードの設定（6-3 パスワード） …… 42

本体初期化（6-4 本体初期化） …… 42

キーロックの設定（6-5 キーロック） …… 42

バージョン表示（6-6 バージョン） …… 42

設定機能（7. カードの編集）

カードネームの入力・編集（7-1 カードネーム入力） …… 42

ソフトライトプロテクト（7-4 ソフトライトプロテクト） …… 43

設定機能（8. プログラムコピー）
プログラムのコピー（8-1 プログラムコピー） …… 43
設定機能（9. オートレベル設定）
オートレベル調整（9-1 オートレベル調整） …… 43
設定操作
設定の操作例
設定のしかた …… 44
プログラムの内容と初期値 …… 45
設定操作（1. プログラムの設定）
設定操作の手順（1-1 プログラム入力） …… 46
設定操作の手順（1-2 出力レベル、1-3 プログラム確認） …… 50
設定操作の手順（1-4 プログラム初期化、1-5 プログラムタイトル入力） …… 52
設定操作（2. プログラムの編集）
設定操作の手順（2-1 文章確認） …… 54
設定操作（3. 文章／プログラムのモニタ）
設定操作の手順（3-1 文章モニタ、3-2 プログラムモニタ） …… 55
設定操作（4. 出力／音量の調節）
設定操作の手順（4-1 1元／2元再生切り換え、4-2 全体音量） …… 56
設定操作（5. 本体の動作設定）
設定操作の手順（5-1 制御機能設定） …… 57
設定操作の手順（5-2 起動モード切り換え、5-3 ビジー設定） …… 58
設定操作（6. 本体の環境設定）
設定操作の手順（6-1 操作ビープ音、6-2 RS-232C 設定、6-3 パスワード、
6-4 本体初期化、6-5 キーロック、6-6 バージョン） …… 60
設定操作（7. カードの編集）
設定操作の手順（7-1 カードネーム入力、7-4 ソフトライトプロテクト） …… 62
設定操作（8. コピー）
設定操作の手順（8-1 プログラムコピー） …… 64
設定操作（9. オートレベル調整）
設定操作の手順（9-1 オートレベル調整） …… 65
文字入力のしかた
使用できる文字、記号、コマンド …… 66
文字／コマンド表示部と選択ダイヤルの操作 …… 66
文字の入力例 …… 67
放送のしかたと設置・接続
入力機器の放送
入力機器の放送のしかた …… 68
設　置
接続例
前　面 …… 68
後　面 …… 68
端子台 …… 69
異常出力端子（後面端子台）の動作 …… 69
ラックマウントのしかた …… 70
ゴム足の取り付けかた …… 70
RS-232C 端子の移設 …… 71

仕　様

仕　様
付属品 …… 73

安全上のご注意

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を強制する記号
注　意	分解禁止　 禁　止　 接触禁止	電源プラグを抜け

⚠ 警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注　意

●煙が出ている、変なにおいがするとき
●内部に水や異物が入ったとき
●落としたり、ケースを破損したとき
●電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）
●音が出ないとき

⚠ 警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

使用するとき

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

内部に異物を入れない

本機の通風孔やメモリーカード挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

⚠ 注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

設置場所に注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁　止

⚠ 注意　誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

使用するとき

定期的に内部の掃除を

内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。

注　意

電源プラグやコンセント部の掃除を

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。

注　意

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

はじめに

■ 概　要

本機は、録音メディアにメモリーカードを使用したメンテナンスフリーの再生専用デジタルアナウンスマシンです。

■ 特　長

- 液晶表示による操作指示や選択ダイヤルの操作により簡単に再生ができます。
- メモリーカードは 2 枚まで実装できます。
- EV-350R で録音した最大 1024 文章を組み合わせて、プログラムとして再生することができます。
- 最大 256 プログラムを再生できます。
- 完全な 2 元再生が可能です。
- 緊急制御機能により緊急時のメッセージを他のプログラムに優先して再生することができます。
  （緊急時のメッセージはあらかじめ録音しておく必要があります。）
- 再生、停止が外部機器からリモート制御できます。
- フロントカバーによりメモリーカードの誤脱着を防止することができます。
- キーロック機能により誤操作やいたずらを防止できます。
- 業務緊急・停電放送用の非常電源パネル（別売）と接続することができ、停電時でも動作できます。
- インターバルタイマ機能によりインターバル放送ができます。

■ 使用上のご注意

- 付属の電源コードは、本機専用品です。本機以外の機器に使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- 湿気やほこりの多い場所で使用したり、放置しないでください。故障の原因になります。
- フロントパネルやケースなどがほこりや油などで汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。
  ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

■ メモリーカードについて

本機に使用するメモリーカードは別売ですので、別途ご用意ください。

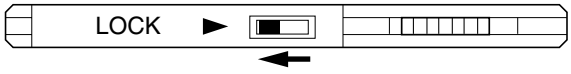
● 使用できるメモリーカード

本機では EV-350R で録音されたカードのみが使用できます。
本機で使用できないメモリーカードが実装された場合は、そのカードが使えないという表示がでます。
使用できるカードでも、そのカードがこわれているときにはこの表示がでます。
この表示が出た場合は、メモリーカードを交換してください。

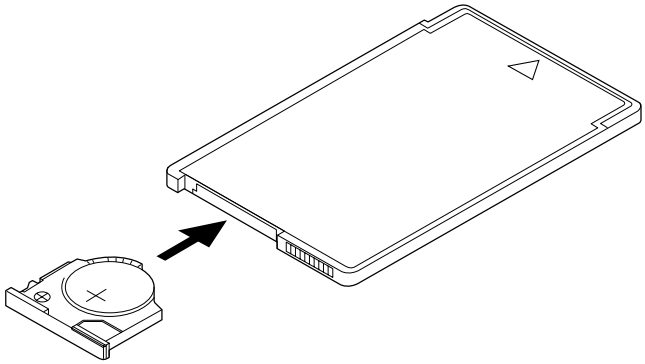
● SRAM メモリーカードの電池交換のしかた

交換用電池は市販のリチウム電池 BR2325 または CR2325 をご用意ください。

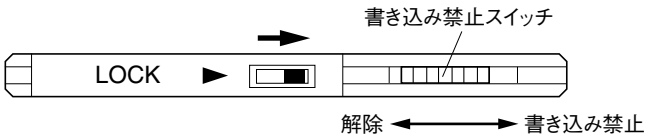
1. LOCK スイッチを左側にスライドさせ、電池ホルダーを引き出します。



2. 上側が［＋］になるように電池をホルダーに入れ、メモリーカード本体に差し込みます。



3. LOCK スイッチを右側にスライドさせ、電池ホルダーが抜けないようにロックします。



ご注意 EV-F シリーズには電池および電池ホルダーが付属していません。

[バックアップ用電池の交換方法（EV-F シリーズは除く）]
電池が消耗してきますと、液晶画面に「カードA　バッテリーコウカン」

ｶｰﾄﾞAﾊﾞｯﾃﾘｰｺｳｶﾝ

または「カードA　バッテリーナシ」というメッセージが表示されます。

ｶｰﾄﾞAﾊﾞｯﾃﾘｰﾅｼ

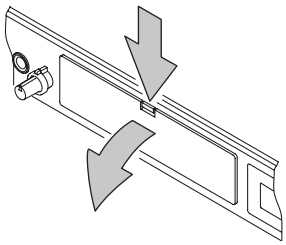
※「カードA　バッテリーナシ」のメッセージが表示されましたら、なるべく早く電池を交換してください。

・SRAM メモリーカード（EV-M256, M512, M1024, M2048）は、バックアップ用電池交換時にも録音内容を消さないための補助電池が内蔵されています。
・補助電池は充電式で、本機に差し込んで 30 分以上充電すると、電池交換時に約 10 分間録音内容を保持できます。
・電池を交換するときは、必ず本機（通電状態）に 30 分以上差し込んで、補助電池を完全に充電してから交換してください。
・バックアップ用電池の寿命は、EV-M256 で約 5 年、EV-M512 で約 4 年、EV-M1024 で約 2 年、EV-M2048 で約 1 年です。
・バックアップ用電池（交換用）は、BR2325 または CR2325 をご使用ください。（BR2325, CR2325 は市販のリチウム電池です。）

● メモリーカードの抜き差し

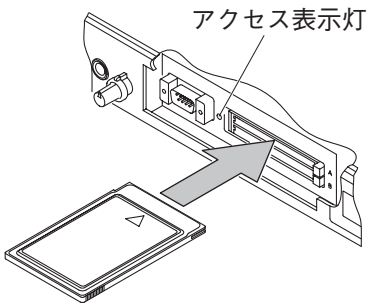
メモリーカードの抜き差しは、フロントカバーを取り外してから行います。

1. フロントカバーのつめを下に押して、取り外します。

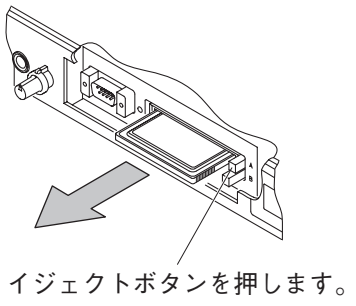


2. メモリーカードの抜き差し

［メモリーカードの差しかた］



［メモリーカードの抜きかた］



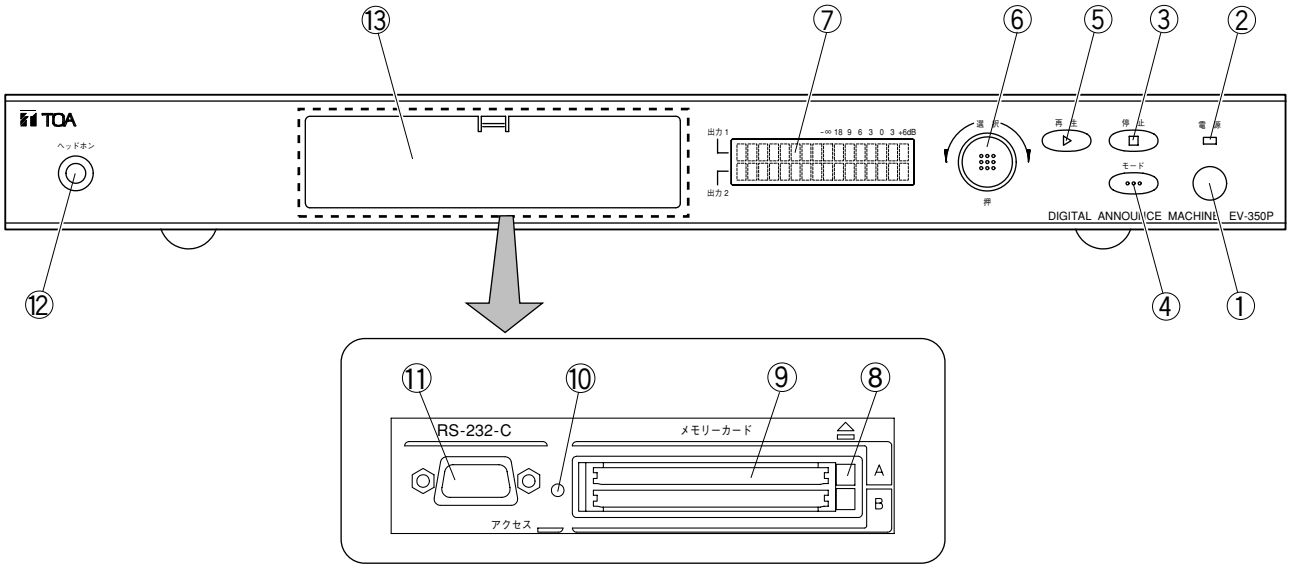
ご注意　アクセス表示灯が点灯、点滅しているときは、カードの抜き差しはしないでください。
カードのデータが失われることがあります。

● メモリーカードの取り扱い

・表面をアルコール類で拭かないでください。
・直射日光に当てないでください。
・電池は早めに交換してください。（EV-F シリーズは除く）
・水にぬらさないでください。
・カードを保管するときは、カードに付属の静電保護袋（青色）に入れてください。（端子への異物の付着防止にもなります。）

各部の名称とはたらき

［前 面］



①電源スイッチ
電源を「入/切」するときに押します。

②電源表示灯
電源が入ると点灯します。

③停止キー
再生を停止するときに押します。

④モードキー
初期画面から設定のメニュー画面に切り換えるときに押します。（☞ P. 14）

⑤再生キー
初期画面から再生待機状態に切り換えるときや、再生待機状態から指定したプログラムを再生するときに押します。
設定画面で押すと再生待機状態に切り換わります。（☞ P. 14）

⑥選択ダイヤル
再生や設定の画面で動作を選択するときに操作します。（☞ P. 14）

⑦表示画面（液晶表示）
再生の状態、設定内容などを表示します。

⑧イジェクトキー（A, B）
メモリーカードスロット（A, B）のカードを取り出すときに押します。

⑨メモリーカードスロット（A, B）
メモリーカードを挿入します。

⑩アクセス表示灯
カードのデータを読み出したり、カードにデータを書き込んだりするときに点灯します。

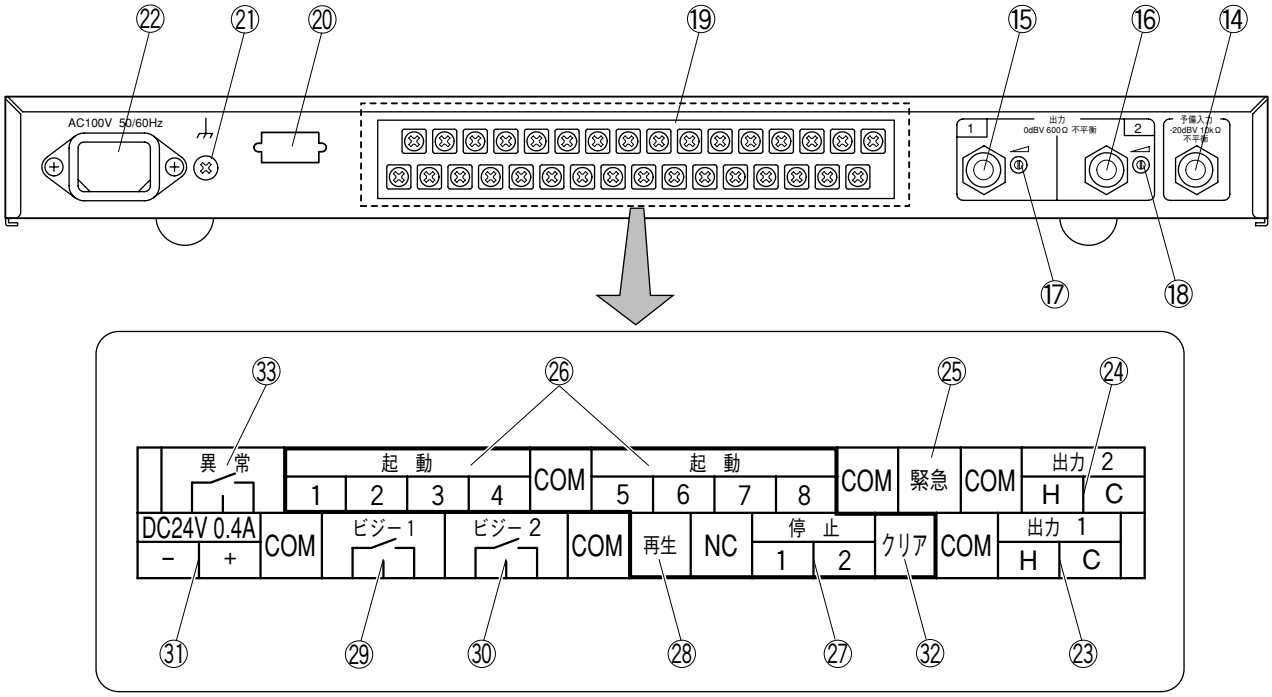
ご注意 アクセス表示灯が点灯、点滅しているときは、カードの抜き差しはしないでください。カードのデータが失われることがあります。

⑪RS-232C 端子
外部機器の RS-232C 端子と接続します。
（D-sub 9 ピン　オス）

⑫ヘッドホン出力
モニタ用のヘッドホンを接続します。

⑬フロントカバー

［後 面］



⑭予備入力
放送用の外部演奏機器を接続します。

⑮出力１
本機の再生信号や予備入力の信号を出力します。
（☞ P. 68）

⑯出力２
本機の再生信号や予備入力の信号を出力します。

⑰出力１音量調節ボリウム

⑱出力２音量調節ボリウム

⑲端子台（☞ P. 69）

⑳RS-232C 端子取り付け部
前面の RS-232C 端子を後面へ移動できます。
（☞ P. 71）

㉑アース端子
必ず接地してください。

㉒AC インレット
付属の AC 電源コードを接続します.

㉓出力１
ホーンジャックの出力１（⑮）と同じ信号を出力します。（☞ P. 68）

㉔出力２
ホーンジャックの出力２（⑯）と同じ信号を出力します。

㉕緊急再生起動制御入力
緊急文章を再生するときにメイクします。
（☞ P. 26）

㉖起動制御入力１～８
プログラムを再生するときにメイクします。
（☞ P. 34）

㉗停止制御入力
再生を停止するときにメイクします。

㉘再生制御入力
バイナリ制御で再生するときにメイクします。

㉙ビジー出力１
出力１に設定されたプログラムの再生中やにメイク接点を出力します。（☞ P. 41）

㉚ビジー出力２
出力２に設定されたプログラムの再生中にメイク接点を出力します。

㉛DC24V 端子
DC24V 電源を接続します。

ご注意 AC100V 電源と DC24V 電源を同時には使用できません。
必ずどちらか一方で動作させてください。

㉜クリア端子
順次記憶再生モードでの再生時に、記憶した入力すべてをクリアするときに使用します。

㉝異常出力端子
通常はメイクします。メモリカードが挿入されてないときや機器に異常があるとき、ブレイクします。（☞ P. 69）

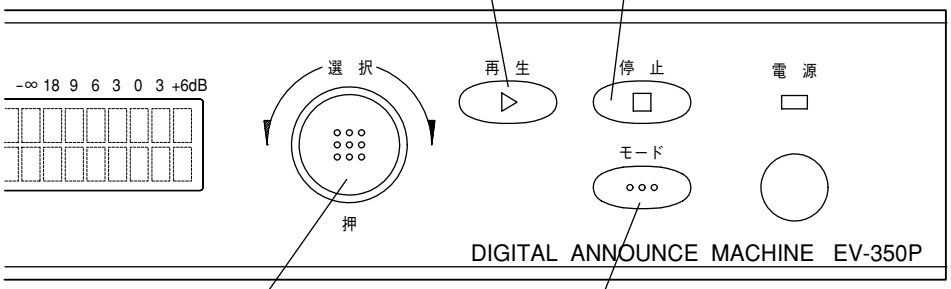
基本操作と機能

■ 基本操作と表示画面

● 各種設定・操作に使用するキーとダイアル

停止キー
- 再生を終了します。
- 各種機能設定時にメニュー画面で押すと初期画面に、設定画面で押すと直前のメニュー画面に戻ります。手順中の操作は 停止 で表わしています。

再生キー
再生操作に使用します。手順中の操作は 再生 で表わしています。

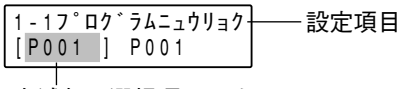


選択ダイアル
回すことにより、メニュー画面の選択ができます。また、選択項目で点滅部が変化し選択できます。(点滅表示がないときは、選択する内容がありません。) 手順中の操作は 選択 で表わしています。
押すと、次画面の表示に移ります。手順中の操作は 選択 で表わしています。

モードキー
- 初期画面表示中に押すと、設定のメニュー画面が表示されます。
- 再生待機中または再生中に、再生プログラム情報を表示させます。手順中の操作は モード で表わしています。

● 表示画面の説明

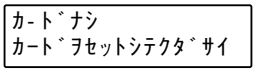
プログラム入力の設定画面の例で説明します。



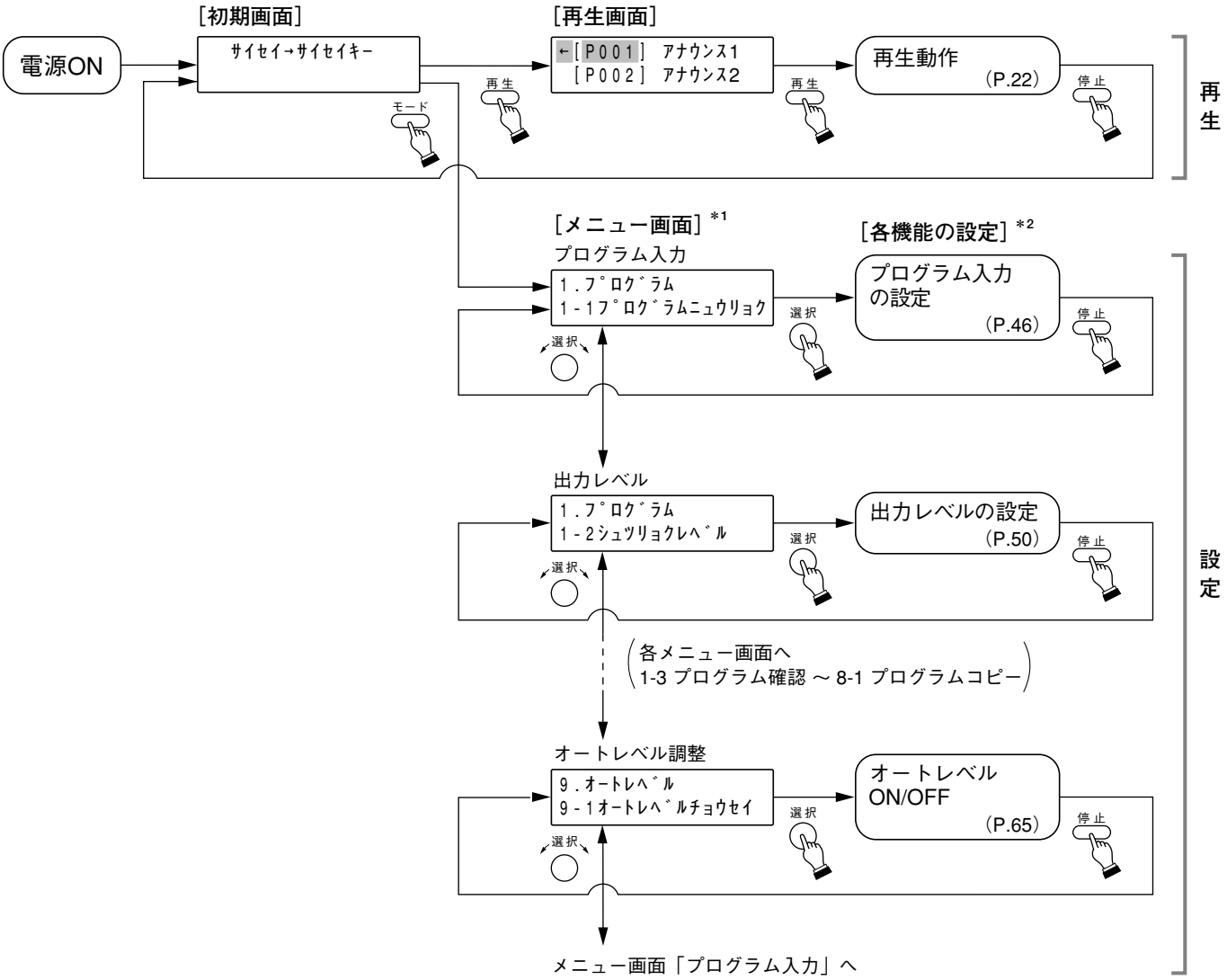
設定項目

点滅部は選択項目です。
選択ダイアルを回すと選択項目が変化し選択できます。

※電源ON時にカードが入っていないと下記の表示になります。表示のとおりカードを挿入してください。



■ 操作の全体の流れ（再生・設定）



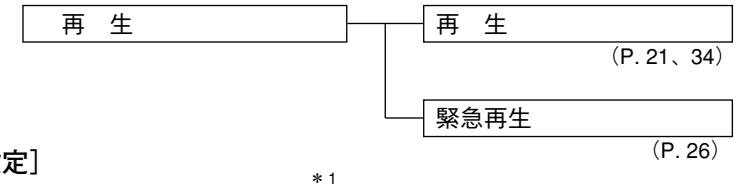
*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

■ 操作機能の一覧（再生・設定）

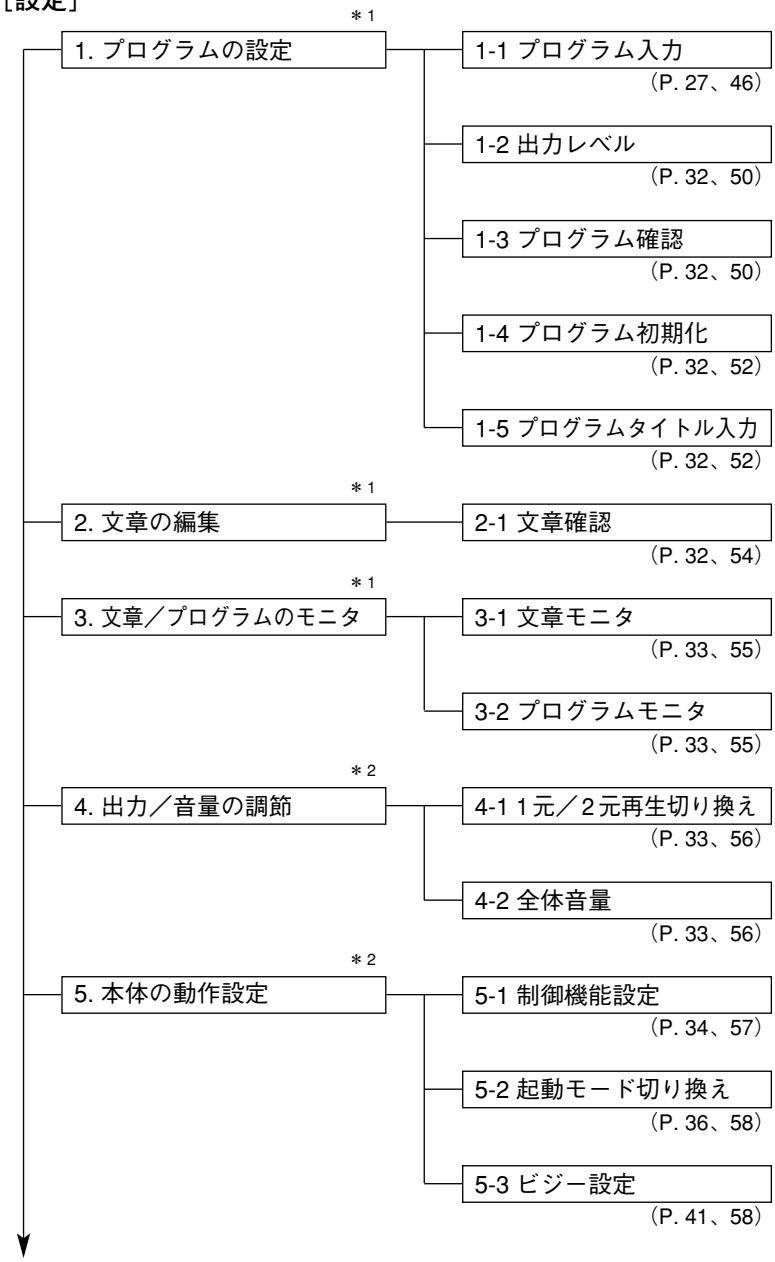
［再生］



設定した出力に関係なく出力１にのみ再生する「1元再生モード」と、プログラムごとに異った出力先に再生をする「2元再生モード」があります。

外部機器からの放送またはプログラム再生をしているときでも優先して緊急の放送ができます。

［設定］



プログラムごとに文章番号、再生方式、出力先などを設定します。

作成されたプログラムごとに出力レベルを設定します。

作成されたプログラムのプログラムタイトル、再生方式および内容の確認ができます。

プログラム番号を指定して、作成したプログラムを初期化します。

作成したプログラムにタイトルを付けたり、登録されたタイトルを修正します。

録音されている文章の録音音質、文章タイトルおよび時間を確認します。

録音されている文章をヘッドホンでモニタします。

作成したプログラムをヘッドホンでモニタします。

プログラム再生時の出力を１元再生または２元再生に切り換えます。

プログラム再生全体の音量を設定します。

リモート制御方式をダイレクトモードかバイナリモードのどちらかに設定します。

リモート再生、リモート停止のそれぞれに起動モードを設定します。

プログラム再生時およびシステム設定時のビジー出力（ON／OFF）を設定します。

次ページへ

前ページより

キー操作時にビープ音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

RS-232C の通信速度を設定します。

パスワードを設定しておくと、キーロック機能を ON にして操作やいたずら防止をすることができます。

本体のすべての設定を工場出荷時の設定にします。

キーロック機能を ON にすると電源キー以外のキーやダイアルは機能しなくなります。

本体プログラムソフトのバージョンを表示します。

録音されているカードに名前を付けたり、登録されたカードネームを修正します。

カードに設定された内容にプロテクトをかけます。

作成したプログラムを別のプログラム番号にコピーします。

オートレベル調整機能を ON にすると、録音レベルの異なる文章をプログラム再生しても同じ音量で再生できます。

＊1 メモリカードに設定内容が登録されます。
＊2 機器本体に設定内容が登録されます。

文章とプログラム

■ 文章とは

文章とは録音データの最小単位で一度の録音で一つの文章ができます。

■ プログラムとは

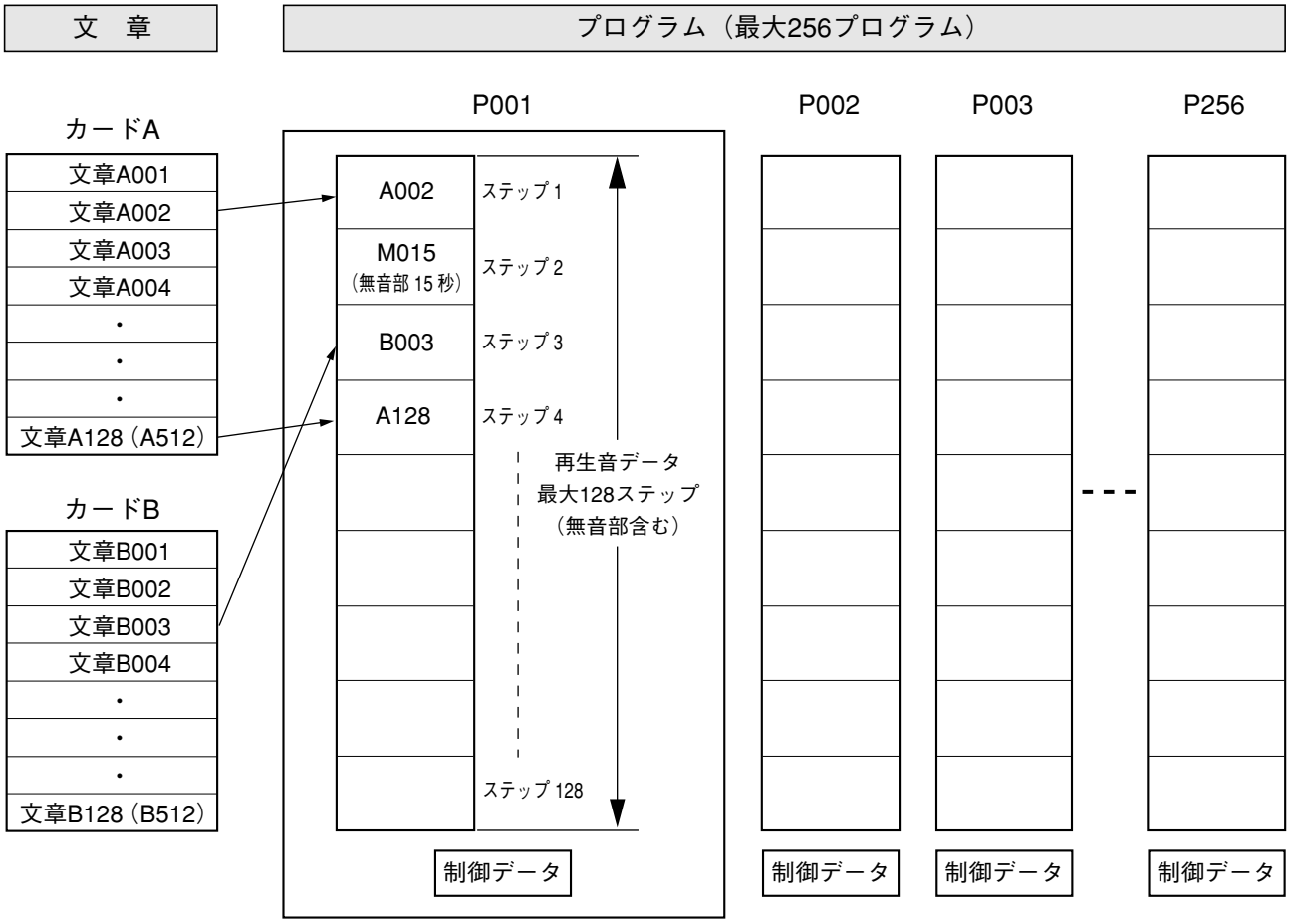
- プログラムとは「再生音データ*1」と「制御データ*2」からなる再生データのことです。
  プログラムはカードAに書き込まれます。
  *1 「文章」と「無音部」を組み合わせたデータ。
  *2 「再生方式」、「出力先（出力1、出力2、出力1および2）」、「タイトル（名称）」および「出力レベル（音量）」を設定したデータ。
- 1つのプログラムの「再生音データ」には「文章」と「無音部」が最大128ステップ（再生する順序のこと）まで組み合わせることができます。
- それぞれのプログラムには8文字までの名称を付けることができます。
  名称の文字はカタカナ、数字、アルファベット（大文字、小文字）、記号を使用することができます。
- 本機で入力できるプログラム数は最大256（P001～P256）です。プログラムの数はカードの挿入枚数が1枚でも2枚でも変わりありません。
- 1つの「無音部」には0～127秒まで入力することができ、0～10秒は0.1秒単位で、10～127秒は1秒単位で設定します。
- 再生はカードAに書き込まれたプログラムを指定して行います。文章を指定しての再生はできません。

[プログラムに入力する内容]

データ	内　容
再生音データ	文章と無音部の組み合わせ（最大128ステップ）
制御データ	再生方式（4方式の内のいずれか）
	出力（出力1、出力2または出力1と出力2に同時）
	プログラムの名前（プログラムタイトル）
	プログラムの音量

※データを入力しない場合は、工場出荷時の初期設定によりプログラム再生します。
（☞ P. 20）

本機で入力できるプログラム数は最大256プログラムです。（カードの枚数には関係しません）
プログラムで使用する文章は、カードスロットA、カードスロットBのどちらのカードからでも読み出すことができます。



※「制御データ」の詳しい説明は、P. 35「プログラム入力の設定」をご覧ください。

再　生

再生はプログラムを指定することにより行われます。（☞ P. 18）
再生を行う前にプログラムを入力します。（☞ P. 27）

■ 再生する前に

● 1元再生モードと2元再生モード

本機には出力1、出力2の2つの出力があり、プログラムごとにその出力先を設定することができます。

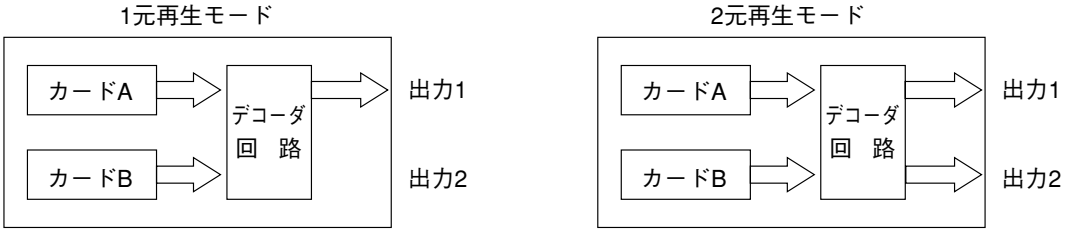
［1元再生モード］

設定した出力に関係なく出力1にのみプログラム再生音が放送されます。
出力1に設定したプログラムと出力2に設定したプログラムを同時に再生すると、再生音は出力1にミキシングされて放送されます。

［2元再生モード］

設定した出力先に応じてプログラムごとに異なった再生音を放送することができます。

※工場出荷時には2元再生モードに設定されています。1元再生モードにする場合はP. 56をご覧くだ さい。



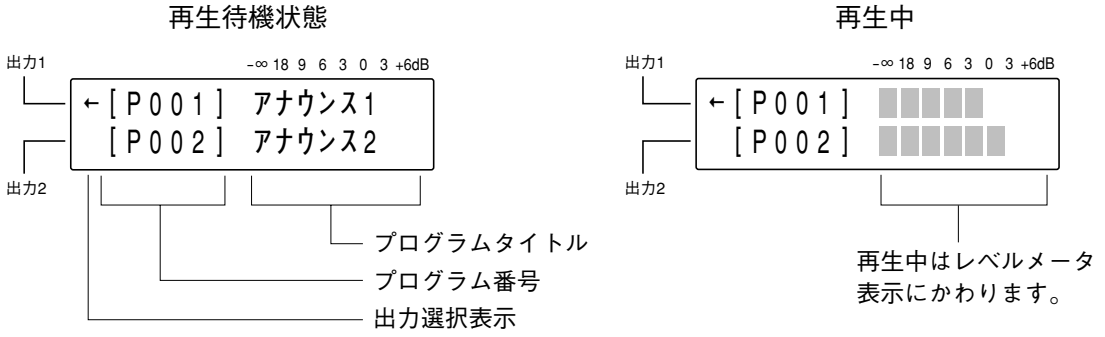
● 出力表示

［プログラム表示］

再生待機状態では、再生するプログラムのプログラム番号とプログラムタイトルが表示されます。
表示画面の上段に出力1に設定されたプログラムが表示され、下段には出力2に設定されたプログラムが表示されます。
出力1、出力2の両方に設定されたプログラムは上下段の両方に表示されます。

［出力選択表示］

再生待機状態や再生中には表示画面の左端に矢印が表示されます。
矢印は選択ダイヤルを押すごとに上段、下段、上下段両方の順で切り換わります。

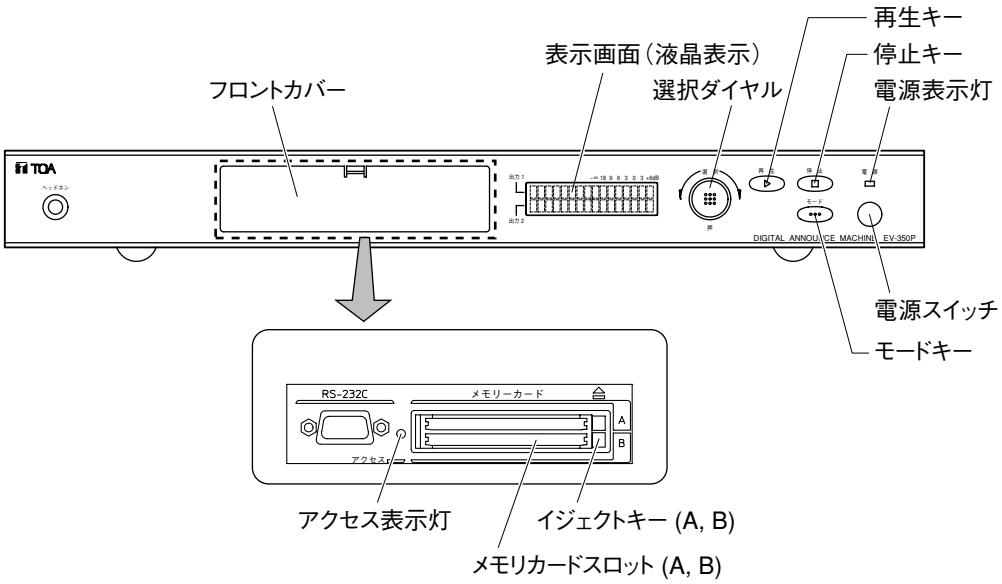


■ 手動操作による再生

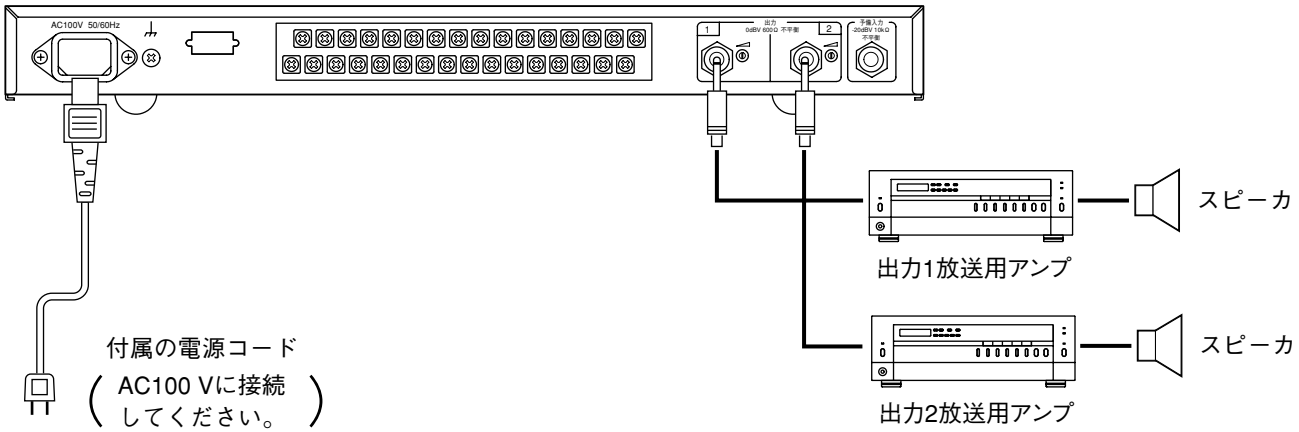
※ リモート制御による再生については、P. 34「5-1　制御機能設定〔再生、停止〕」をご覧ください。

● 操作部と接続部

［前 面］



［後 面］



● 再生のしかた

ここではすでに入力されているプログラムを再生する方法について説明します。

1. 接続を確認した後、本機のフロントカバーを外し、メモリーカードをセットします。
- メモリーカードをセットしたときは、最初に約3秒間メモリーカードの情報を読み出すためにカードにアクセスします。アクセスしている間は各キーの操作は受け付けません。
- カードにアクセスしている間はカードの抜き差しはしないでください。
  アクセス中にカードを抜き差しした場合は、カードのデータが失われることがあります。

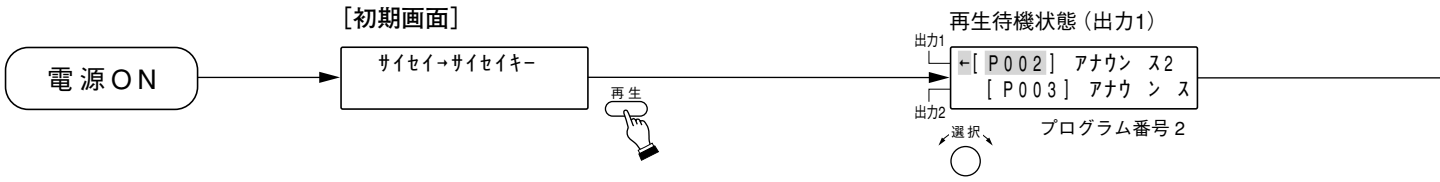
2. 本機の電源および放送用アンプの電源を「入」にします。（放送用のアンプの音量調節器を最小音量になるようにしておきます。）

3. 再生を始めます。（☞ 次ページ「再生操作の手順」）

4. 放送用アンプの音量調節器で適切な音量に調節します。

● 再生操作の手順

[出力1に設定されたプログラムの再生]

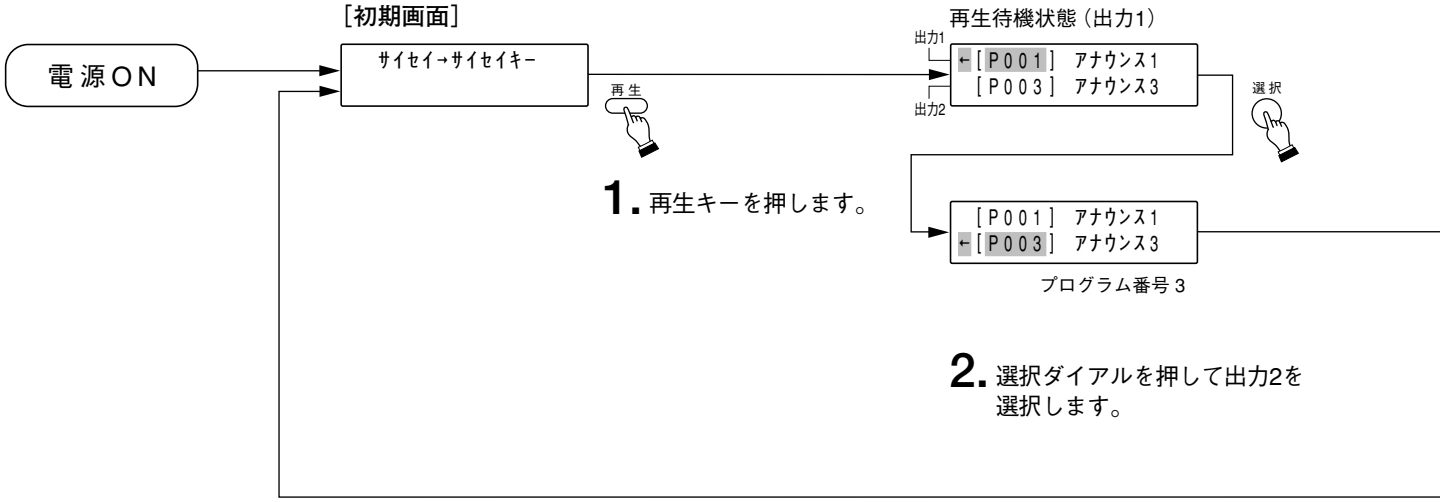


1. 再生キーを押します。

2. 選択ダイアルを回してプログラム番号を選択します。

※ 本機の出力音量の設定を変更することができます。
（☞ P.25「再生プログラムの情報表示」）

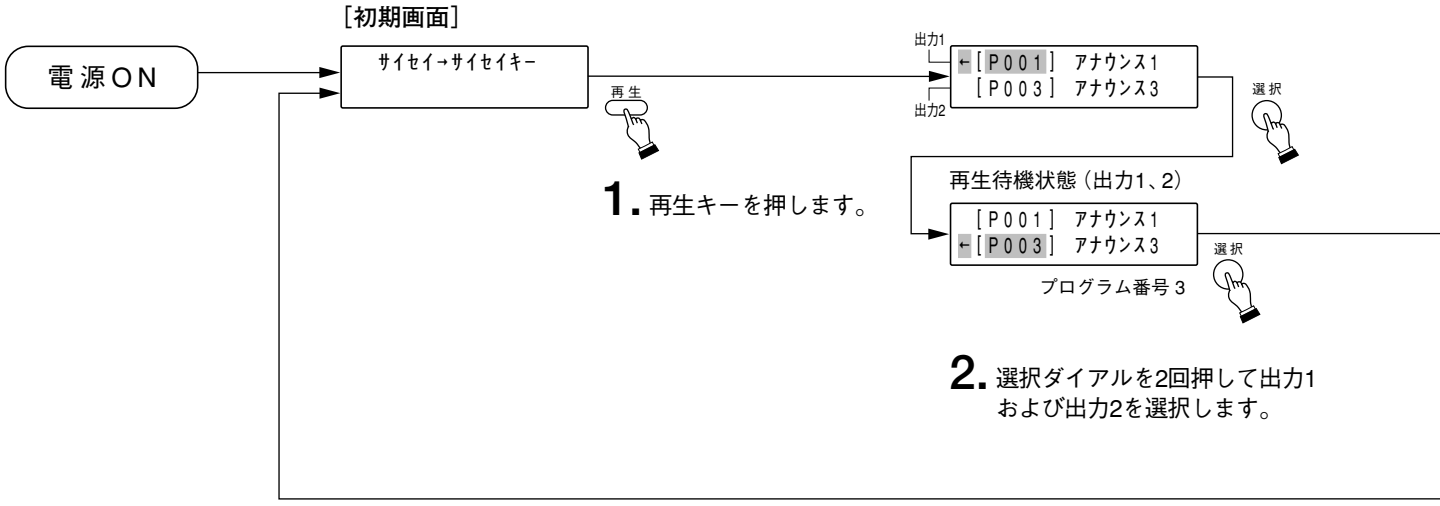
[出力2に設定されたプログラムの再生]



1. 再生キーを押します。

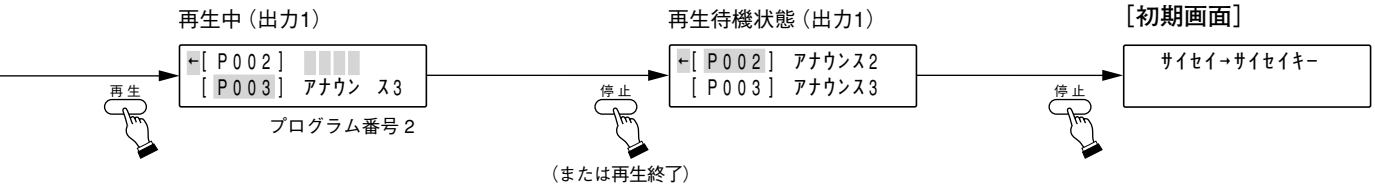
2. 選択ダイアルを押して出力2を選択します。

[出力1および出力2に設定されたプログラムの再生]



1. 再生キーを押します。

2. 選択ダイアルを2回押して出力1および出力2を選択します。



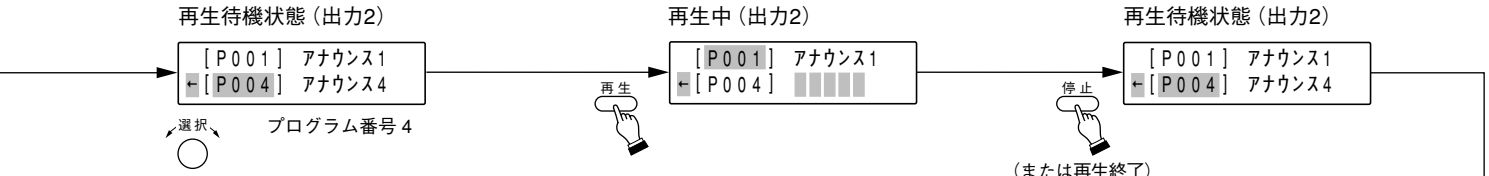
3. 再生キーを押します。
➡再生が開始されます。

※ 再生中の画面表示を変えることができます。
（ ☞P. 24「再生中の画面表示」）

※ 本機の出力音量の設定を変更することができます。
（ ☞P. 25「再生プログラムの情報表示」）

4. 停止キーを押します。
➡再生待機状態に戻ります。
（続けて再生するときは、2.～3.を繰り返します。）

5. 停止キーを押します。
➡初期画面に戻ります。

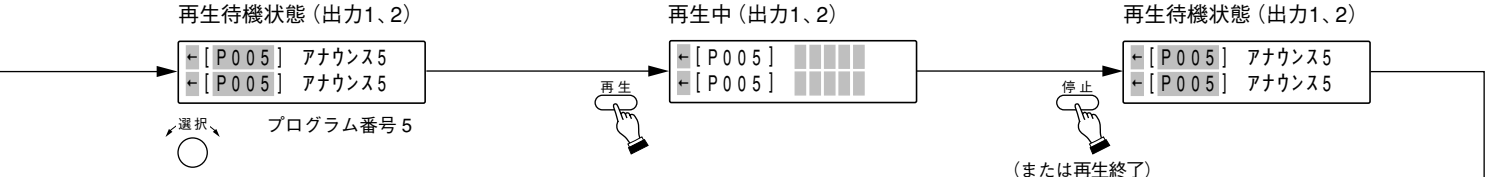


3. 選択ダイアルを回してプログラム番号を選択します。

4. 再生キーを押します。
➡再生が開始されます。

5. 停止キーを押します。
➡再生待機状態に戻ります。
（続けて再生するときは、3.～4.を繰り返します。）

6. 停止キーを押します。
➡初期画面に戻ります。



3. 選択ダイアルを回してプログラム番号を選択します。

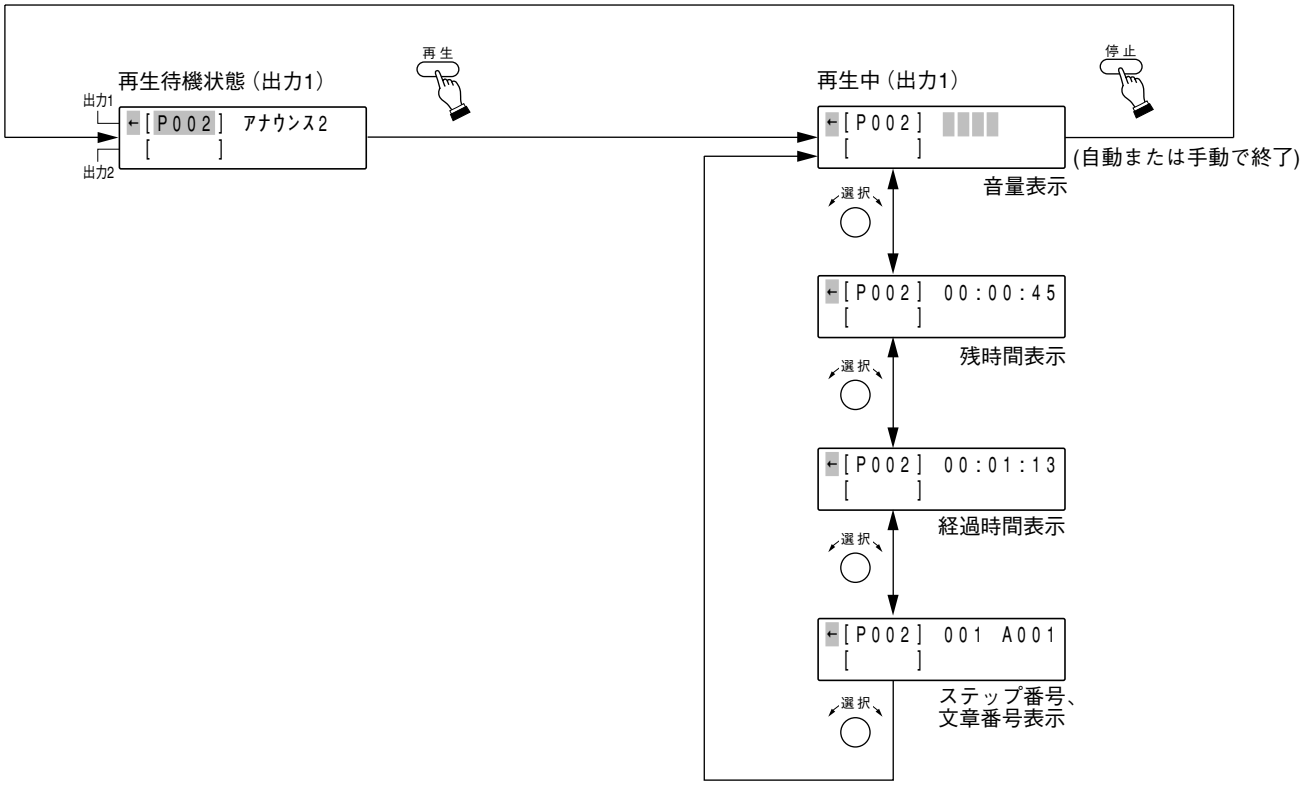
4. 再生キーを押します。
➡再生が開始されます。

5. 停止キーを押します。
➡再生待機状態に戻ります。
（続けて再生するときは、3.～4.を繰り返します。）

6. 停止キーを押します。
➡初期画面に戻ります。

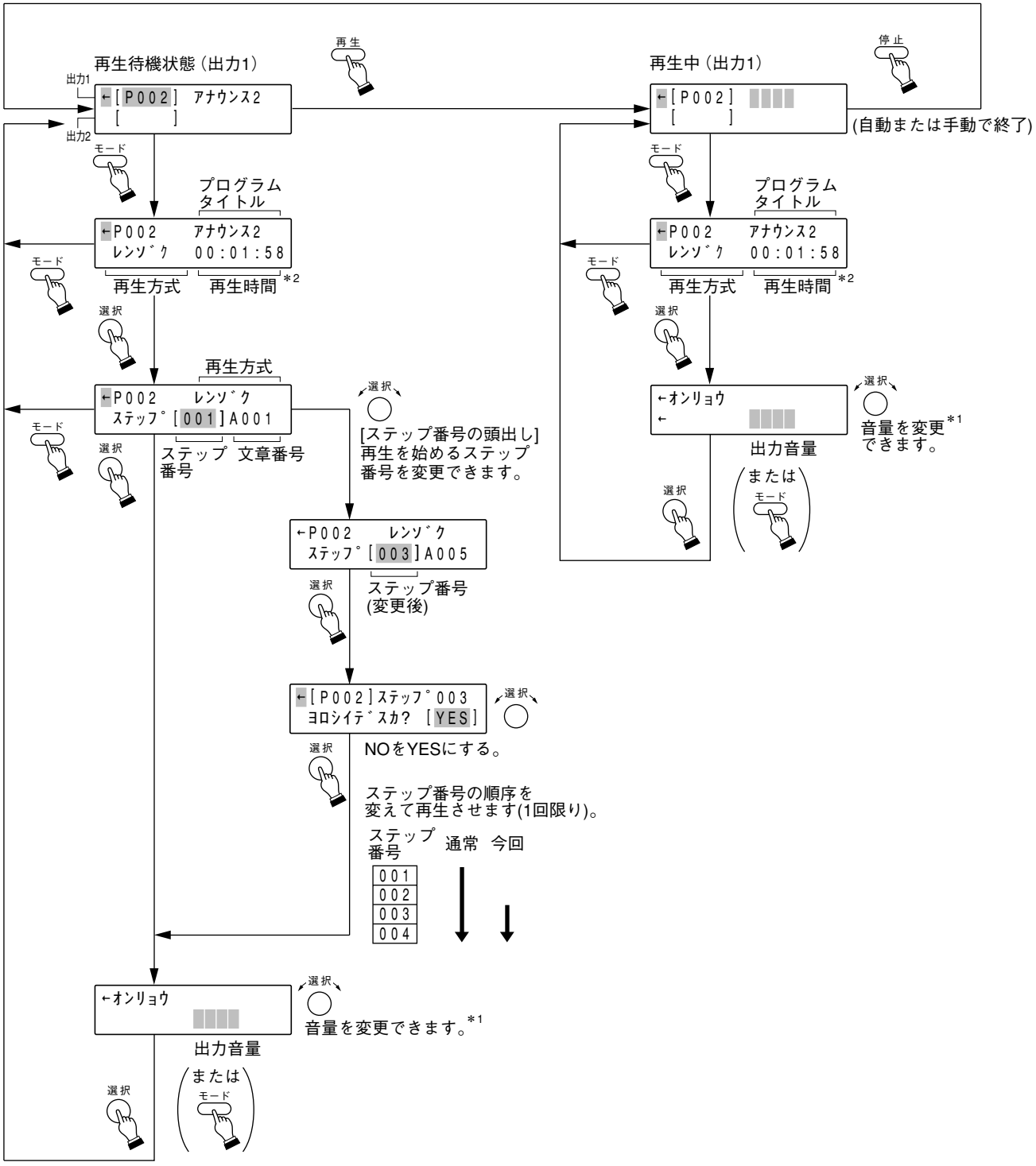
● 再生中の画面表示

再生中に選択ダイヤルを回して表示を変えることができます。(再生出力には影響しません。)



● 再生プログラムの情報表示

再生待機状態または再生中に、出力音量（全体音量）の設定を変えることができます。



*1 ここで音量変更をすると、設定メニュー「4-2　全体音量」も変更されます。（☞ P. 33）

*2 エンドレス再生のときは、「再生時間」は表示されません。また「ステップ番号の頭出し」機能はありません。

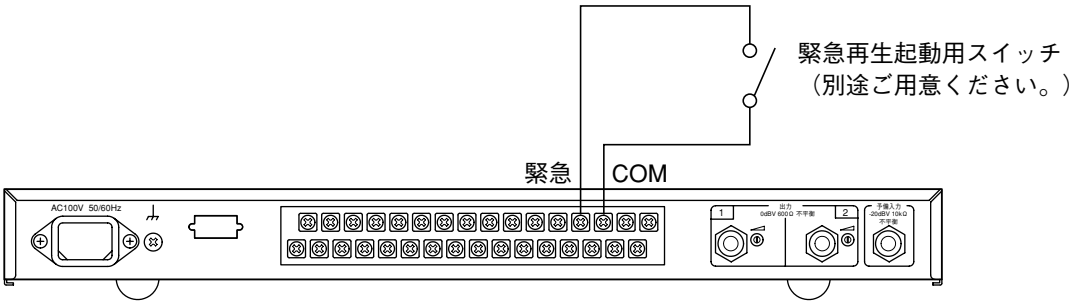
■ 緊急再生（外部起動）

EV-350R で地震放送やダム警報などの緊急文章を録音したカードを使って、本機で外部機器からの放送またはプログラム再生をしているときでも、これらの放送に優先して緊急の放送ができます。
外部機器での放送は中断し、プログラム再生は停止します。
緊急文章を直接指定して起動をかけることにより緊急再生ができます。プログラム設定の必要はありません。

・緊急再生は出力１、出力２両方に出力されます。
・緊急再生中はビジー出力１とビジー出力２の両方がメイクされます。
・緊急再生の音量設定はできません、最大音量での放送となります。
　ただし、後面の出力音量調節ボリウムでの音量調節はできます。
・緊急文章を録音したカードは、カードスロットＡに差し込んでください。
　　カードスロットＢの緊急文章は、カードスロットＡにメモリーカードが差し込まれていないときだけ再生可能です。
　　カードスロットＡに緊急文章を録音していないカードを差し込んでいるときは、緊急再生はできません。

■ 緊急再生の起動

・緊急再生はマニュアル再生できません。
・緊急再生起動用のスイッチを別途用意し、後面の緊急再生起動制御入力に接続しておきます。
　緊急再生起動用のスイッチをメイクすると緊急再生が起動します。
・緊急文章の再生を停止させるときは、前面の停止キーを押します。（リモート制御で停止させることはできません。）



緊急文章の再生は「5-2 キドウモードキリカエ」で設定する１～７の起動モードとは無関係に動作します。
・ワンショット起動した場合
　　緊急文章を１回再生し、停止します。
・レベル起動した場合
　　緊急端子をメイクしている間、緊急文章の再生を繰り返し行い、緊急端子を開放すると緊急文章の残り部分を再生して停止します。

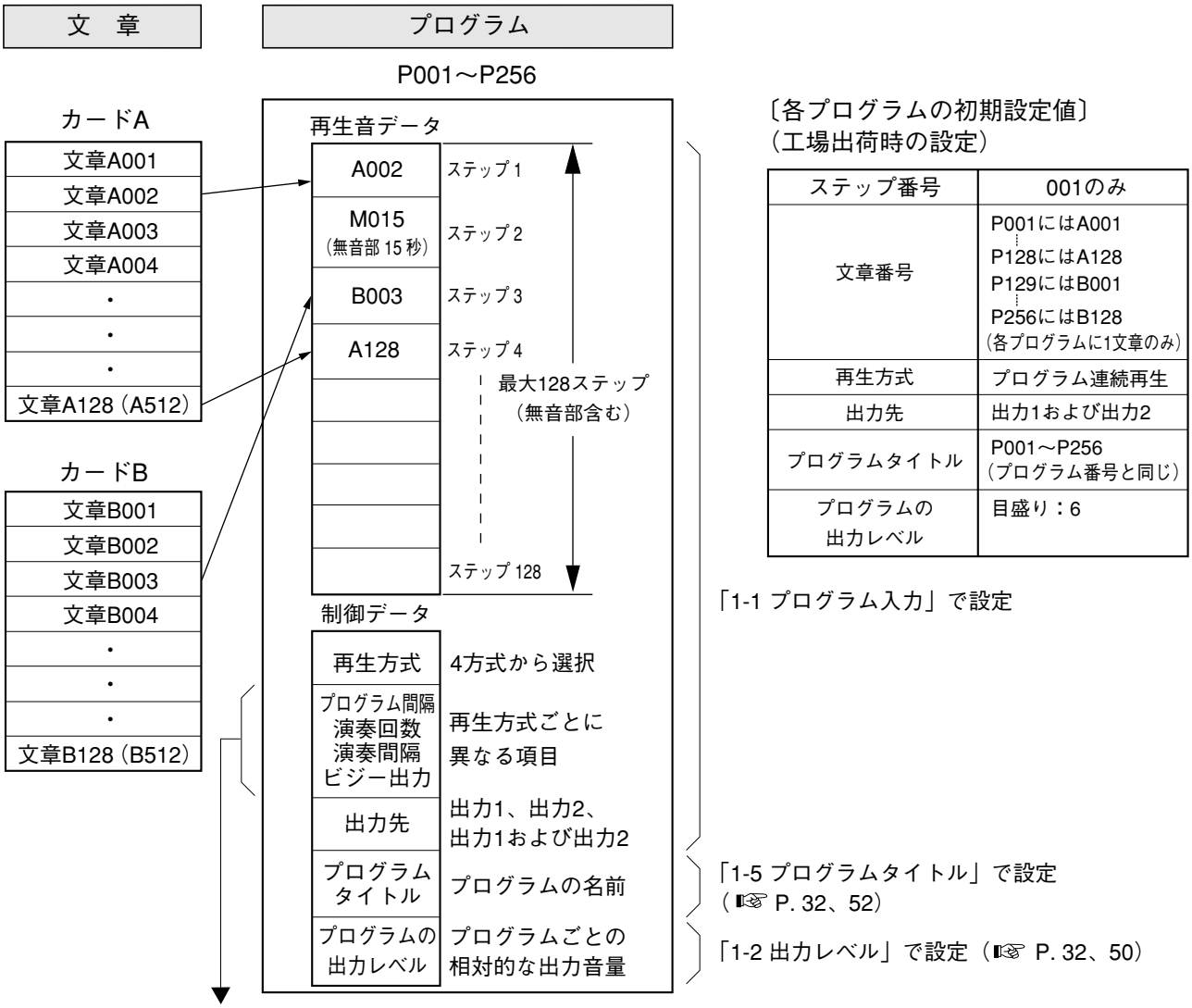
設定機能

■ 設定機能（1. プログラムの設定）

● プログラム入力の設定（1-1 プログラム入力）

設定操作手順は、P. 46 をご覧ください。

〔再生音データと制御データ〕
各プログラム（P001 ～ P256）ごとに入力されるデータは、次のとおりです。
※文章とプログラムの詳しい説明は、P. 18「文章とプログラム」をご覧ください。



〔各プログラムの初期設定値〕
（工場出荷時の設定）

ステップ番号	001のみ
文章番号	P001にはA001 P128にはA128 P129にはB001 P256にはB128 （各プログラムに1文章のみ）
再生方式	プログラム連続再生
出力先	出力1および出力2
プログラムタイトル	P001～P256 （プログラム番号と同じ）
プログラムの出力レベル	目盛り：6

「1-1 プログラム入力」で設定

「1-5 プログラムタイトル」で設定
（☞ P. 32、52）

「1-2 出力レベル」で設定（☞ P. 32、50）

〔再生方式ごとに異なる設定項目〕

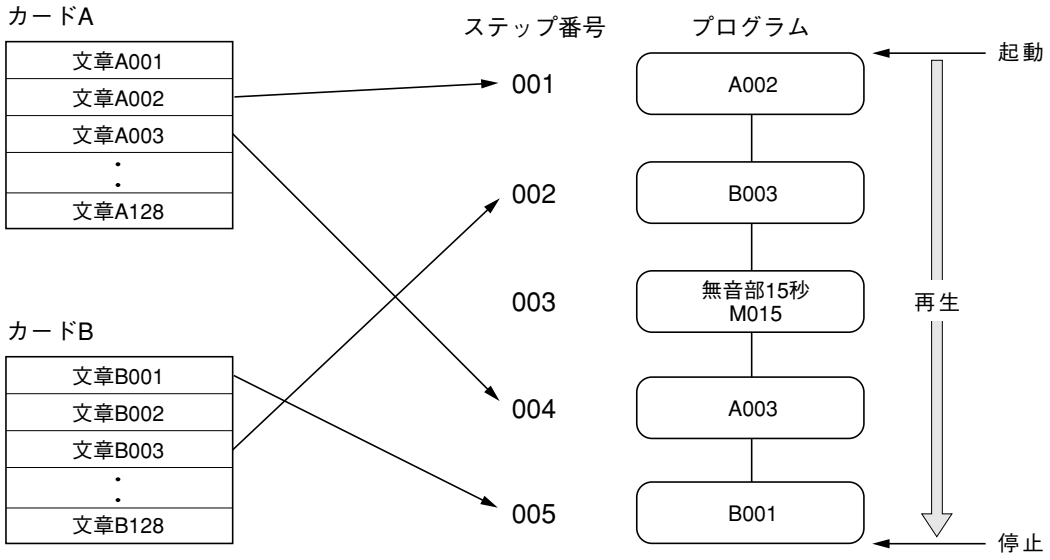
再生方式	プログラム間隔（インターバルタイマ）	演奏回数	演奏間隔	ビジー出力
プログラム連続再生	—		—	—
プログラム単独再生	OFF（間隔なし） 10、20、…50秒、 1、2、…99分	—	—	ON（「プログラム間隔」でのビジー出力） OFF
リピート再生	—	1、2、…128回、 連続	0、10、…50秒、 1、2、…99分	ON（「リピート間隔」でのビジー出力） OFF
エンドレス再生	—		0、1、2、3、4、5秒	—

● 再生方式

再生方式には以下の４つの方式があり、プログラム入力時に選択し設定します。

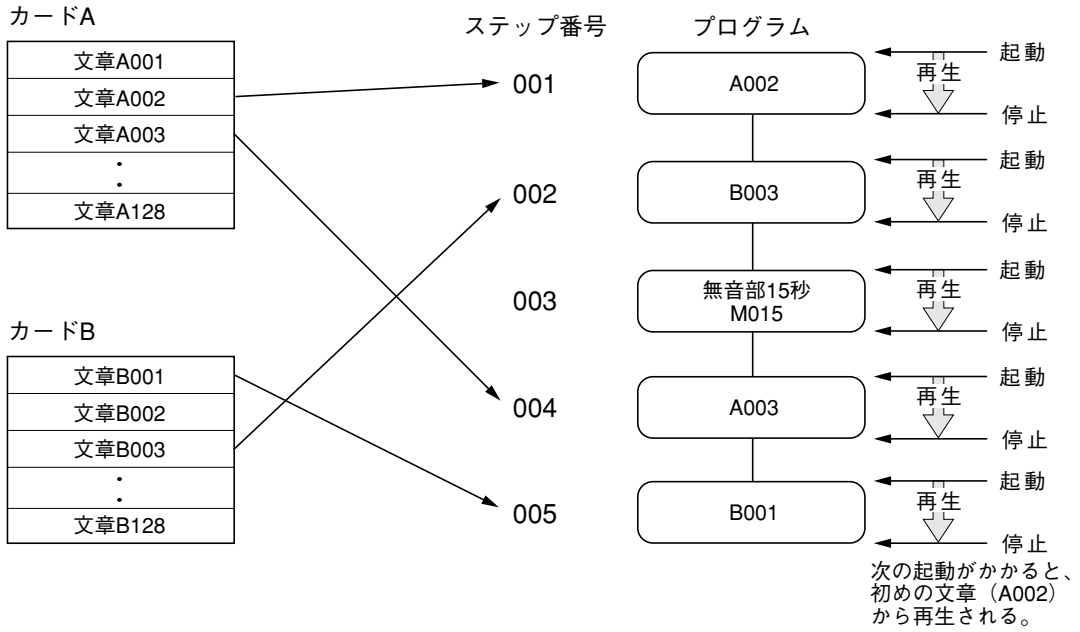
［プログラム連続再生］

起動がかかるとプログラムに入力された文章と無音部をステップ番号順に連続で再生し停止します。
特に設定を行わない場合（工場出荷時設定）はこのプログラム連続再生になります。
文章の途中で再生を停止するときは、停止キーを押すか停止起動端子をメイクします。



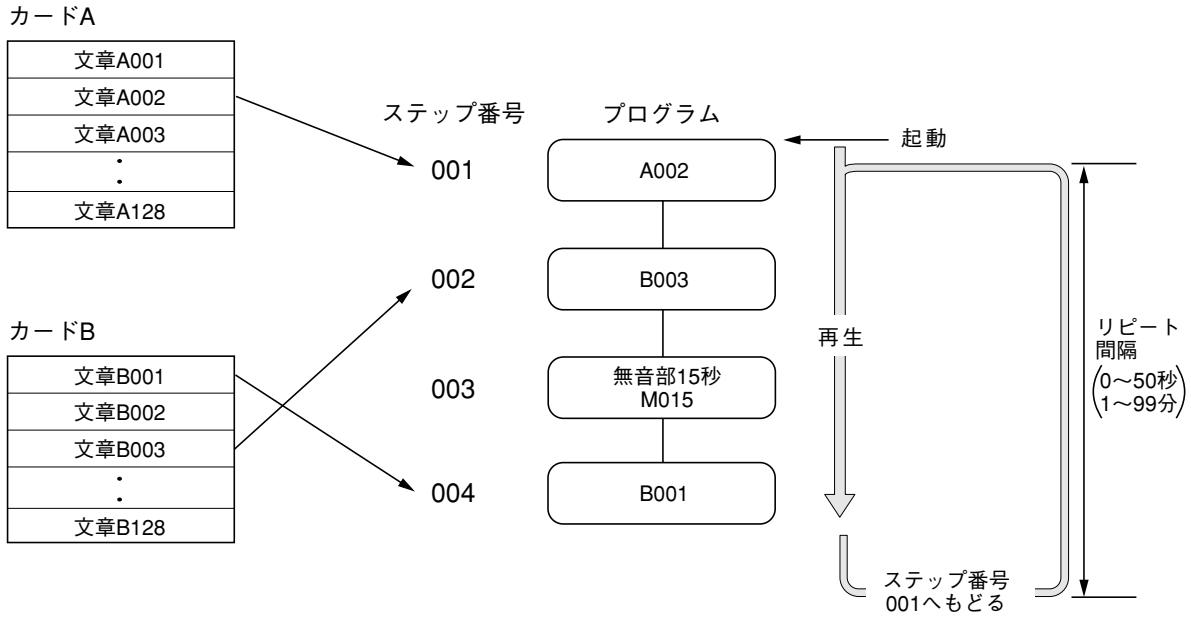
［プログラム単独再生］

プログラムに入力された文章と無音部を起動ごとに、ステップ番号順に１文章ずつ再生します。１つの文章が終わると自動的に停止します。
最後の文章が終わると、次の起動でプログラムの最初のステップから再生します。
停止キーを押したり、停止起動端子をメイクして初期画面にしたときは、次に起動をかけると次のステップ番号から再生します。
マニュアル再生、起動端子からの再生起動のほかに、本機内部のインターバルタイマを利用して文章と文章の間に一定の時間（プログラム間隔）をおいて自動的に再生することができます（インターバル放送）。インターバルタイマはOFF、10～50秒（10秒単位）と１～99分（1分単位）で設定できます。
文章の途中で再生を停止するときは、停止キーを押すか停止起動端子をメイクします。



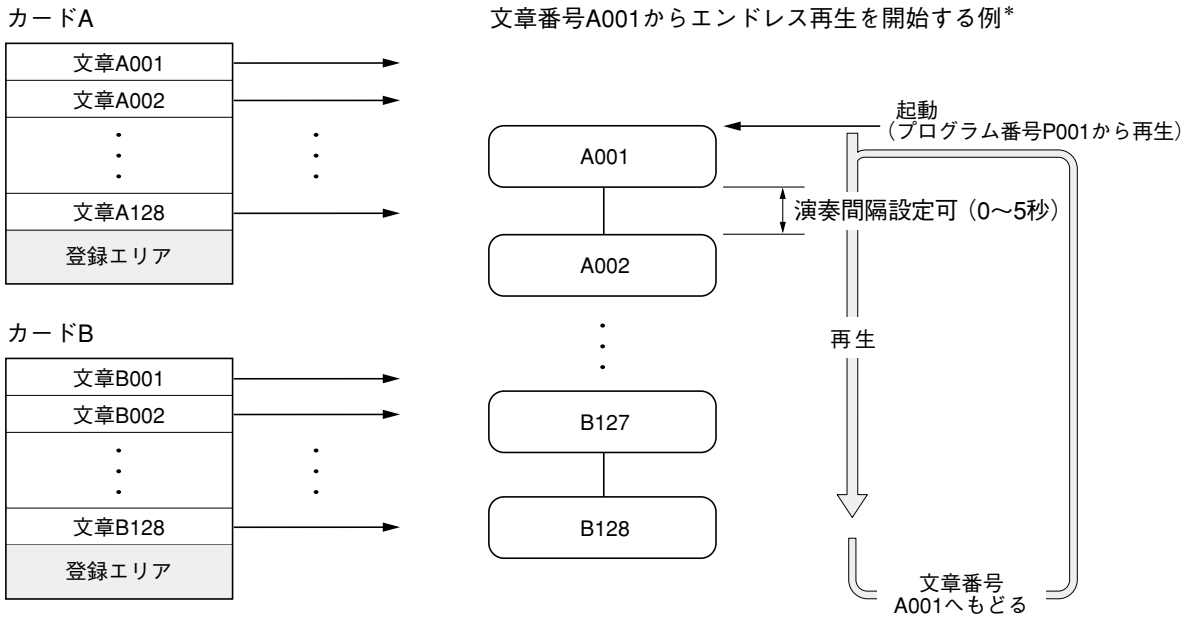
［リピート再生］

プログラムに入力された文章と無音部をステップ番号順に繰り返し再生します。
リピート間隔（最後の文章を終了してから、最初の文章を再生開始するまでの時間）とリピート回数を設定することができます。
設定されたリピート回数の再生が終了すると、再生動作は停止し初期画面になります。
リピート間隔は0～50秒（10秒単位）と1～99分（1分単位）で、またリピート回数は連続または1～128回で設定できます。
再生を停止するときは、停止キーを押すか停止起動端子をメイクします。



［エンドレス再生］

カードAに録音された文章を文章番号順に連続で再生します。カードAの再生が終わると、カードBの文章を再生します。
最後の文章を再生したあとは最初の文章に戻り再生を続けます。
文章と文章の間に0～5秒（1秒単位）の演奏間隔を設定することができます。
再生を停止するときは、停止キーを押すか停止起動端子をメイクします。



* プログラム番号P001の再生方式を「エンドレス再生」に設定しておいてください。

・エンドレス再生を開始する文章番号の指定方法
再生方式を「エンドレス再生」に設定されたプログラム番号（例：P002）を選択して再生すると、それに対応した文章番号（例：A002）からエンドレス再生を開始します（下表参照）。
※他の（この例ではP002以外の）プログラム番号の再生方式は自由に指定できます。
（☞ P. 27「1-1 プログラム入力」、P. 22「再生操作の手順」）

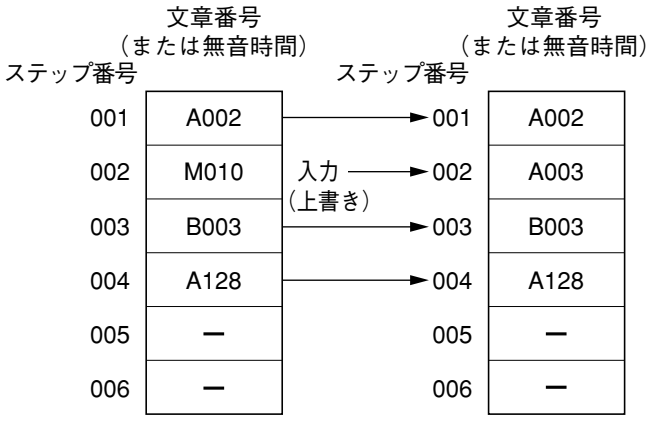
「エンドレス再生」に設定したプログラム番号		エンドレス再生を開始する文章番号
P001	→	A001
P002（ここでの例）	→	A002（ここでの例）
：		：
P128	→	A128
P129	→	B001
P130	→	B002
：		：
P256	→	B128

● ステップの入力／削除／挿入

［ステップの入力］

選択されたステップに入力し、そのステップに上書きします。

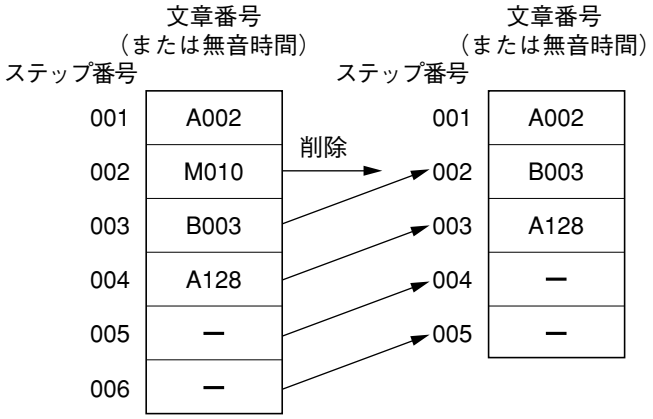
ステップ番号002に文章番号A003を入力したとき



［ステップの削除］

選択されたステップを削除したあと、ステップをつめます。
ステップ番号が変わります。

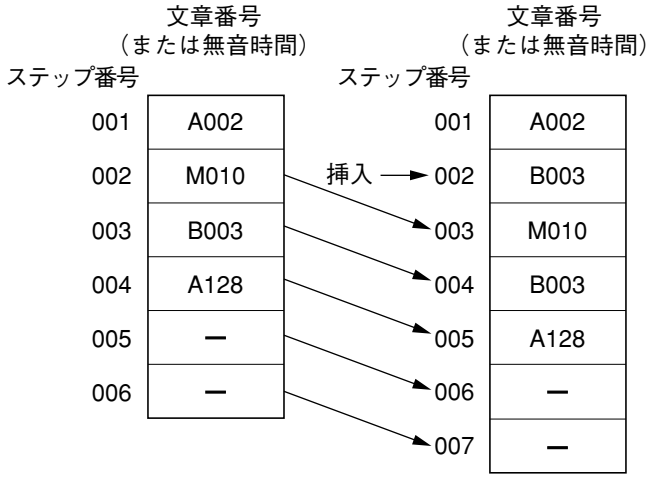
ステップ番号002を削除したとき



［ステップの挿入］

選択されたステップに挿入したあと、元のステップを続けます。
ステップ番号が変わります。

ステップ番号002に文章番号B003を挿入したとき



● プログラムの出力レベルの設定（1-2 出力レベル）
作成されたプログラムごとに出力レベルを設定します。
（設定操作手順 ☞ P. 50）

● プログラムの確認（1-3 プログラム確認）
作成されたプログラムのプログラムタイトル、再生方式、および内容の確認ができます。
（設定操作手順 ☞ P. 50）

● プログラムの初期化（1-4 プログラム初期化）
プログラム番号を指定して、作成したプログラムを初期化できます。
プログラムの初期化は 1 つのプログラムの内容をすべて消し、初期値に戻します。（☞ P. 35）
すべてのプログラムを一度に初期化することもできます。
（設定操作手順 ☞ P. 52）

● プログラムタイトルの入力・編集（1-5 プログラムタイトル入力）
作成したプログラムにタイトルを付けたり、登録されたタイトルを修正することができます。
（設定操作手順 ☞ P. 52）

■ 設定機能（2. 文章の編集）

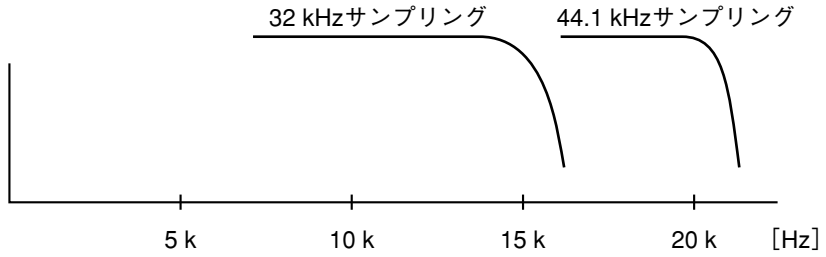
録音された文章の内容の確認をします。

● 文章の確認（2-1 文章確認）
録音されている文章の録音音質、文章タイトル、および時間が確認できます。
（設定操作手順 ☞ P. 54）

ご注意 モニタ音は出力1、2からは再生されず、ヘッドホン出力からの再生だけになります。

[録音音質について]
本機は EV-350R で録音した 8 種類の録音音質に応じた再生ができます。
録音音質は録音時に決定されます。本機で録音音質を変えることはできません。
・同じ録音グレードでもサンプリング周波数は 32 kHz の方が再生周波数帯域は狭くなりますが、音質は高くなります。
・サンプリング周波数と再生周波数帯域
　サンプリング周波数 32 kHz　：再生周波数帯域 20 Hz ～ 14 kHz
　サンプリング周波数 44.1 kHz ：再生周波数帯域 20 Hz ～ 20 kHz

［サンプリング周波数と再生周波数帯域］



・違う録音グレード、サンプリング周波数で録音された文章を組み合わせて、プログラム（再生単位）として再生することができます。

■ 設定機能（3. 文章／プログラムのモニタ）

録音されている文章や作成したプログラムをヘッドホンでモニタできます。

ご注意 モニタ音は出力1、2からは再生されず、ヘッドホン出力からの再生だけになります。

● 文章のモニタ（3-1 文章モニタ）

録音されている文章をヘッドホンでモニタします。
（設定操作手順 ☞ P. 55）

● プログラムモニタ（3-2 プログラムモニタ）

作成したプログラムをヘッドホンでモニタします。
（設定操作手順 ☞ P. 55）

■ 設定機能（4. 出力／音量の調節）

● 1元再生モード／2元再生モードの切り換え（4-1 1元／2元再生切り換え）

プログラム再生時の出力を1元または2元に切り換えます。

1元再生モード：プログラムごとに設定された出力先は無視し、出力1からの放送だけになります。出力2は使えません。
出力1に設定したプログラムと出力2に設定したプログラムを同時に再生した場合、両方のプログラムをミキシングし、出力1から放送されます。

2元再生モード：プログラムごとに設定された出力先により、出力1、出力2それぞれから放送されます。

※ 工場出荷時は2元再生モードに設定されています。
（設定操作手順 ☞ P. 56）

● 全体音量の設定（4-2 全体音量）

プログラム再生全体の音量を設定します。プログラムごとに設定する出力レベルはプログラム間の相対的な音量として有効ですが、絶対音量はここで決定します。

※ 工場出荷時は「8」に設定されています。
（設定操作手順 ☞ P. 56）

■ 設定機能（5. 本体の動作設定）

● リモート制御機能設定（5-1 制御機能設定）〔再生、停止〕

後面の制御入力端子を使い、外部機器からプログラムの再生をリモート制御することができます。
出力１に設定されたプログラムと出力２に設定されたプログラムは別々にリモート再生、リモート停止をすることができます。

[ダイレクトモードとバイナリモード]
リモート再生でプログラム番号を選択する場合は、起動制御入力端子をメイクします。
起動制御端子による文章番号、プログラム番号の選択のしかた（制御機能）にはダイレクトモードとバイナリモードの２種類が選択できます。
（ダイレクトモードでの起動 ☞ P. 36、37、バイナリモードでの起動 ☞ P. 36、39）

※ 工場出荷時はダイレクトモードに設定されています。
（設定操作手順 ☞ P. 57）

[ダイレクトモードでの起動制御端子１～8]

起動制御端子	再　生
	プログラム番号
1	P001
2	P002
3	P003
4	P004
5	P005
6	P006
7	P007
8	P008

［バイナリモードでの起動制御端子１～8］

起動制御端子								再生
1	2	3	4	5	6	7	8	プログラム番号
0	0	0	0	0	0	0	0	P001
1	0	0	0	0	0	0	0	P002
0	1	0	0	0	0	0	0	P003
1	1	0	0	0	0	0	0	P004
0	0	1	0	0	0	0	0	P005
1	0	1	0	0	0	0	0	P006
0	1	1	0	0	0	0	0	P007
1	1	1	0	0	0	0	0	P008
0	0	0	1	0	0	0	0	P009
1	0	0	1	0	0	0	0	P010
0	1	0	1	0	0	0	0	P011
1	1	0	1	0	0	0	0	P012
0	0	1	1	0	0	0	0	P013
1	0	1	1	0	0	0	0	P014
0	1	1	1	0	0	0	0	P015
1	1	1	1	0	0	0	0	P016
0	0	0	0	1	0	0	0	P017
1	0	0	0	1	0	0	0	P018
0	1	0	0	1	0	0	0	P019
1	1	0	0	1	0	0	0	P020
0	0	1	0	1	0	0	0	P021
1	0	1	0	1	0	0	0	P022
0	1	1	0	1	0	0	0	P023
1	1	1	0	1	0	0	0	P024
0	0	0	1	1	0	0	0	P025
1	0	0	1	1	0	0	0	P026
0	1	0	1	1	0	0	0	P027
1	1	0	1	1	0	0	0	P028
0	0	1	1	1	0	0	0	P029
1	0	1	1	1	0	0	0	P030
0	1	1	1	1	0	0	0	P031
1	1	1	1	1	0	0	0	P032
0	0	0	0	0	1	0	0	P033
1	0	0	0	0	1	0	0	P034
0	1	0	0	0	1	0	0	P035
1	1	0	0	0	1	0	0	P036
0	0	1	0	0	1	0	0	P037
1	0	1	0	0	1	0	0	P038
0	1	1	0	0	1	0	0	P039
1	1	1	0	0	1	0	0	P040
0	0	0	1	0	1	0	0	P041
1	0	0	1	0	1	0	0	P042
0	1	0	1	0	1	0	0	P043
1	1	0	1	0	1	0	0	P044
0	0	1	1	0	1	0	0	P045
1	0	1	1	0	1	0	0	P046
0	1	1	1	0	1	0	0	P047
1	1	1	1	0	1	0	0	P048
0	0	0	0	1	1	0	0	P049
1	0	0	0	1	1	0	0	P050
0	1	0	0	1	1	0	0	P051
1	1	0	0	1	1	0	0	P052
0	0	1	0	1	1	0	0	P053
1	0	1	0	1	1	0	0	P054
0	1	1	0	1	1	0	0	P055
1	1	1	0	1	1	0	0	P056
0	0	0	1	1	1	0	0	P057
1	0	0	1	1	1	0	0	P058
0	1	0	1	1	1	0	0	P059
1	1	0	1	1	1	0	0	P060
0	0	1	1	1	1	0	0	P061
1	0	1	1	1	1	0	0	P062
0	1	1	1	1	1	0	0	P063
1	1	1	1	1	1	0	0	P064

起動制御端子								再生
1	2	3	4	5	6	7	8	プログラム番号
0	0	0	0	0	0	1	0	P065
1	0	0	0	0	0	1	0	P066
0	1	0	0	0	0	1	0	P067
1	1	0	0	0	0	1	0	P068
0	0	1	0	0	0	1	0	P069
1	0	1	0	0	0	1	0	P070
0	1	1	0	0	0	1	0	P071
1	1	1	0	0	0	1	0	P072
0	0	0	1	0	0	1	0	P073
1	0	0	1	0	0	1	0	P074
0	1	0	1	0	0	1	0	P075
1	1	0	1	0	0	1	0	P076
0	0	1	1	0	0	1	0	P077
1	0	1	1	0	0	1	0	P078
0	1	1	1	0	0	1	0	P079
1	1	1	1	0	0	1	0	P080
0	0	0	0	1	0	1	0	P081
1	0	0	0	1	0	1	0	P082
0	1	0	0	1	0	1	0	P083
1	1	0	0	1	0	0	1	P084
0	0	1	0	1	0	1	0	P085
1	0	1	0	1	0	1	0	P086
0	1	1	0	1	0	1	0	P087
1	1	1	0	1	0	1	0	P088
0	0	0	1	1	0	1	0	P089
1	0	0	1	1	0	1	0	P090
0	1	0	1	1	0	1	0	P091
1	1	0	1	1	0	1	0	P092
0	0	1	1	1	0	1	0	P093
1	0	1	1	1	0	1	0	P094
0	1	1	1	1	0	1	0	P095
1	1	1	1	1	0	1	0	P096
0	0	0	0	0	1	1	0	P097
1	0	0	0	0	1	1	0	P098
0	1	0	0	0	1	1	0	P099
1	1	0	0	0	1	1	0	P100
0	0	1	0	0	1	1	0	P101
1	0	1	0	0	1	1	0	P102
0	1	1	0	0	1	1	0	P103
1	1	1	0	0	1	0	1	P104
0	0	0	1	0	1	1	0	P105
1	0	0	1	0	1	1	0	P106
0	1	0	1	0	1	1	0	P107
1	1	0	1	0	1	1	0	P108
0	0	1	1	0	1	1	0	P109
1	0	1	1	0	1	1	0	P110
0	1	1	1	0	1	1	0	P111
1	1	1	1	0	1	1	0	P112
0	0	0	0	1	1	1	0	P113
1	0	0	0	1	1	1	0	P114
0	1	0	0	1	1	1	0	P115
1	1	0	0	1	1	1	0	P116
0	0	1	0	1	1	1	0	P117
1	0	1	0	1	1	1	0	P118
0	1	1	0	1	1	1	0	P119
1	1	1	0	1	1	1	0	P120
0	0	0	1	1	1	1	0	P121
1	0	0	1	1	1	1	0	P122
0	1	0	1	1	1	1	0	P123
1	1	0	1	1	1	0	1	P124
0	0	1	1	1	1	1	0	P125
1	0	1	1	1	1	1	0	P126
0	1	1	1	1	1	1	0	P127
1	1	1	1	1	1	1	0	P128

起動制御端子								再生
1	2	3	4	5	6	7	8	プログラム番号
0	0	0	0	0	0	0	1	P129
1	0	0	0	0	0	0	1	P130
0	1	0	0	0	0	0	1	P131
1	1	0	0	0	0	0	1	P132
0	0	1	0	0	0	0	1	P133
1	0	1	0	0	0	0	1	P134
0	1	1	0	0	0	0	1	P135
1	1	1	0	0	0	0	1	P136
0	0	0	1	0	0	0	1	P137
1	0	0	1	0	0	0	1	P138
0	1	0	1	0	0	0	1	P139
1	1	0	1	0	0	0	1	P140
0	0	1	1	0	0	0	1	P141
1	0	1	1	0	0	0	1	P142
0	1	1	1	0	0	0	1	P143
1	1	1	1	0	0	0	1	P144
0	0	0	0	1	0	0	1	P145
1	0	0	0	1	0	0	1	P146
0	1	0	0	1	0	0	1	P147
1	1	0	0	1	0	0	1	P148
0	0	1	0	1	0	0	1	P149
1	0	1	0	1	0	0	1	P150
0	1	1	0	1	0	0	1	P151
1	1	1	0	1	0	0	1	P152
0	0	0	1	1	0	0	1	P153
1	0	0	1	1	0	0	1	P154
0	1	0	1	1	0	0	1	P155
1	1	0	1	1	0	0	1	P156
0	0	1	1	1	0	0	1	P157
1	0	1	1	1	0	0	1	P158
0	1	1	1	1	0	0	1	P159
1	1	1	1	1	0	0	1	P160
0	0	0	0	0	1	0	1	P161
1	0	0	0	0	1	0	1	P162
0	1	0	0	0	1	0	1	P163
1	1	0	0	0	1	0	1	P164
0	0	1	0	0	1	0	1	P165
1	0	1	0	0	1	0	1	P166
0	1	1	0	0	1	0	1	P167
1	1	1	0	0	1	0	1	P168
0	0	0	1	0	1	0	1	P169
1	0	0	1	0	1	0	1	P170
0	1	0	1	0	1	0	1	P171
1	1	0	1	0	1	0	1	P172
0	0	1	1	0	1	0	1	P173
1	0	1	1	0	1	0	1	P174
0	1	1	1	0	1	0	1	P175
1	1	1	1	0	1	0	1	P176
0	0	0	0	1	1	0	1	P177
1	0	0	0	1	1	0	1	P178
0	1	0	0	1	1	0	1	P179
1	1	0	0	1	1	0	1	P180
0	0	1	0	1	1	0	1	P181
1	0	1	0	1	1	0	1	P182
0	1	1	0	1	1	0	1	P183
1	1	1	0	1	1	0	1	P184
0	0	0	1	1	1	0	1	P185
1	0	0	1	1	1	0	1	P186
0	1	0	1	1	1	0	1	P187
1	1	0	1	1	1	1	1	P188
0	0	1	1	1	1	0	1	P189
1	0	1	1	1	1	0	1	P190
0	1	1	1	1	1	0	1	P191
1	1	1	1	1	1	0	1	P192

起動制御端子								再生
1	2	3	4	5	6	7	8	プログラム番号
0	0	0	0	0	0	1	1	P193
1	0	0	0	0	0	1	1	P194
0	1	0	0	0	0	1	1	P195
1	1	0	0	0	0	1	1	P196
0	0	1	0	0	0	1	1	P197
1	0	1	0	0	0	1	1	P198
0	1	1	0	0	0	1	1	P199
1	1	1	0	0	0	1	1	P200
0	0	0	1	0	0	1	1	P201
1	0	0	1	0	0	1	1	P202
0	1	0	1	0	0	1	1	P203
1	1	0	1	0	0	1	1	P204
0	0	1	1	0	0	1	1	P205
1	0	1	1	0	0	1	1	P206
0	1	1	1	0	0	1	1	P207
1	1	1	1	0	0	1	1	P208
0	0	0	0	1	0	1	1	P209
1	0	0	0	1	0	1	1	P210
0	1	0	0	1	0	1	1	P211
1	1	0	0	1	0	1	1	P212
0	0	1	0	1	0	1	1	P213
1	0	1	0	1	0	1	1	P214
0	1	1	0	1	0	1	1	P215
1	1	1	0	1	0	1	1	P216
0	0	0	1	1	0	1	1	P217
1	0	0	1	1	0	1	1	P218
0	1	0	1	1	0	1	1	P219
1	1	0	1	1	0	1	1	P220
0	0	1	1	1	0	1	1	P221
1	0	1	1	1	0	1	1	P222
0	1	1	1	1	0	1	1	P223
1	1	1	1	1	0	1	1	P224
0	0	0	0	0	1	1	1	P225
1	0	0	0	0	1	1	1	P226
0	1	0	0	0	1	1	1	P227
1	1	0	0	0	1	1	1	P228
0	0	1	0	0	1	1	1	P229
1	0	1	0	0	1	1	1	P230
0	1	1	0	0	1	1	1	P231
1	1	1	0	0	1	1	1	P232
0	0	0	1	0	1	1	1	P233
1	0	0	1	0	1	1	1	P234
0	1	0	1	0	1	1	1	P235
1	1	0	1	0	1	1	1	P236
0	0	1	1	0	1	1	1	P237
1	0	1	1	0	1	1	1	P238
0	1	1	1	0	1	1	1	P239
1	1	1	1	0	1	1	1	P240
0	0	0	0	1	1	1	1	P241
1	0	0	0	1	1	1	1	P242
0	1	0	0	1	1	1	1	P243
1	1	0	0	1	1	1	1	P244
0	0	1	0	1	1	1	1	P245
1	0	1	0	1	1	1	1	P246
0	1	1	0	1	1	1	1	P247
1	1	1	0	1	1	1	1	P248
0	0	0	1	1	1	1	1	P249
1	0	0	1	1	1	1	1	P250
0	1	0	1	1	1	1	1	P251
1	1	0	1	1	1	1	1	P252
0	0	1	1	1	1	1	1	P253
1	0	1	1	1	1	1	1	P254
0	1	1	1	1	1	1	1	P255
1	1	1	1	1	1	1	1	P256

※　表中の1は、メイクを表します。

● リモート制御の起動モード切り換え（5-2 起動モード切り換え）

[起動モード]

リモート再生、リモート停止にはそれぞれ起動モードを設定することができます。
（設定操作手順 ☞ P. 58）

リモート再生

・ダイレクトモード
（1）再生起動モード 1（ワンショット起動、後入力禁止）：工場出荷時設定
（2）再生起動モード 2（ワンショット起動、後入力優先割込み）
（3）再生起動モード 3（ワンショット起動、小さいプログラム番号優先）
（4）再生起動モード 4（ワンショット起動、順次記憶再生）
（5）再生起動モード 5（レベル起動、先入力優先）
（6）再生起動モード 6（レベル起動、後入力優先割込み）
（7）再生起動モード 7（レベル起動、小さいプログラム番号優先）

・バイナリモード
（1）再生起動モード 1（ワンショット起動、後入力禁止）
（2）再生起動モード 2（ワンショット起動、後入力優先割込み）
（3）再生起動モード 3（ワンショット起動、小さいプログラム番号優先）
（4）再生起動モード 4（ワンショット起動、順次記憶再生）
（5）再生起動モード 5（レベル起動）

リモート停止

（1）停止起動モード 1（再生の途中で停止）：工場出荷時設定
（2）停止起動モード 2（文章再生終了後に停止）

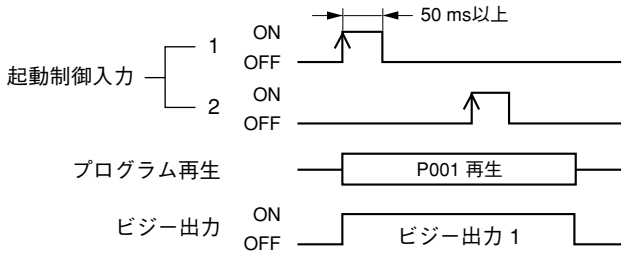
● ダイレクトモード

［リモート再生］

8 プログラム（P001 ～ P008）をリモート再生することができます
制御起動入力をメイクすると再生を始めます。

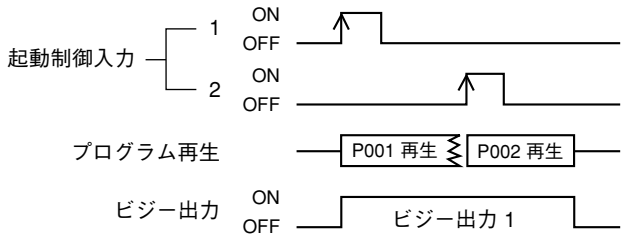
※ プログラム番号 P001、P002 は出力 1 に設定されているものとします。

（1）再生起動モード 1 （ワンショット起動、後入力禁止）



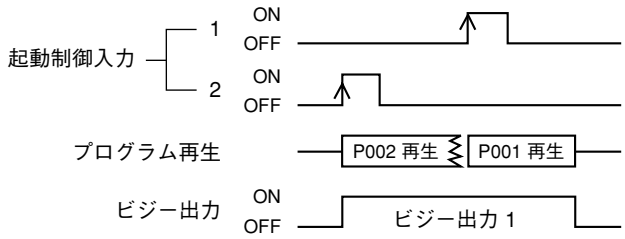
・起動制御入力をメイク（OFF → ON）すると再生を始めます。
・再生中の起動制御入力に再度入力があっても受け付けません。
・起動制御入力がメイクされ続けていても再生は 1 回だけです。
・同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが再生されます。

（2）再生起動モード 2 （ワンショット起動、後入力優先割込み）



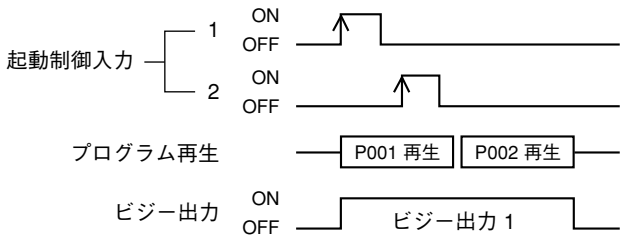
・起動制御入力をメイクすると再生を始めます。
・後から入った起動制御入力を優先します。
・起動制御入力がメイクされ続けていても再生は 1 回だけです。

（3）再生起動モード 3 （ワンショット起動、小さいプログラム番号優先）



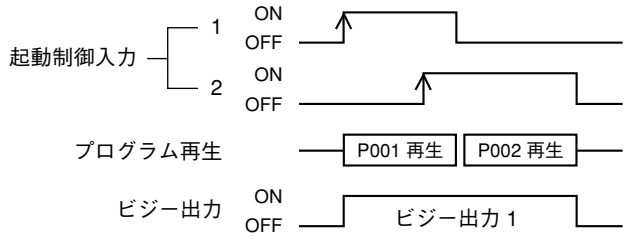
・起動制御入力をメイクすると再生を始めます。
・再生中のプログラム番号よりも小さいプログラム番号の起動制御入力があったときは、小さい番号を優先して再生します。
大きいプログラム番号は受け付けられません。
・起動制御入力がメイクされ続けていても再生は 1 回だけです。

（4）再生起動モード 4 （ワンショット起動、順次記憶再生）



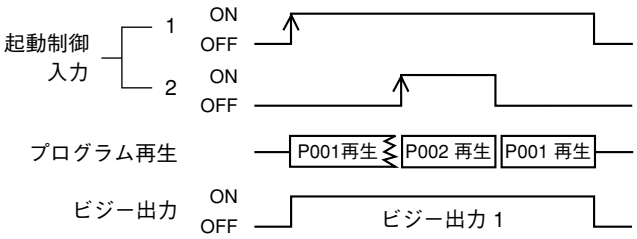
・起動制御入力をメイクすると再生を始めます。
・起動制御入力を順次記憶して入力順に再生します。
・出力ごとに最大 16 入力まで記憶します。
・同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが再生されます。
・起動制御入力がメイクされ続けていても再生は 1 回だけです。
・停止制御入力をメイクすると再生中のプログラムを停止します。（再生プログラムが出力 1 および 2 に出力されているときに、停止 1 制御入力をメイクすると出力 1 は出力がなくなりますが、出力 2 はそのままプログラム再生を続けます。）
つぎに記憶されている起動制御入力がある場合は、自動的につぎのプログラム再生を開始します。
・再生制御入力をメイクしながらクリア端子をメイクすると、記憶した入力はすべてクリアされます。

(5) 再生起動モード 5 （レベル起動、先入力優先）



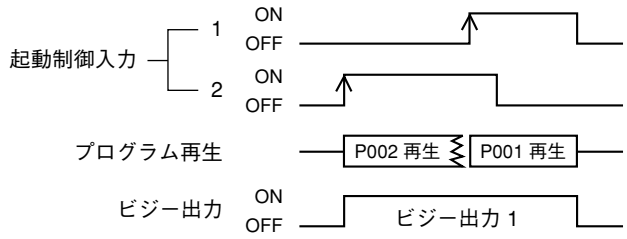
・起動制御入力をメイクしている間再生します。
・再生中は、後から入った起動制御入力は受け付けません。
・再生後、他の起動制御入力があれば続けてそのプログラムを再生します。
・同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが再生されます。

(6) 再生起動モード 6 （レベル起動、後入力優先割込み）



・起動制御入力をメイクしている間再生します。
・再生中でも、後から入った起動制御入力を優先します。
・再生後、他の起動制御入力があれば続けてそのプログラムを再生します。
・同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが再生されます。

(7) 再生起動モード 7 （レベル起動、小さいプログラム番号優先）

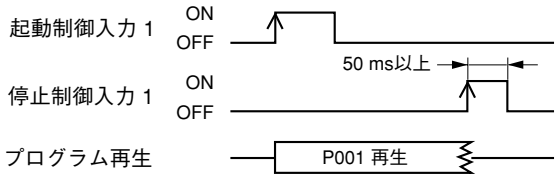


・起動制御入力をメイクしている間再生します。
・再生中のプログラム番号よりも小さいプログラム番号の起動制御入力があったときは、小さいプログラム番号を優先して再生します。大きいプログラム番号は受け付けられません。
・同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが再生されます。

[リモート停止]

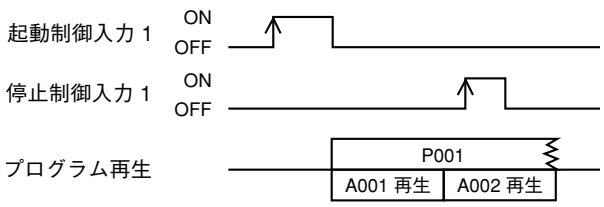
再生起動モードがワンショット起動のとき（再生起動モード 1 ～ 4 ）の停止モードが設定できます。

(1) 停止起動モード 1 （再生の途中で停止）



・停止制御入力がメイク（OFF → ON）されるとすぐに再生を停止します。
・停止制御入力がメイクされているときは、プログラム再生できません。

(2) 停止起動モード 2 （文章再生終了後に停止）



・停止制御入力がメイクされると、再生しているプログラム中の文章が終了したあと停止します。
・停止制御入力がメイクされているときは、プログラム再生できません。

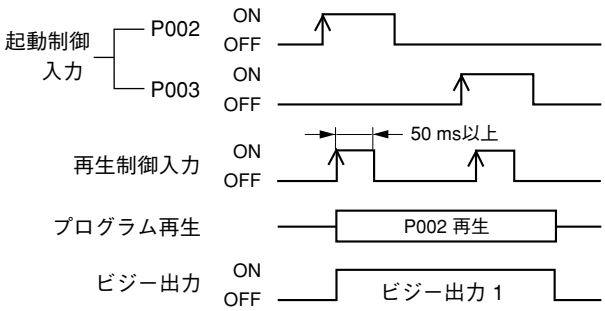
● バイナリモード

［リモート再生］

256 プログラム（P001 ～ P256）がリモート再生できます。
起動制御入力をメイクしたあと再生制御入力をメイクすると再生を始めます。

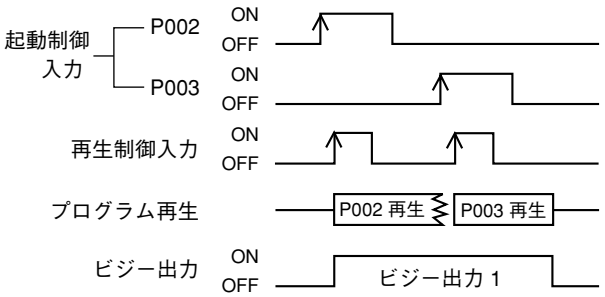
※ プログラム番号 P002、P003 は出力 1 に設定されているものとします。

（1）再生起動モード 1 （ワンショット起動、後入力禁止）



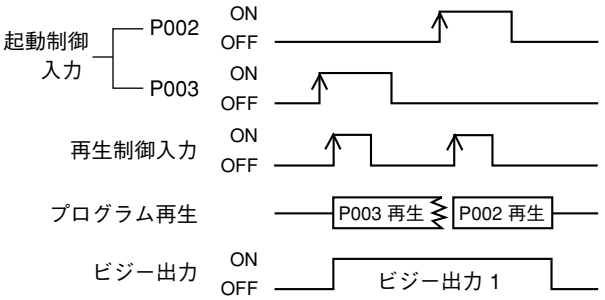
・起動制御入力をメイク（OFF → ON）したあと、再生制御入力をメイクすると再生を始めます。
・再生中に起動制御入力を変更し再度、再生制御入力があっても受け付けません。
・起動制御入力がメイクされ続けていても再生は 1 回だけです。

（2）再生起動モード 2 （ワンショット起動、後入力優先割込み）



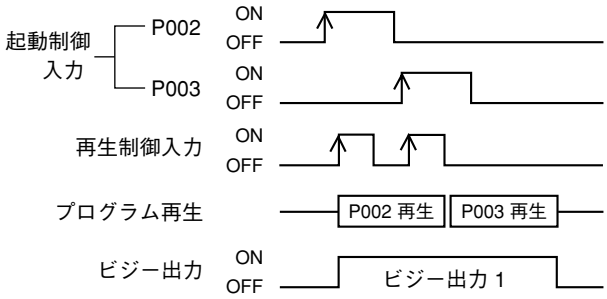
・起動制御入力をメイク（OFF → ON）したあと、再生制御入力をメイクすると再生を始めます。
・後から入った起動制御入力と再生制御入力を優先します。
・起動制御入力がメイクされ続けていても再生は 1 回だけです。

（3）再生起動モード 3 （ワンショット起動、小さいプログラム番号優先）



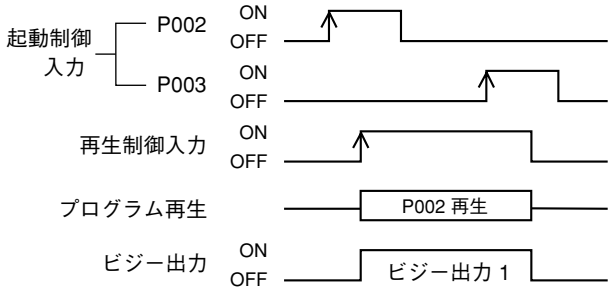
・起動制御入力をメイク（OFF → ON）したあと、再生制御入力をメイクすると再生を始めます。
・再生中のプログラム番号よりも小さいプログラム番号の起動制御入力と再生制御入力があったとき、小さい番号を優先して再生します。大きいプログラム番号は受け付けられません。
・起動制御入力がメイクされ続けていても再生は 1 回だけです。

(4) 再生起動モード 4 (ワンショット起動、順次記憶再生)



・起動制御入力をメイク (OFF → ON) したあと、再生制御入力をメイクすると再生を始めます。
・起動制御入力と再生制御入力を順次記憶して入力順に再生します。
・出力ごとに最大 16 入力まで記憶します。
・起動制御入力がメイクされ続けていても再生は 1 回だけです。
・停止制御入力をメイクすると再生中のプログラムを停止します。(再生プログラムが出力 1 および 2 に出力されているときに、停止 1 制御入力をメイクすると出力 1 は出力がなくなりますが、出力 2 はそのままプログラム再生を続けます。)
つぎに記憶されている起動制御入力がある場合は、自動的につぎのプログラム再生を開始します。
・再生制御入力をメイクしながらクリア端子をメイクすると、記憶した入力はすべてクリアされます。

(5) 再生起動モード 5 (レベル起動)

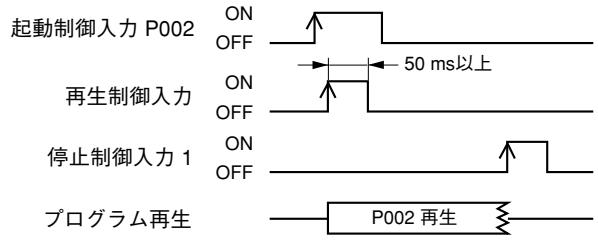


・起動制御入力をメイク (OFF → ON) したあと、再生制御入力をメイクしている間再生します。

[リモート停止]

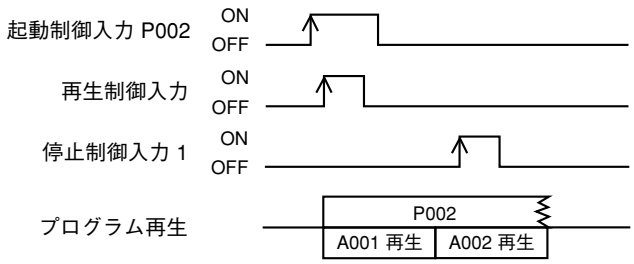
再生起動モードがワンショット起動のとき (再生起動モード 1 ～ 4) の停止モードが設定できます。

(1) 停止起動モード 1 (再生の途中で停止)



・停止制御入力がメイク (OFF → ON) されるとすぐに再生を停止します。
・停止制御入力がメイクされているときは、プログラム再生できません。

(2) 停止起動モード 2 (文章再生終了後に停止)



・停止制御入力がメイクされると、再生しているプログラム中の文章が終了したあと停止します。
・停止制御入力がメイクされているときは、プログラム再生できません。

● ビジー出力および再生遅延時間の設定（5-3 ビジー設定）

[ビジー出力の設定]

プログラム再生時およびシステム設定時*1およびマイク放送時のビジー出力（ON／OFF）の設定をします。

・再生時のビジーをONにすると、1元再生時でも2元再生時でも、プログラムごとに設定された出力先に応じたビジー出力端子からビジー出力されます。そのビジー出力1、2をそれぞれにON／OFFを設定できます。

・システム設定時のビジー出力のON／OFFを、ビジー出力1、2のそれぞれに設定できます。
（設定操作手順 ☞ P. 58）

※ 工場出荷時の設定
・再生ビジー　：ビジー出力1、2共にON
・システム設定時のビジー：出力1、2共にOFF

*1 システムビジーがONに設定されているとき、以下の機能の設定中または動作中にビジー出力が出ます。

1-1 プログラム入力
1-2 出力レベル
1-4 プログラム初期化
1-5 プログラムタイトル
3-1 文章モニター*2
3-2 プログラムモニター*2
7-1 カードネーム入力
7-4 ソフトライトプロテクト
8-1 プログラムコピー
9-1 オートレベル調整

*2 再生ビジーがONになっていてもビジー出力はされませんのでご注意ください。

メ　モ

プログラム入力設定でのビジー出力
上記のビジー出力の他に、「プログラム単独再生時のプログラム間隔」のとき、「リピート再生時の演奏間隔」のときにも、ビジー出力1、2に出力することができます。
（☞ P. 27「1-1 プログラム入力」）

[再生遅延時間の設定]

再生起動がかかってからプログラム再生をはじめるまでの遅延時間は、0秒～99秒までの間（1秒刻み）で設定します。

※ 工場出荷時の設定
　再生遅延時間：0秒
（設定操作手順 ☞ P. 58）

■ 設定機能（6. 本体の環境設定）

● 操作ビープ音の設定（6-1 操作ビープ音）

キー操作の時にビープ音を鳴らす（ON）、鳴らさない（OFF）の設定をします。

※ 工場出荷時はONに設定されています。
（設定操作手順 ☞ P. 60）

● RS-232Cの設定（6-2 RS-232C設定）

RS-232Cの通信速度の設定をします。
4800bps、9600bps、19200bpsのいずれかに設定します。

※ 工場出荷時は9600bpsに設定されています。
（設定操作手順 ☞ P. 60）

● パスワードの設定（6-3 パスワード）

パスワードの設定をします。
パスワードを設定しておくとキーロック機能を ON にして誤操作やいたずらを防止することができます。

※ 工場出荷時にはパスワードは設定されていません。
（設定操作手順 ☞ P. 60）

● 本体初期化（6-4 本体初期化）

本体のすべての設定を工場出荷時の設定にします。
「4. 出力／音量の調節」「5. 本体の動作設定」、「6. 本体の環境設定」、「9. オートレベルの設定」を初期設定値にします。
（設定操作手順 ☞ P. 60）

● キーロックの設定（6-5 キーロック）

キーロック機能の設定をします。
キーロック機能を ON にするまえにパスワードを設定しておく必要があります。
キーロック機能を ON にすると電源キー以外のキーやダイヤルは機能しなくなり、誤操作やいたずらを防止することができます。

※ 工場出荷時はキーロックは OFF に設定されています。
（設定操作手順 ☞ P. 60）

● バージョン表示（6-6 バージョン）

本体のプログラムソフトのバージョンを表示します。
選択ダイヤルで項目を選択するとバージョンが表示されます。
（設定操作手順 ☞ P. 60）

■ 設定機能（7. カードの編集）

メモリーカードに名前を付けることができます。

● カードネームの入力・編集（7-1 カードネーム入力）

録音されているカードに名前を付けたり、登録されたカードネームを修正することができます。
（設定操作手順 ☞ P. 62）

※ 7-2 および 7-3 のメニューはありません。

● ソフトライトプロテクト（7-4 ソフトライトプロテクト）

カードに設定された内容にプロテクトをかけることができます。
プロテクトがかかったカードのプログラム入力／編集などの内容変更の作業ができなくなります。
カード内容を誤って編集してしまわないように、カード作成後はプロテクトをかけていただくようおすすめします。
プログラム再生／確認、文章確認などはプロテクトがかかっていても行うことができます。

※ 工場出荷時の設定：ソフトライトプロテクトはカードA, B 共に OFF
（設定操作手順☞ P. 62）

SRAM カードをご使用の場合は、カードの WP（ライトプロテクト）スイッチの位置とソフトライトプロテクトの ON/OFF 状態により以下のようになります。

WP スイッチ：WP 側、ソフトライトプロテクト　　：ON →プロテクト ON
WP スイッチ：WP 側、ソフトライトプロテクト　　：OFF →プロテクト ON
WP スイッチ：WP の反対側、ソフトライトプロテクト：ON →プロテクト ON
WP スイッチ：WP の反対側、ソフトライトプロテクト：OFF →プロテクト OFF

ただし、WP スイッチが WP 側の状態ではソフトライトプロテクトの設定をすることができません。また、ソフトライトプロテクトを ON に設定した後に WP スイッチを WP 側にしたカードのプロテクトを OFF にする場合は、WP スイッチを WP の反対側にしてからソフトライトプロテクトを OFF にする必要があります。

■ 設定機能（8. プログラムコピー）

● プログラムのコピー（8-1 プログラムコピー）

カード A に書き込まれたプログラムを、カード A 内の別のプログラム番号にコピーできます。
（設定操作手順☞ P. 64）

ご注意 プログラムコピーは、すでに作成されたプログラムにも上書きされます。

■ 設定機能（9. オートレベル設定）

●オートレベル調整（9-1 オートレベル調整）

オートレベル調整機能を ON にしておくと、録音レベルの違う文章をプログラム再生しても同じ音量で再生することができます。
再生するプログラムによっては再生音に違和感が出ることがあります。
この場合はオートレベル調整機能を OFF にしてください。

※ 工場出荷時は OFF に設定されています。
（設定操作手順☞ P. 65）

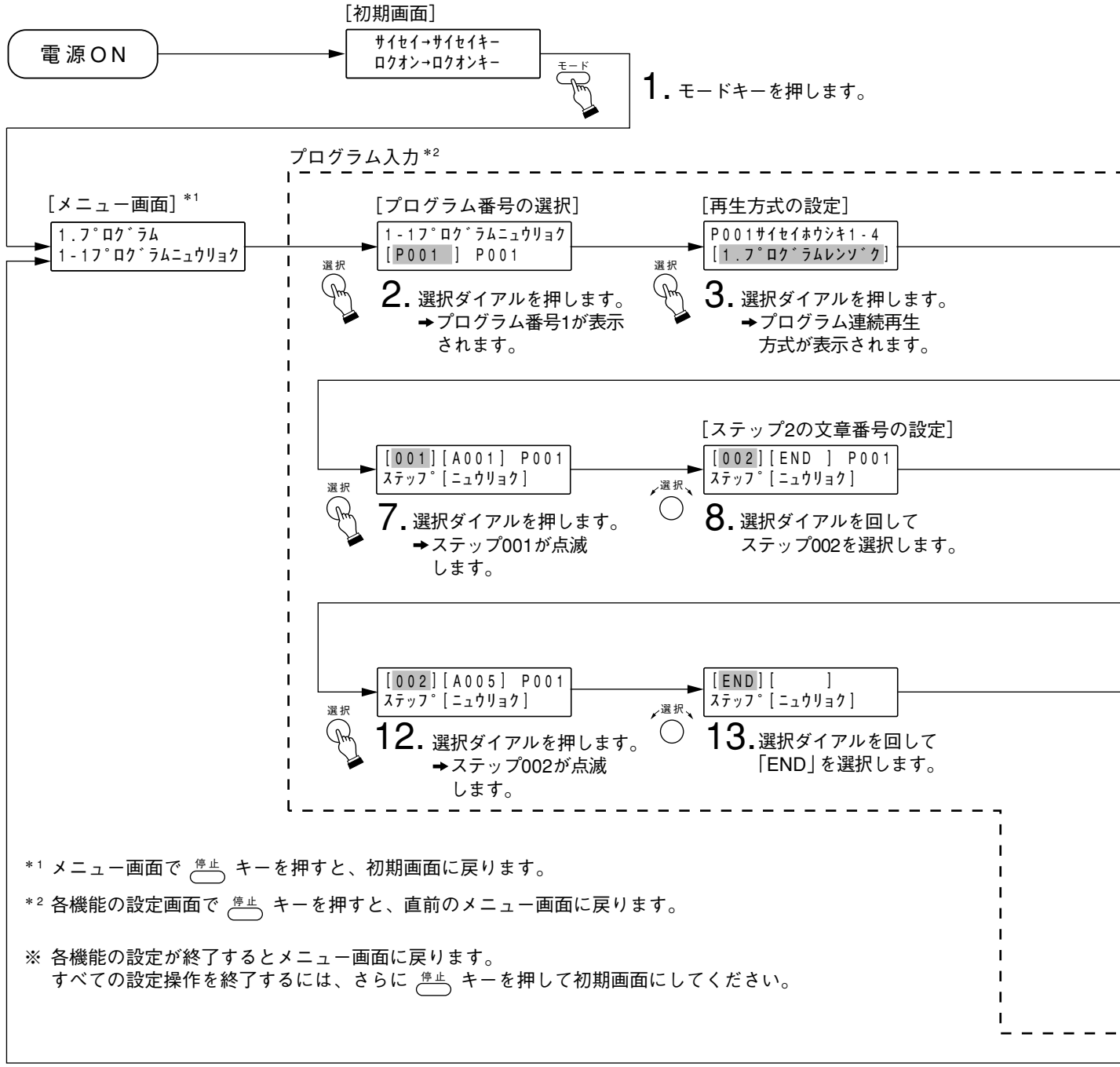
設定操作

■ 設定の操作例

ここでは、「1-1 プログラム入力」（☞ P. 27、46）を例に設定のしかたを説明します。
設定内容（例）
プログラム番号「P001」に文章番号「A001」「A005」を設定します。また再生方式と出力先を下表のように設定します。

プログラム番号	再生方式	ステップ番号	編　　集	文章番号	出　力　先
P001	プログラム連続再生	001 002	ステップ入力	A001 A005	出力1

● 設定のしかた



*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

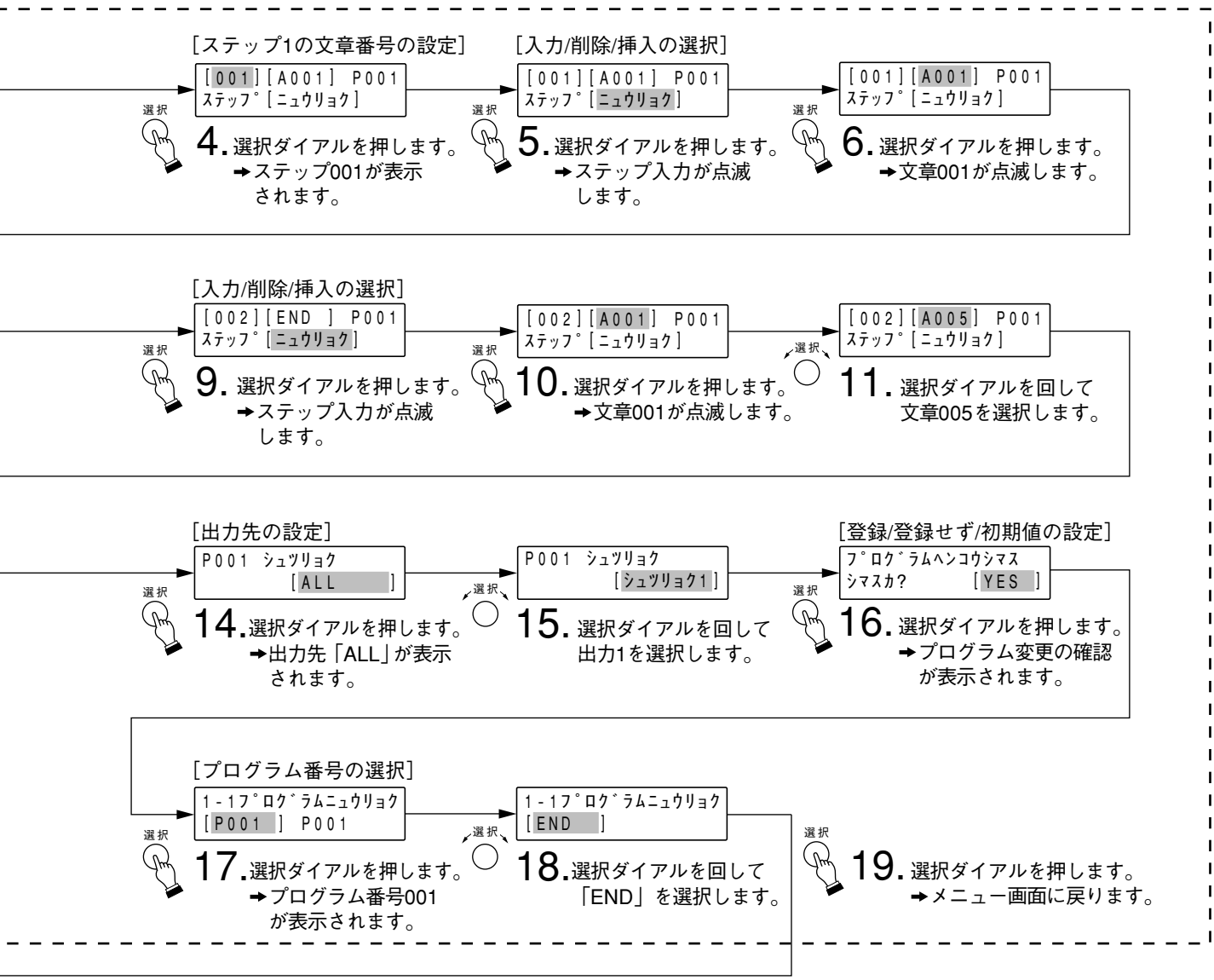
*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

● プログラムの内容と初期値

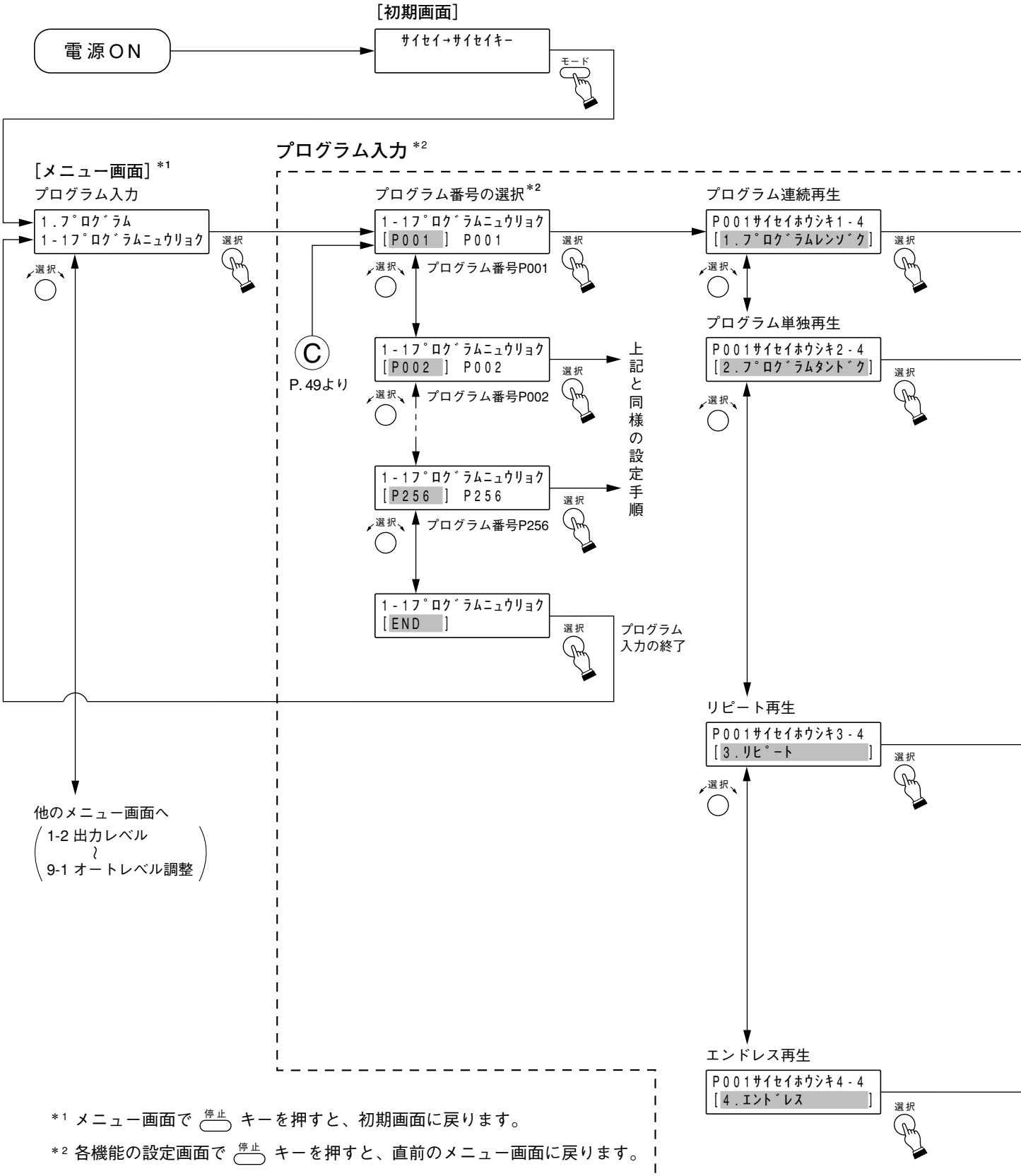
データ	内　容	工場出荷時の初期値
再生音データ	文章と無音部の組み合わせ（無音部は0～10秒は0.1秒きざみ、10秒～127秒は1秒 きざみで設定可能）	プログラム番号P001～P128に文章番号A001～A128、プログラム番号P129～P256に文章番号B001～B128を割り当て
制御データ	再生方式	プログラム連続再生
	出力先	出力1、出力2に同時に出力
	プログラムタイトル	プログラム番号P001～P256のプログラムタイトルとしてP001～P256を割り当て
	プログラムの出力レベル	目盛6に設定

※ プログラムを入力せずに再生した場合は、工場出荷時の初期値により動作します。



■ 設定操作（1. プログラムの設定）

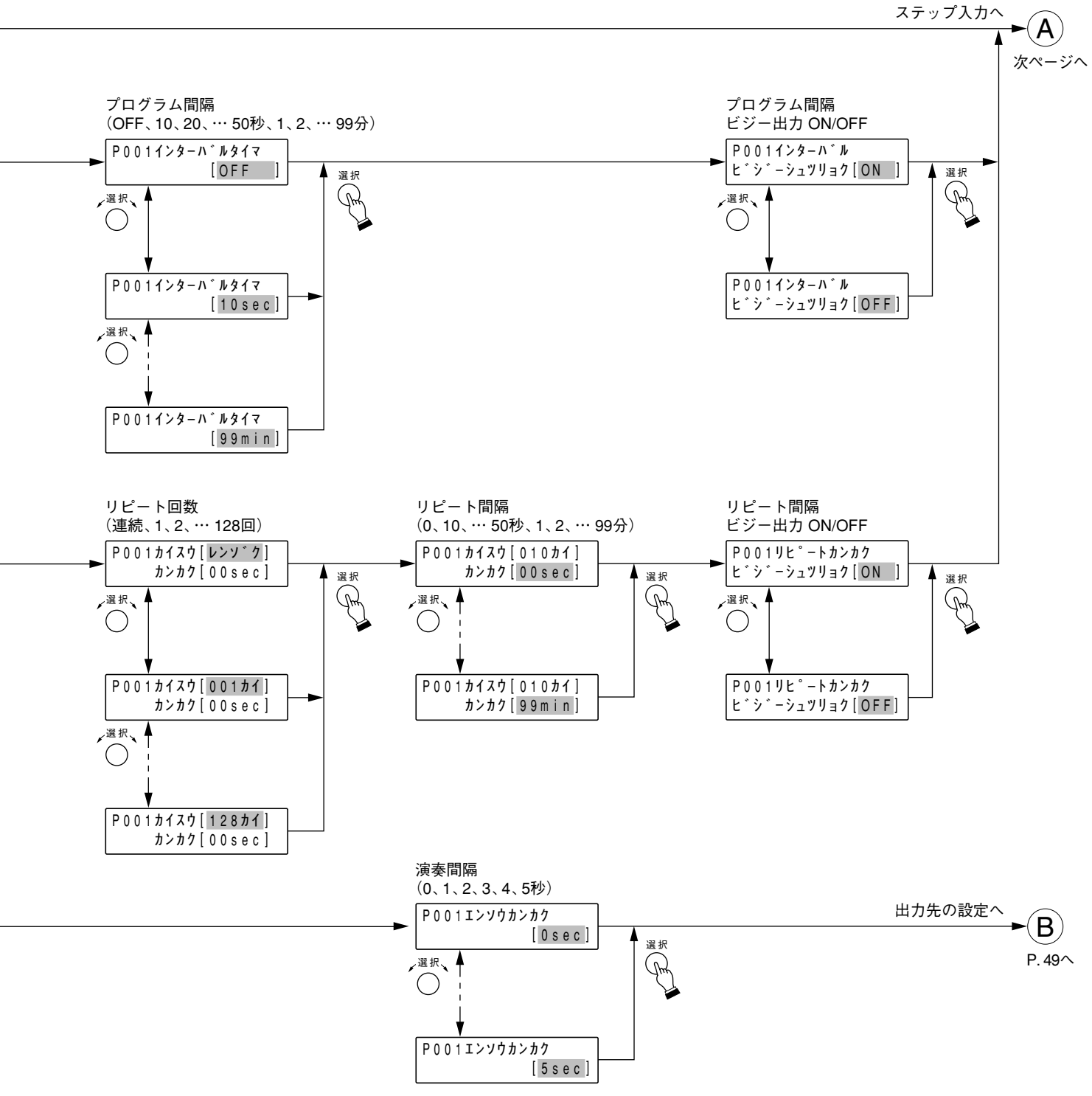
● 設定操作の手順（1-1 プログラム入力）



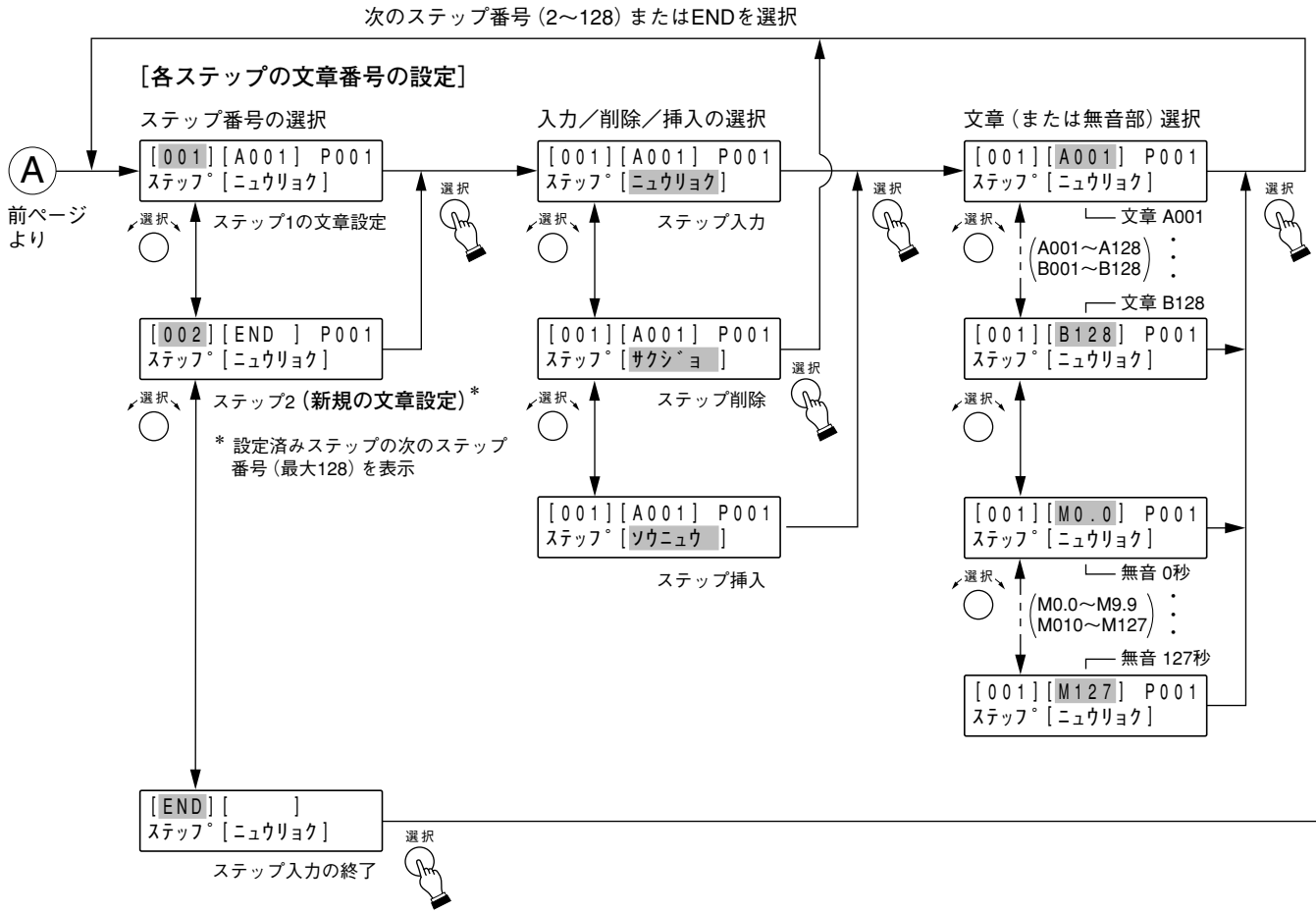
*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。


ステップ入力へ
A
次ページへ
プログラム間隔
（OFF、10、20、… 50秒、1、2、… 99分）
P001インターバルタイマ
[OFF]
選択
P001インターバルタイマ
[10sec]
P001インターバルタイマ
[99min]
プログラム間隔
ビジー出力 ON/OFF
P001インターバル
ビジーシュツリョク[ON]
P001インターバル
ビジーシュツリョク[OFF]
リピート回数
（連続、1、2、… 128回）
P001カイスウ[レンゾク]
カンカク[00sec]
P001カイスウ[001カイ]
カンカク[00sec]
P001カイスウ[128カイ]
カンカク[00sec]
リピート間隔
（0、10、… 50秒、1、2、… 99分）
P001カイスウ[010カイ]
カンカク[00sec]
P001カイスウ[010カイ]
カンカク[99min]
リピート間隔
ビジー出力 ON/OFF
P001リピートカンカク
ビジーシュツリョク[ON]
P001リピートカンカク
ビジーシュツリョク[OFF]
演奏間隔
（0、1、2、3、4、5秒）
P001エンソウカンカク
[0sec]
P001エンソウカンカク
[5sec]
出力先の設定へ
B
P. 49へ

プログラムの入力



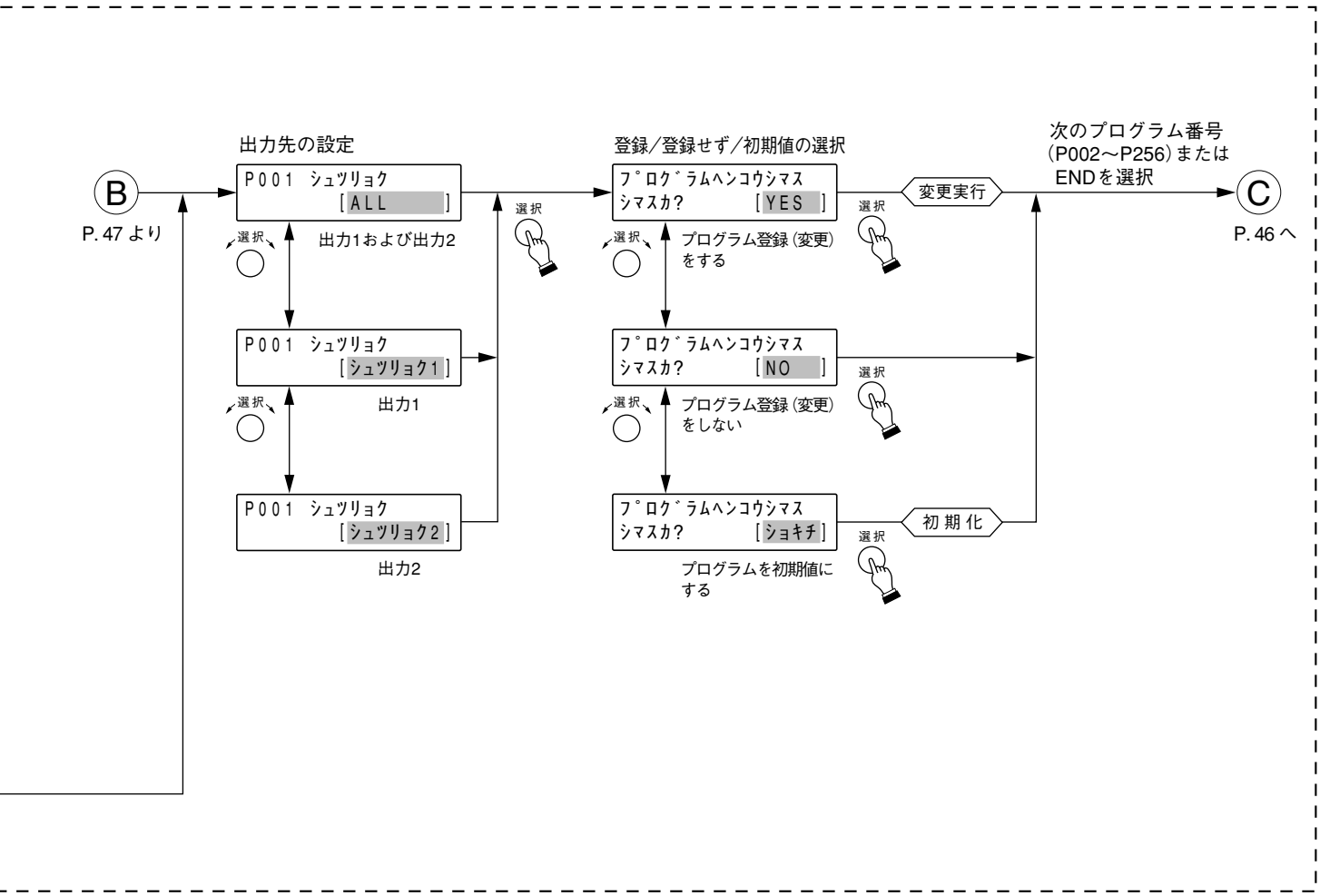
［選択項目と設定内容］（プログラム入力の設定）

プログラム番号	設定内容				
	再生方式	プログラム間隔（インターバルタイマ）	演奏回数	演奏間隔	ビジー出力
P001～P256	プログラム連続再生	―		―	―
	プログラム単独再生	OFF（間隔なし） 10、20、…50秒、 1、2、…99分	―	―	ON（「プログラム間隔」でのビジー出力） OFF
	リピート再生	―	1、2、…128回、連続	0、10、…50秒、 1、2、…99分	ON（「リピート間隔」でのビジー出力） OFF
	エンドレス再生	―		0、1、2、3、4、5秒	―

※ 初期設定値（工場出荷時）

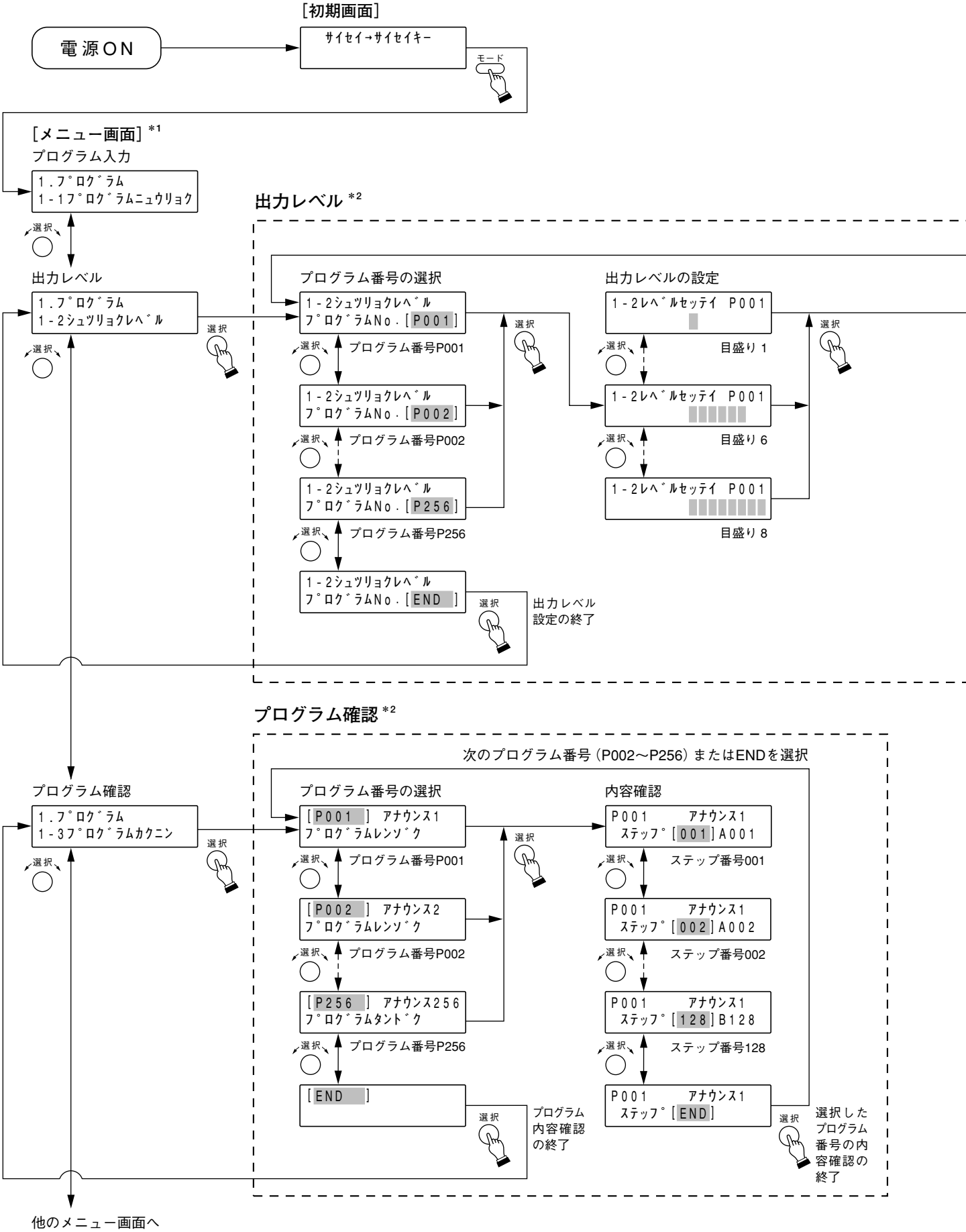
・下線部が初期値です。

・プログラム番号P001～P128には文章番号A001～A128、プログラム番号P129～P256には文章番号B001～B128が割り当てられています。（各プログラムには1文章のみ設定されています。）



ステップ番号	設定内容		
	編集	文章番号（または無音部）	出力先
001～256	ステップ入力 ステップ削除 ステップ挿入	文章番号：A001～A128 B001～B128 無音部の時間：M0.0～M9.9（0～9.9秒、0.1秒単位） M010～B127（10～127秒、1秒単位）	出力1および出力2 出力1 出力2
	—		

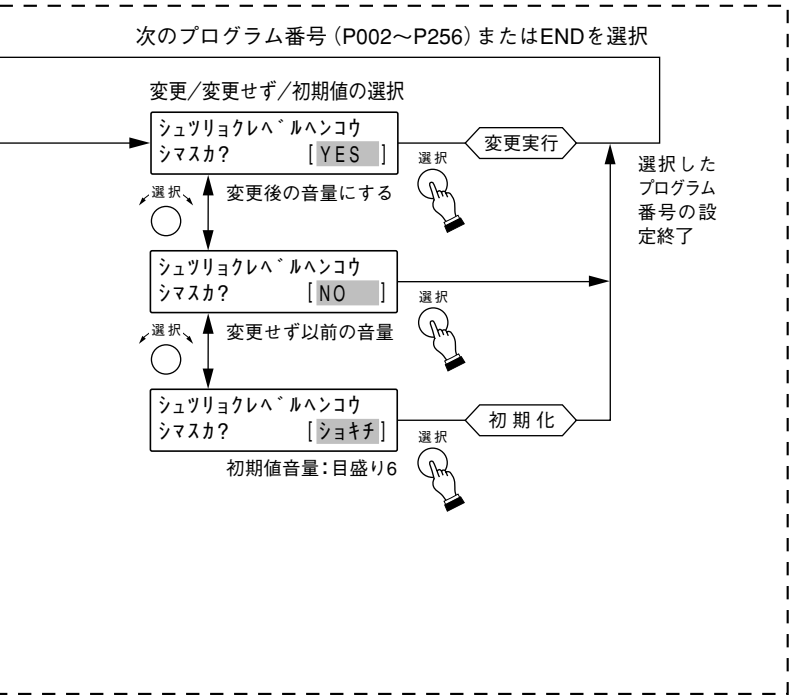
● 設定操作の手順（1-2 出力レベル、1-3 プログラム確認）



*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。



［選択項目と設定内容］（出力レベル）

プログラム番号	設定内容
	出力レベル
P001～P256	目盛り1 目盛り2 ・ ・ ・ 目盛り6 目盛り7 目盛り8

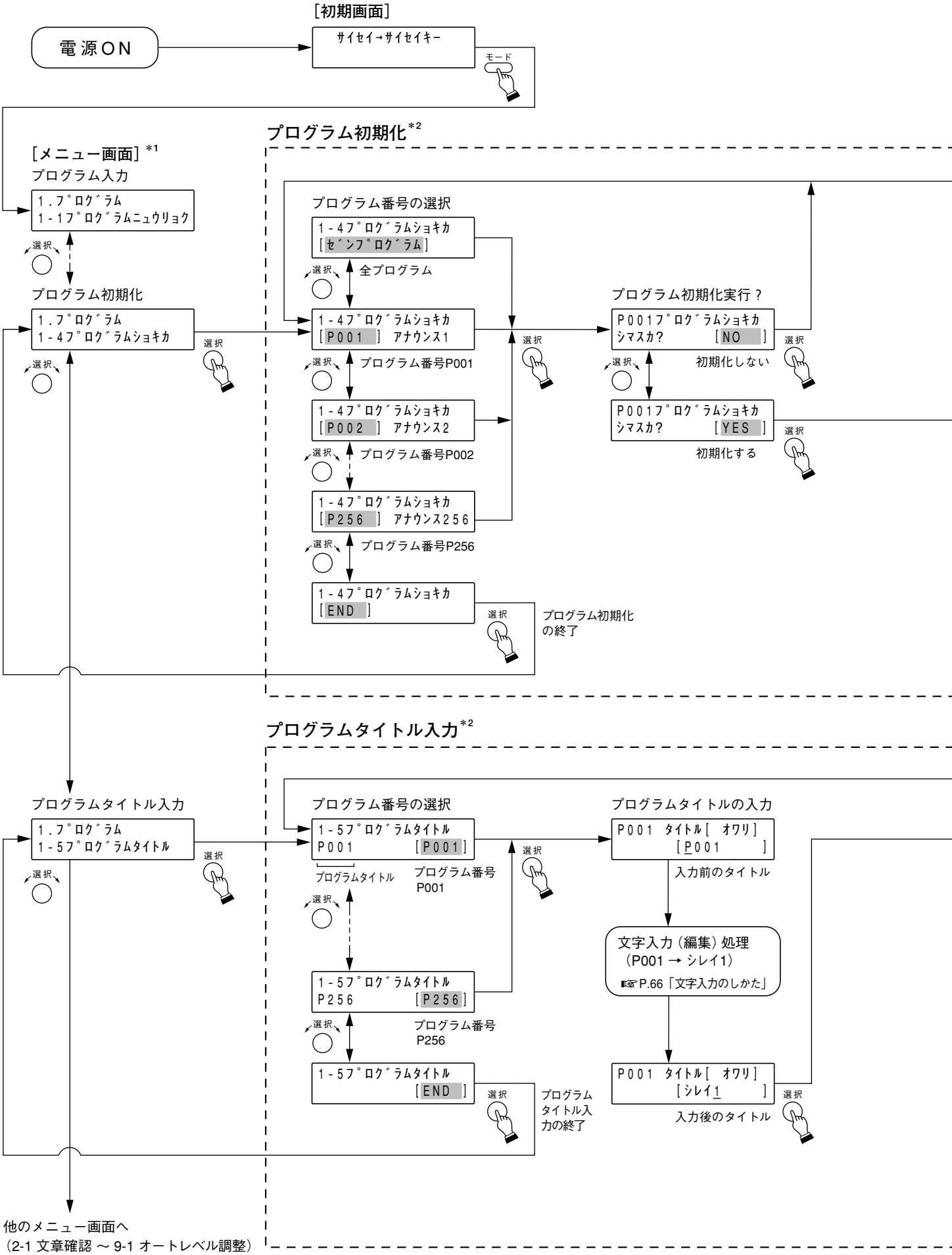
※ 下線部は初期設定値（工場出荷時）です。

［選択項目と確認内容］（プログラム内容確認）

プログラム番号	確認内容		ステップ番号	確認内容
	プログラムタイトル	再生方式		文章番号（または無音部）
P001～P256	P001～P256 カタカナ、英数字、記号 （最大8文字）	プログラム連続再生	001～256	文章番号：A001～A128 B001～B128 無音部の時間：M0.0～M9.9（0～9.9秒、0.1秒単位） M010～M127（10～127秒、1秒単位）
		プログラム単独再生		
		リピート再生		
		エンドレス再生	――	――

※ 下線部は初期設定値（工場出荷時）です。

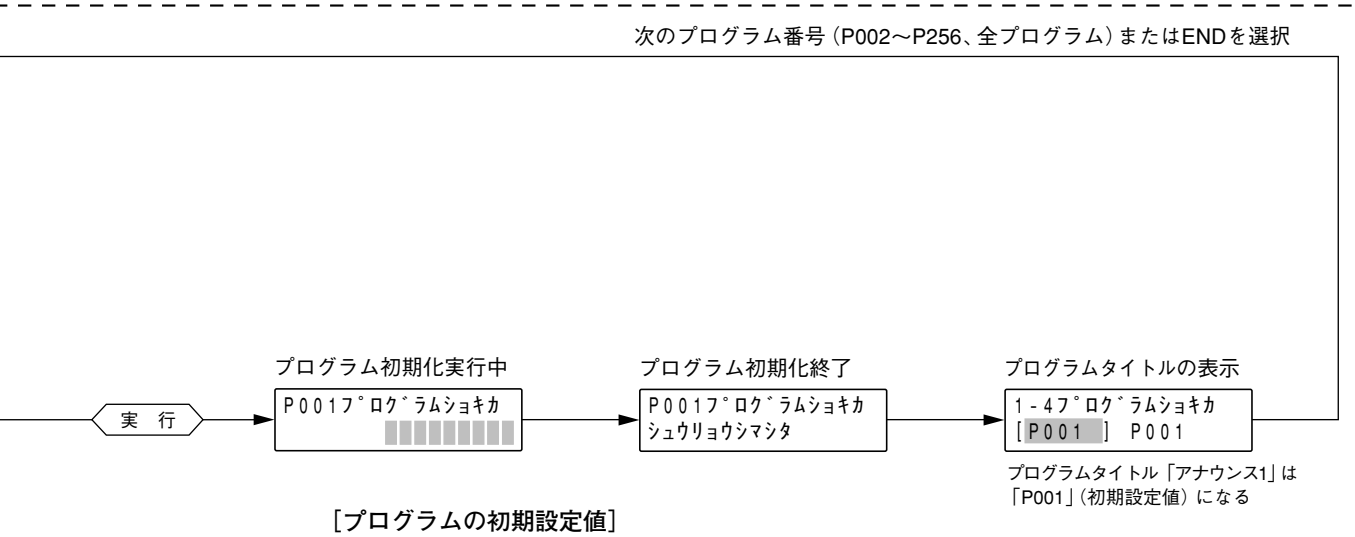
● 設定操作の手順（1-4 プログラム初期化、1-5 プログラムタイトル入力）



*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

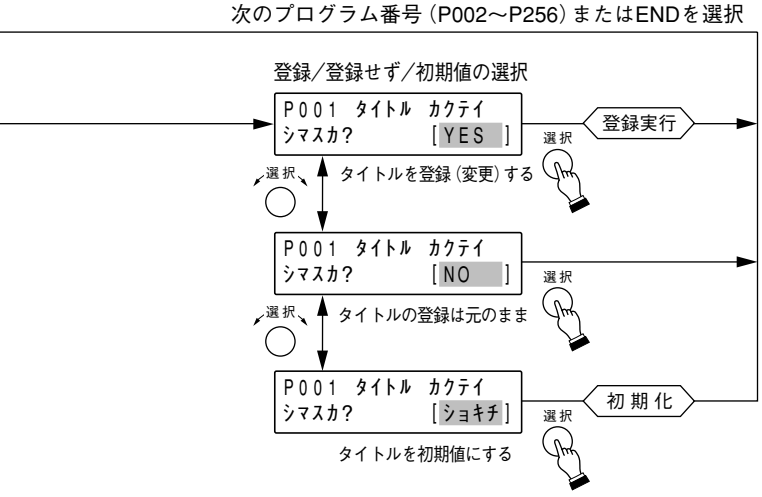
*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。



［プログラムの初期設定値］

再生方式	プログラムタイトル	ステップ番号	文章番号	出力先
プログラム連続再生	P001 ～ P256 （プログラム番号と同じ）	001 のみ	P001 には A001 ⋮ P128 には A128 P129 には B001 ⋮ P256 には B128 （各プログラムに1文章のみ）	出力1および出力2



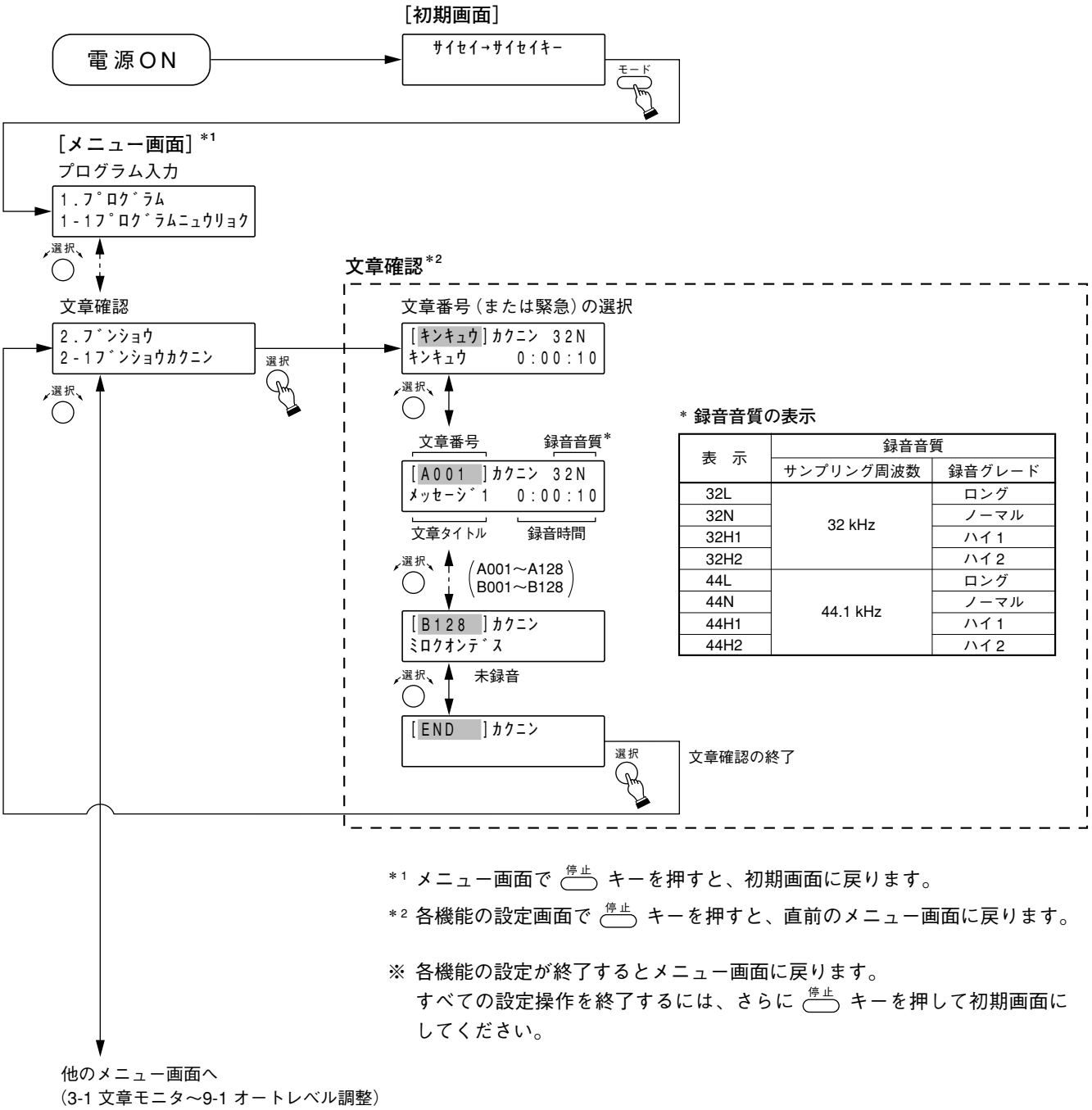
［選択項目と設定内容］

プログラム番号	プログラムタイトル
P001 ～ P256	P001 ～ P256（プログラム番号と同じ） 文字入力、挿入、削除（カタカナ、英数字、記号、最大8文字）

※ 下線部は初期設定値（工場出荷時）です。

■ 設定操作（2. プログラムの編集）

● 設定操作の手順（2-1 文章確認）



* 録音音質の表示

表　示	録音音質	
	サンプリング周波数	録音グレード
32L	32 kHz	ロング
32N		ノーマル
32H1		ハイ 1
32H2		ハイ 2
44L	44.1 kHz	ロング
44N		ノーマル
44H1		ハイ 1
44H2		ハイ 2

*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

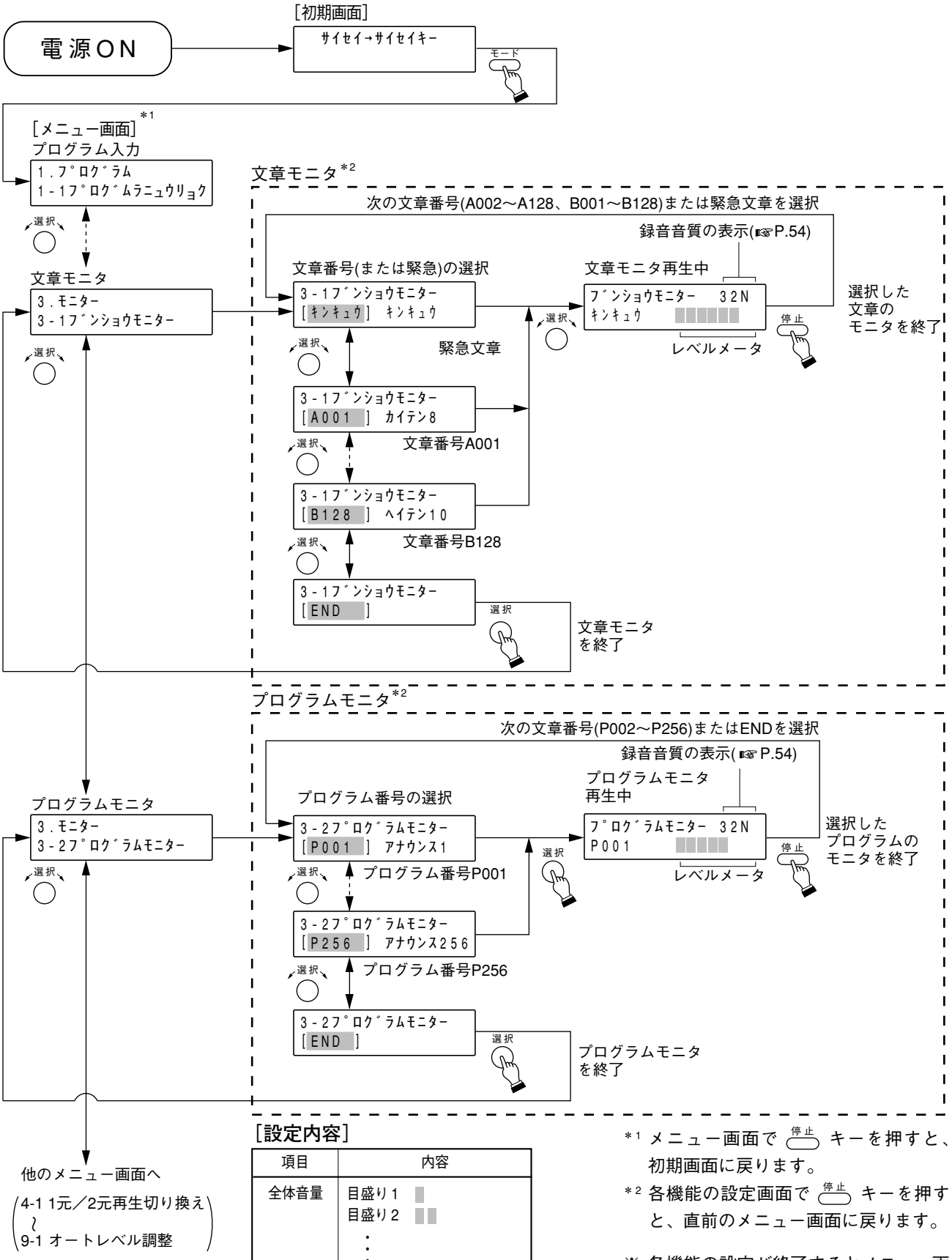
［選択項目と確認内容］（文章確認）

文章番号	確認内容		
	文章タイトル	録音音質	録音時間
A001 ～ A128 B001 ～ B128 キンキュウ	A001 ～ A128 B001 ～ B128 タイトル文字 （カタカナ、英数字、記号、最大 8 文字）	32L 32N 32H1 32H2 44L 44N 44H1 44H2	X：YY：ZZ （X ：時間 YY：分 ZZ：秒）

※ 未録音の文章には「ミロクオンデス」と表示しています。
※ 下線部は初期設定値（工場出荷時）です。

■ 設定操作（3. 文章／プログラムのモニタ）

● 設定操作の手順（3-1 文章モニタ、3-2 プログラムモニタ）



［設定内容］

項目	内容
全体音量	目盛り1 ▮ 目盛り2 ▮▮ ： 目盛り7 ▮▮▮▮▮▮▮ 目盛り8 ▮▮▮▮▮▮▮▮

※ 下線部は初期設定値（工場出荷時）です。

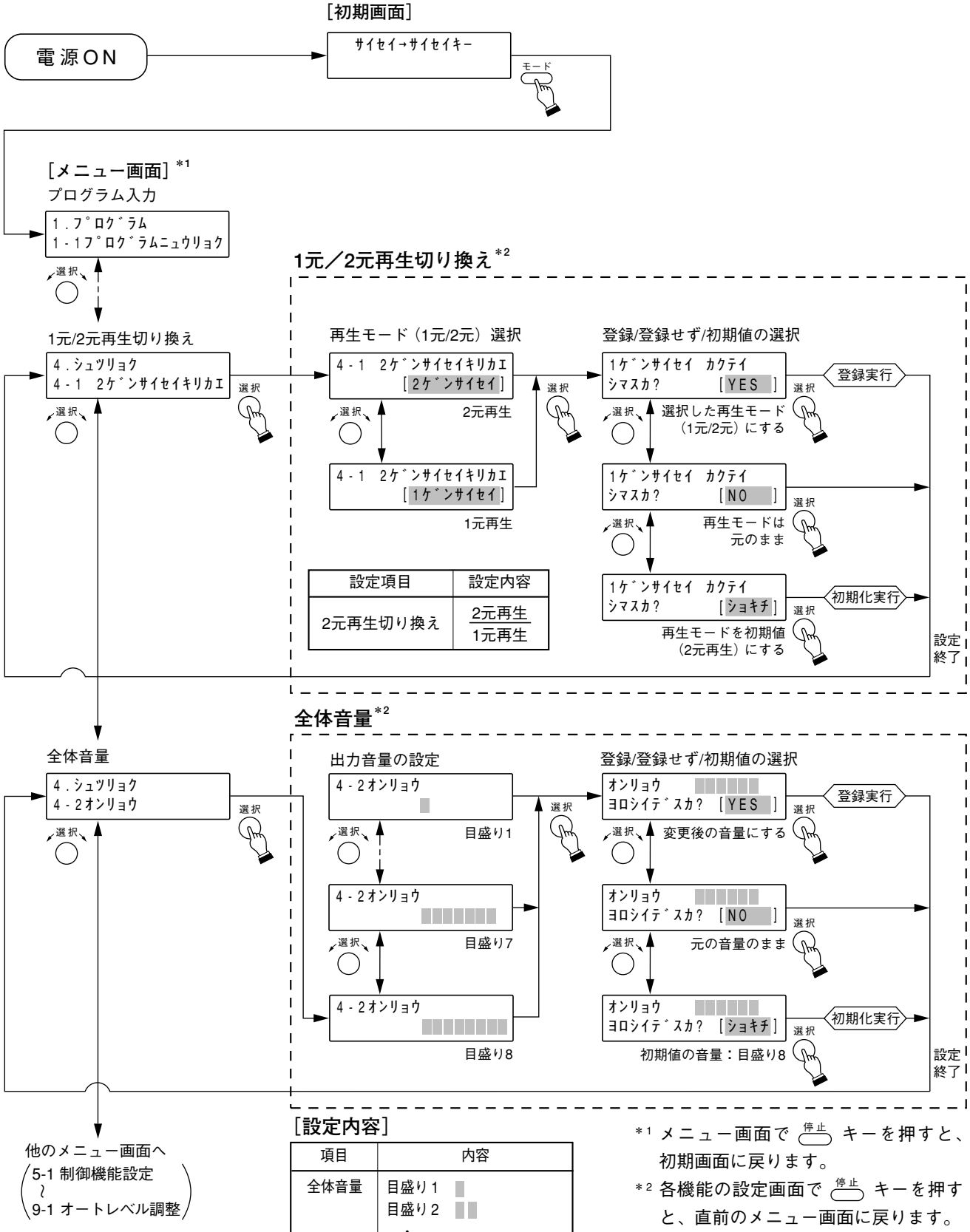
*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

■ 設定操作（4. 出力／音量の調節）

● 設定操作の手順（4-1 1元／2元再生切り換え、4-2 全体音量）



［設定内容］

項目	内容
全体音量	目盛り1 目盛り2 ・ ・ ・ 目盛り7 目盛り8

※ 下線部は初期設定値（工場出荷時）です。

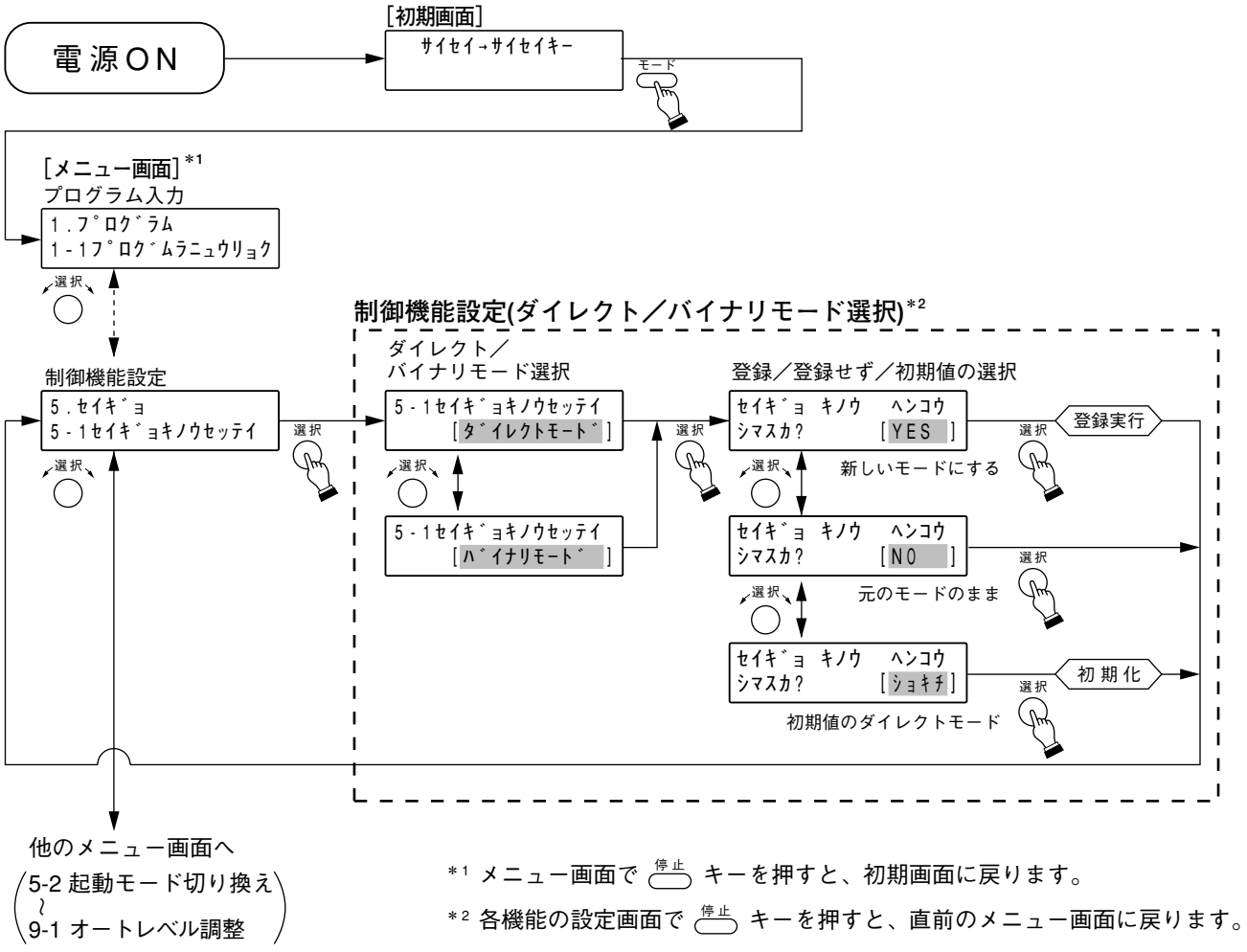
*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

■ 設定操作（5. 本体の動作設定）

● 設定操作の手順（5-1 制御機能設定）



*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

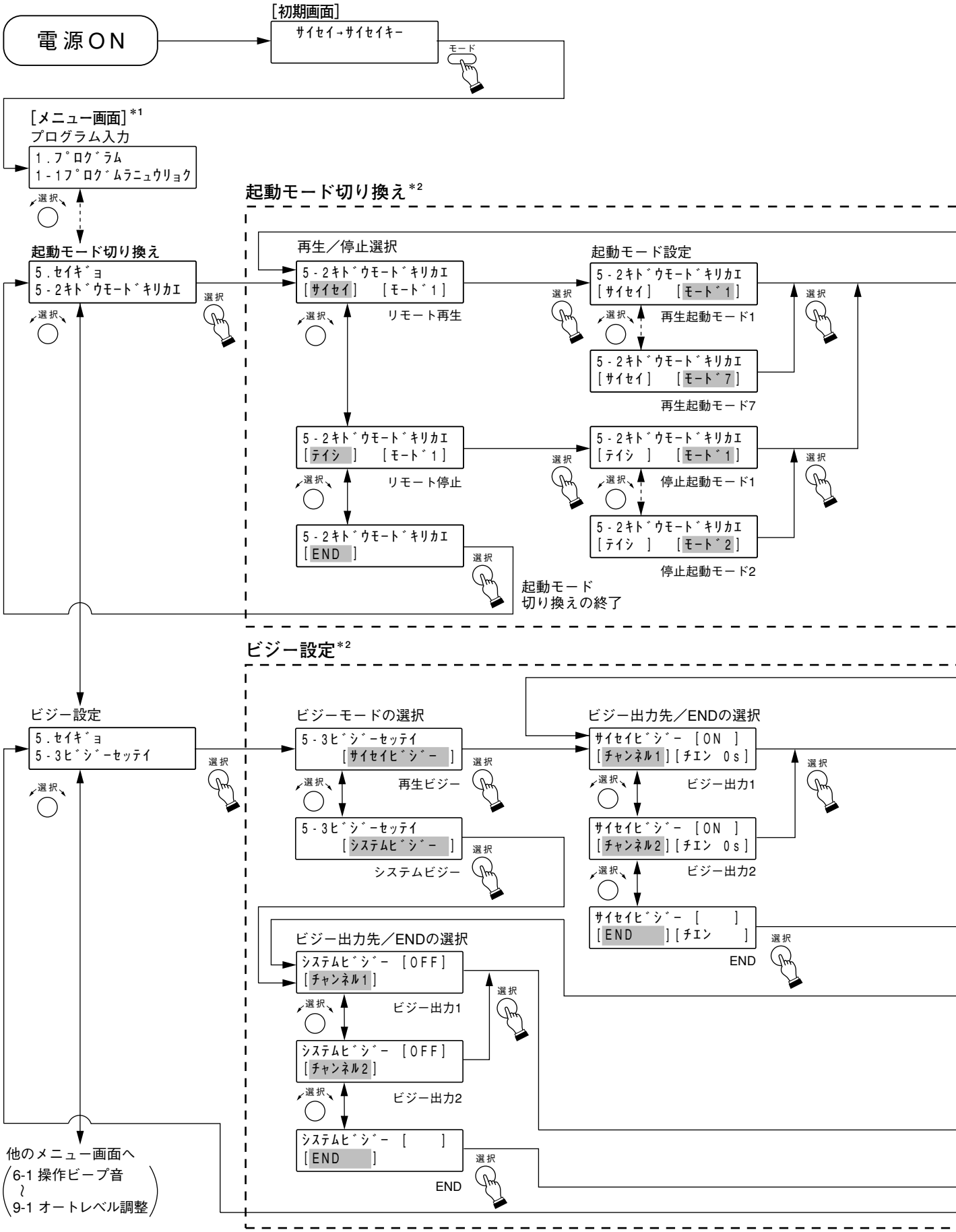
*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

[選択項目と設定内容]（起動モード切り換え）

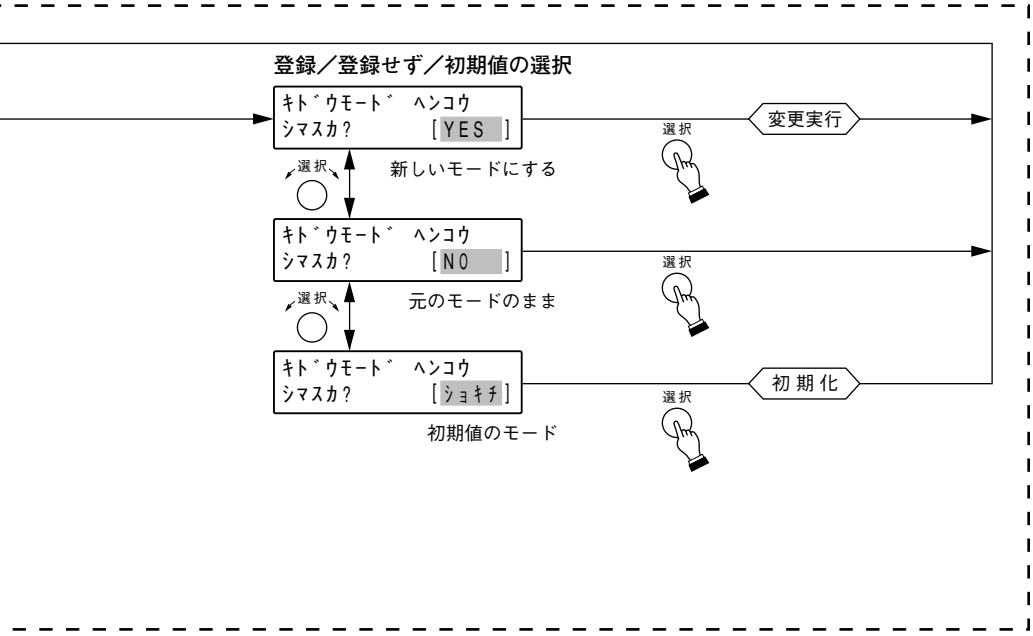
再生／停止	設定内容		起動モードの説明
	ダイレクトモード	バイナリモード	
リモート再生	起動モード1 起動モード2 起動モード3 起動モード4 起動モード5 起動モード6 起動モード7	起動モード1 起動モード2 起動モード3 起動モード4 起動モード5	モード1：ワンショット起動、後入力禁止 モード2：ワンショット起動、後入力優先割込み モード3：ワンショット起動、小さいプログラム番号優先 モード4：ワンショット起動、順次記憶再生 モード5：レベル起動、先入力優先（ダイレクトモード時のみ） モード6：レベル起動、後入力優先割込み モード7：レベル起動、小さいプログラム番号優先
リモート停止	起動モード1 起動モード2		モード1：再生の途中で停止 モード2：文章再生終了後に停止

● 設定操作の手順（5-2 起動モード切り換え、5-3 ビジー設定）



［選択項目と設定内容］（ビジー設定）

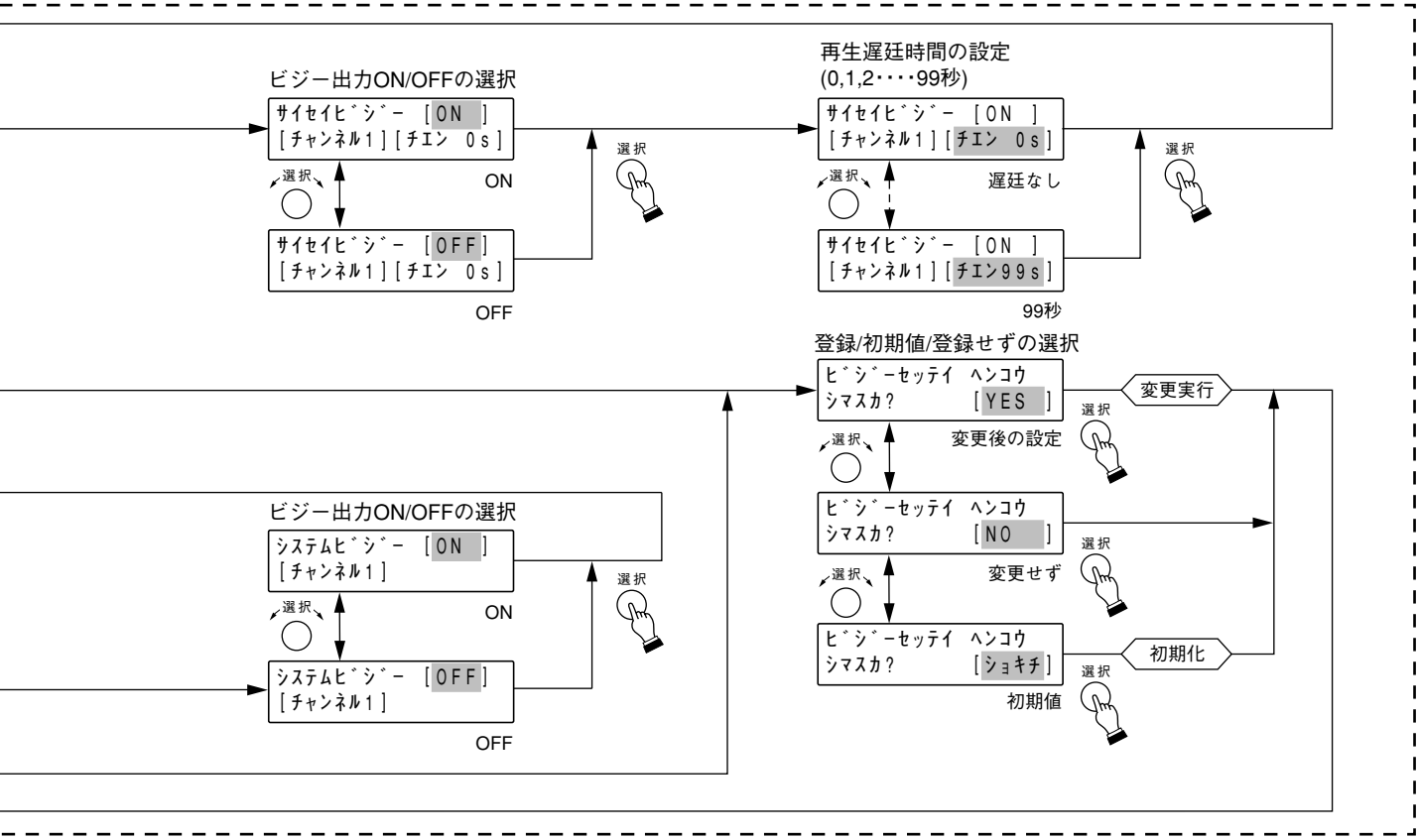
ビジーモード	ビジー出力先	設定内容	
		ビジー出力	再生遅延時間
再生ビジー	ビジー出力1 ビジー出力2	ON OFF	0、1、2、…99秒
システムビジー	ビジー出力1 ビジー出力2	ON OFF	―



*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

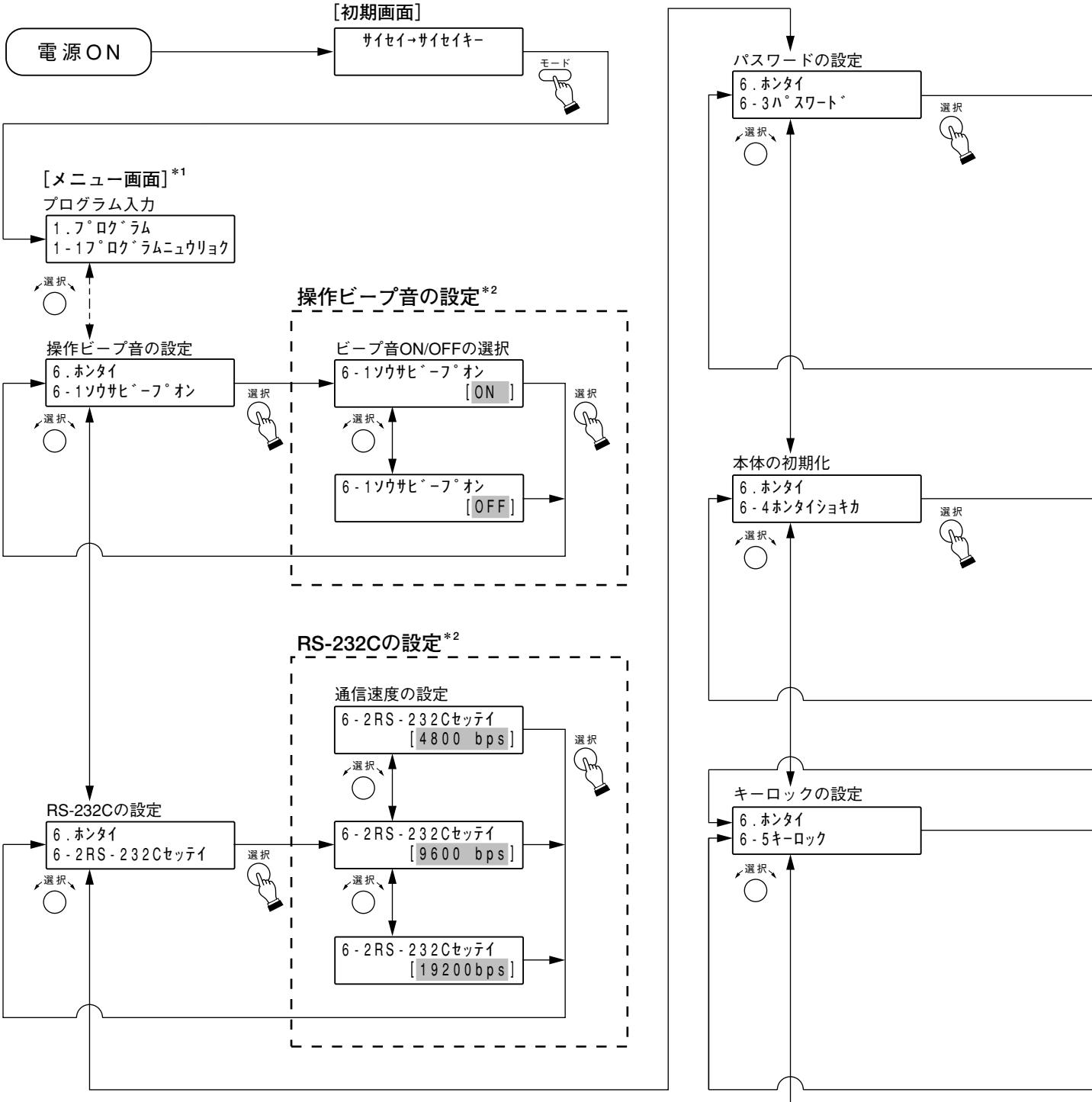
*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。



■ 設定操作（6. 本体の環境設定）

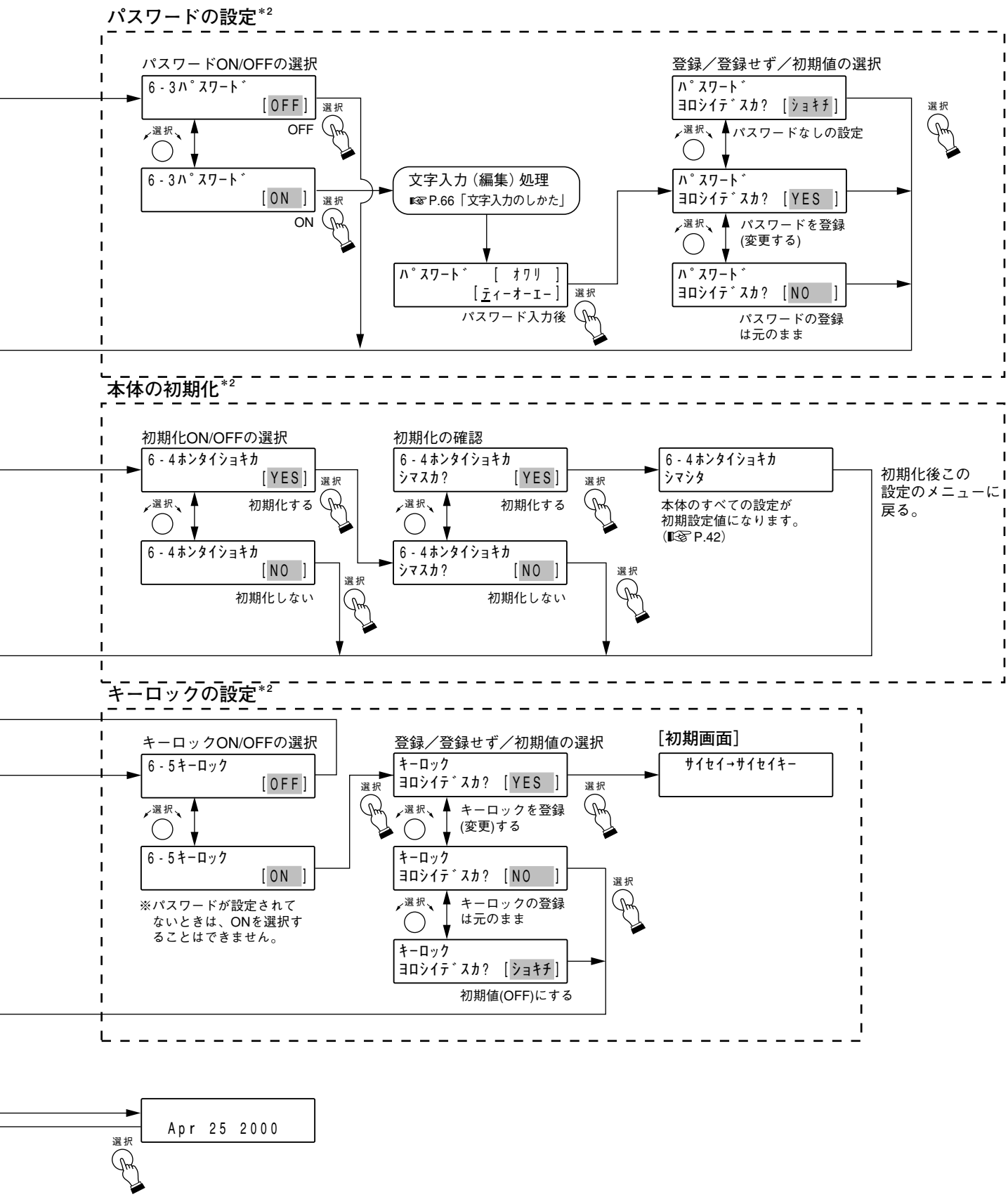
● 設定操作の手順（6-1 操作ビープ音、6-2 RS-232C 設定、6-3 パスワード、6-4 本体初期化、6-5 キーロック、6-6 バージョン）



*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

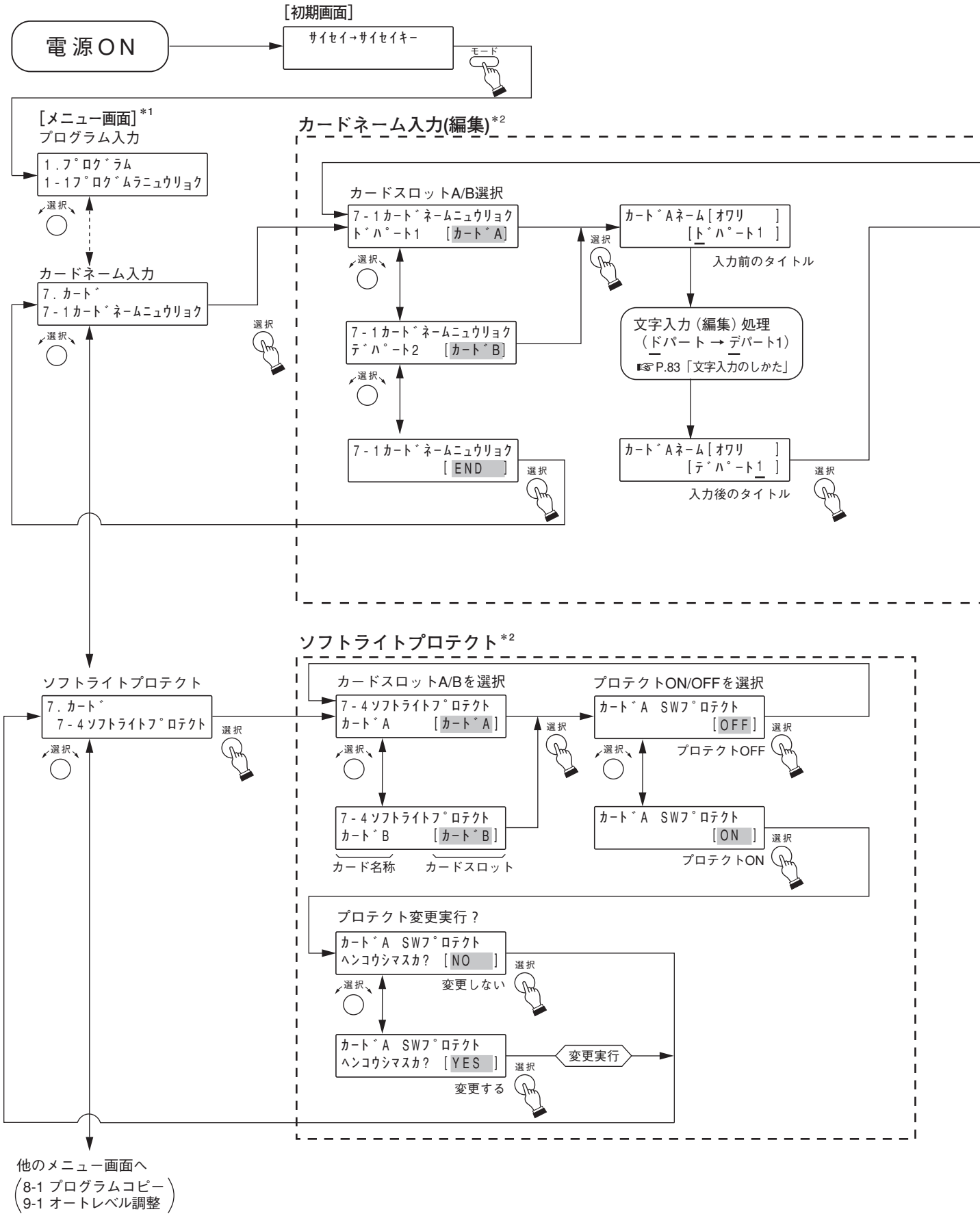
*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

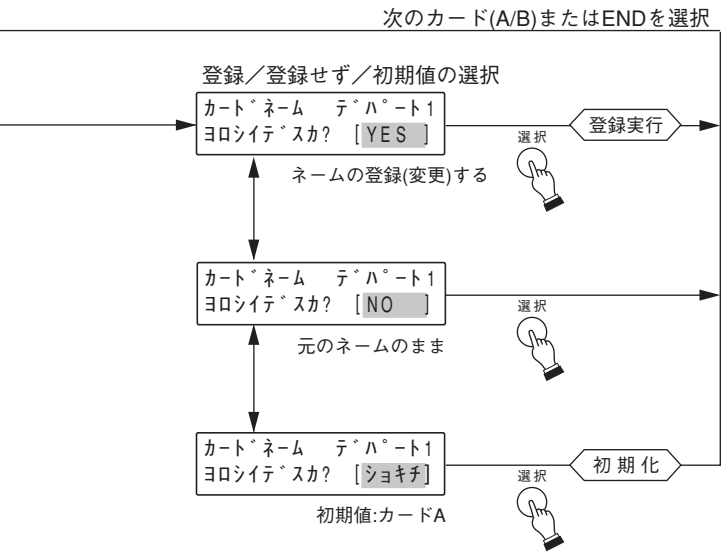
※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。


パスワードの設定*2
パスワードON/OFFの選択
6-3ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
[OFF]
選択
OFF
6-3ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
[ON]
ON
文字入力（編集）処理
☞P.66「文字入力のしかた」
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ [ｵﾜﾘ]
[ﾃｨｰｵｰｴｰ]
パスワード入力後
登録／登録せず／初期値の選択
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
ﾖﾛｼｲﾃﾞｽｶ? [ｼｮｷﾁ]
パスワードなしの設定
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
ﾖﾛｼｲﾃﾞｽｶ? [YES]
パスワードを登録
(変更する)
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
ﾖﾛｼｲﾃﾞｽｶ? [NO]
パスワードの登録
は元のまま
本体の初期化*2
初期化ON/OFFの選択
6-4ﾎﾝﾀｲｼｮｷｶ
[YES]
初期化する
6-4ﾎﾝﾀｲｼｮｷｶ
[NO]
初期化しない
初期化の確認
6-4ﾎﾝﾀｲｼｮｷｶ
ｼﾏｽｶ? [YES]
初期化する
6-4ﾎﾝﾀｲｼｮｷｶ
ｼﾏｽｶ? [NO]
初期化しない
6-4ﾎﾝﾀｲｼｮｷｶ
ｼﾏｼﾀ
本体のすべての設定が
初期設定値になります。
(☞P.42)
初期化後この
設定のメニューに
戻る。
キーロックの設定*2
キーロックON/OFFの選択
6-5ｷｰﾛｯｸ
[OFF]
6-5ｷｰﾛｯｸ
[ON]
※パスワードが設定されて
ないときは、ONを選択す
ることはできません。
登録／登録せず／初期値の選択
ｷｰﾛｯｸ
ﾖﾛｼｲﾃﾞｽｶ? [YES]
キーロックを登録
(変更)する
ｷｰﾛｯｸ
ﾖﾛｼｲﾃﾞｽｶ? [NO]
キーロックの登録
は元のまま
ｷｰﾛｯｸ
ﾖﾛｼｲﾃﾞｽｶ? [ｼｮｷﾁ]
初期値(OFF)にする
[初期画面]
ｻｲｾｲ→ｻｲｾｲｷｰ
Apr 25 2000
選択

■ 設定操作（7. カードの編集）

● 設定操作の手順（7-1 カードネーム入力、7-4 ソフトライトプロテクト）





［選択項目と設定内容］

カードスロット	カードネーム
カードA カードB	カードA カードB 文字の入力、挿入、削除 （カタカナ、英数字、記号、最大８文字）

※ 下線部は初期設定時（工場出荷時）です。

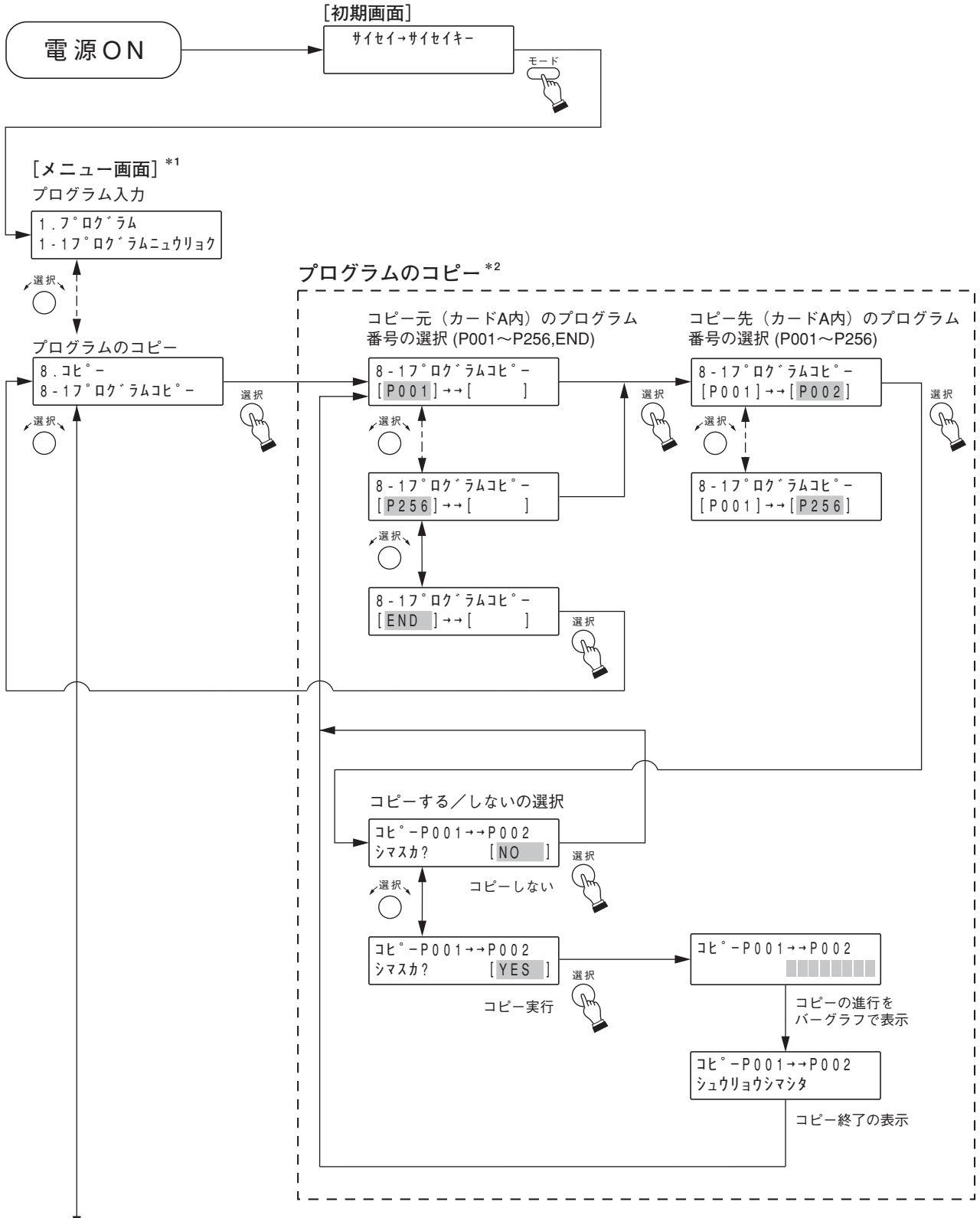
*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

■ 設定操作（8. コピー）

● 設定操作の手順（8-1 プログラムコピー）



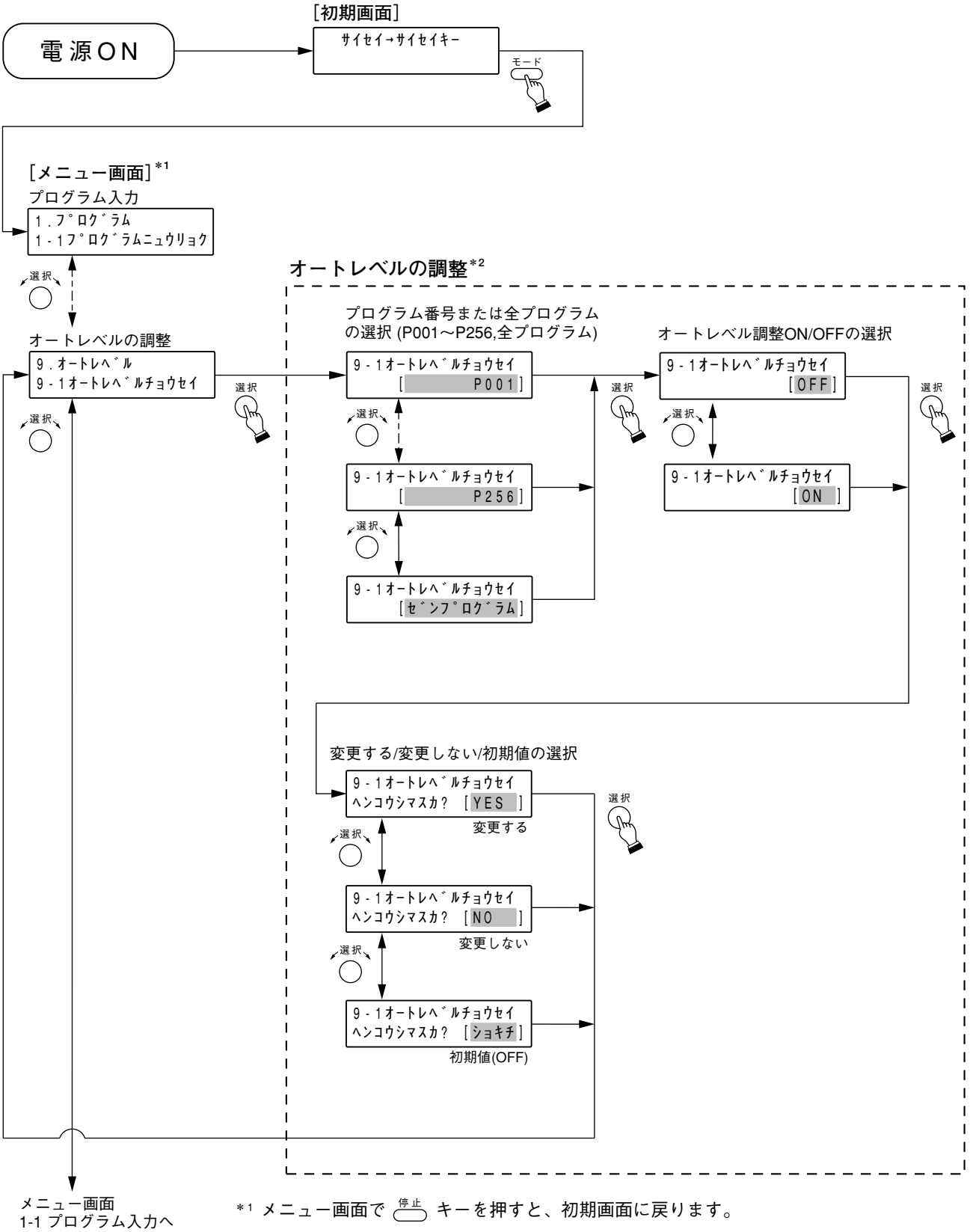
*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

■ 設定操作（9. オートレベル調整）

● 設定操作の手順（9-1 オートレベル調整）



*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

■ 文字入力のしかた

アルファベット、カタカナ、数字、記号を使ってプログラムタイトル、カードネーム、パスワードを書き込むことができます。
それぞれに書き込める文字は8文字です。
操作は選択ダイヤルで行います。

● 使用できる文字、記号、コマンド

文字、記号

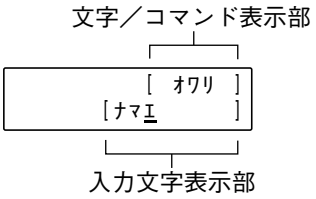
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
Y	Z	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v
w	x	y	z	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ
ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ	ﾐ
ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ
ﾇ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ
°	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	!
^	#	$	%	&	(	)	-	@	_	{	}

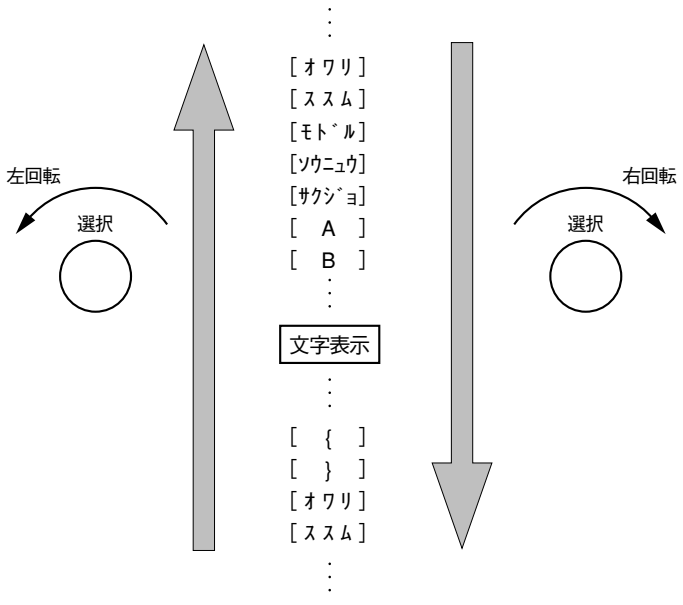
コマンド

[ｵﾜﾘ]	文字入力画面を終了する。
[ｽｽﾑ]	カーソル位置を一文字右へ移動する。
[ﾓﾄﾞﾙ]	カーソル位置を一文字左へ移動する。
[ｿｳﾆｭｳ]	カーソル位置に空白を挿入し、以降の文字を一文字右に移動させる。
[ｻｸｼﾞｮ]	カーソル位置の文字を削除し、以降の文字を左に詰める。

● 文字／コマンド表示部と選択ダイヤルの操作

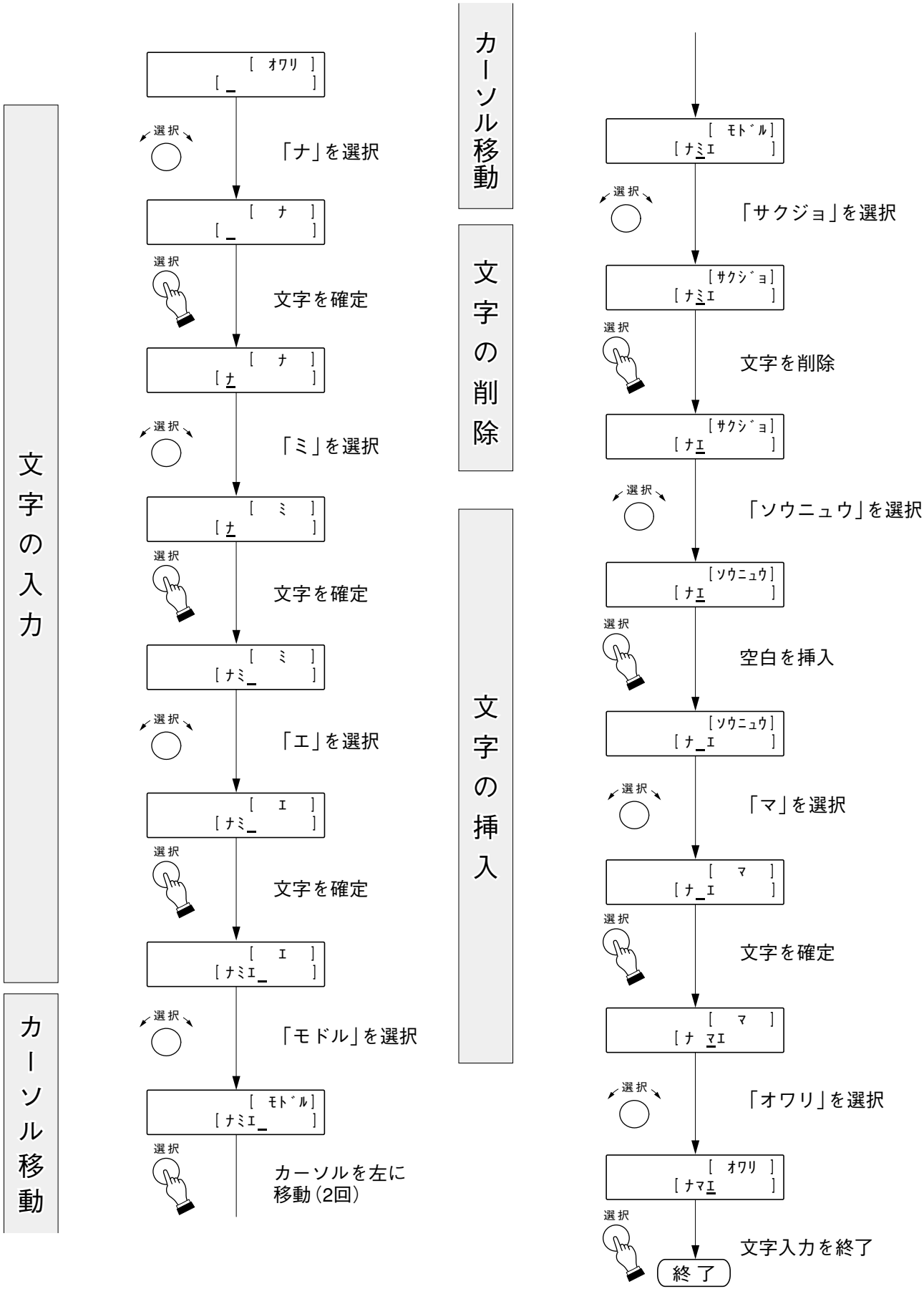
選択ダイヤルを回すと文字／コマンド表示部の［　］内が変わります。





● 文字の入力例

「ナミエ」と入力し、「ナマエ」に修正します。



入力機器の放送

後面の予備入力に接続された外部演奏機器からも放送することができます。
放送にはあらかじめ優先が設定されています。

《 放送の優先順位 》

1. 緊急再生
2. プログラム再生
3. 外部演奏機器の放送

■ 入力機器の放送のしかた

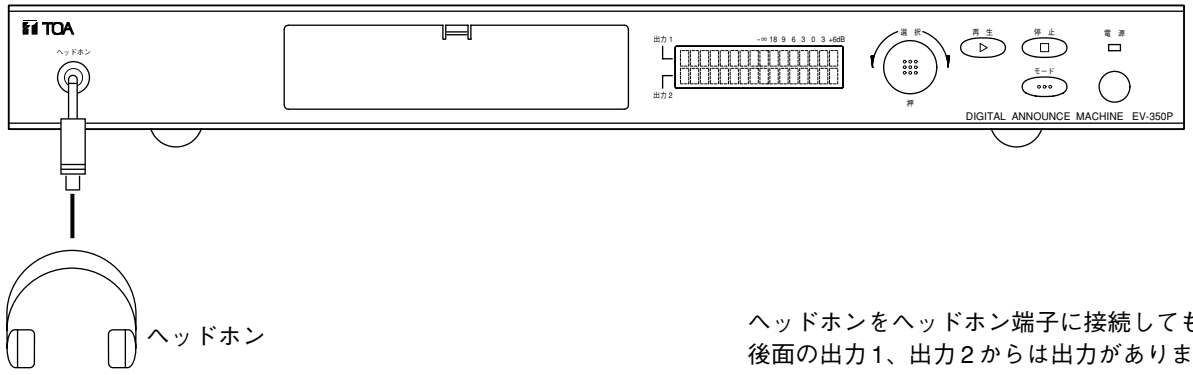
1. 外部演奏機器を後面（ホーンジャック）の予備入力に接続します。
2. 外部演奏機器を演奏しながら適正な音量になるように、外部演奏機器の音量調節ツマミで調節します。

設　置

■ 接続例

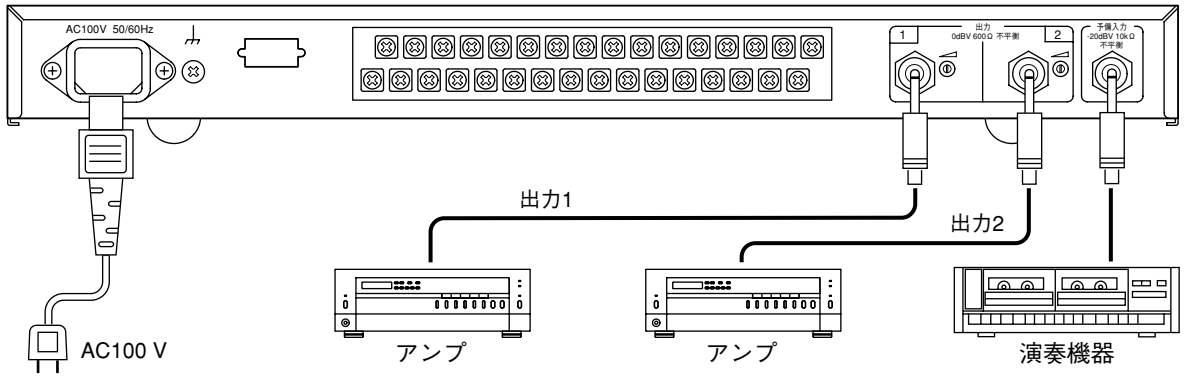
カセットデッキやCDプレーヤの演奏機器、アンプなどと接続するとき、また本機の電源を接続するときは各機器の電源を必ず切ってください。

● 前　面



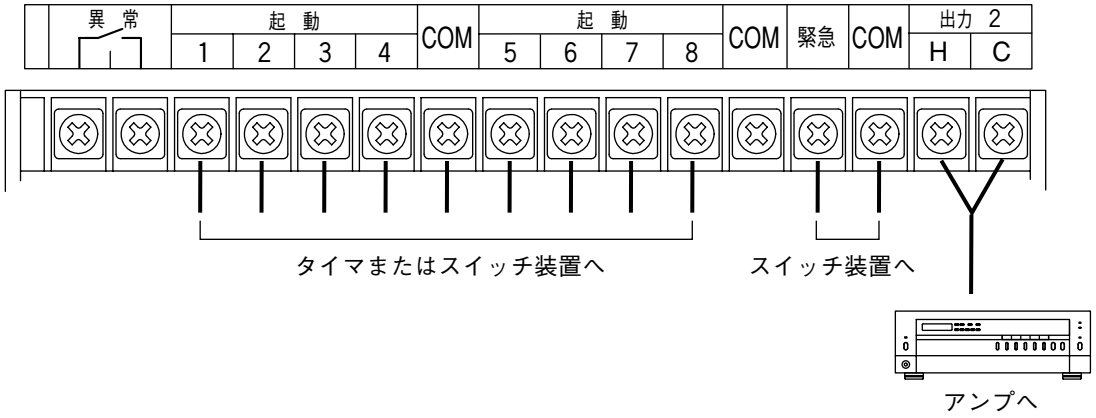
ヘッドホンをヘッドホン端子に接続しても
後面の出力1、出力2からは出力があります。

● 後　面



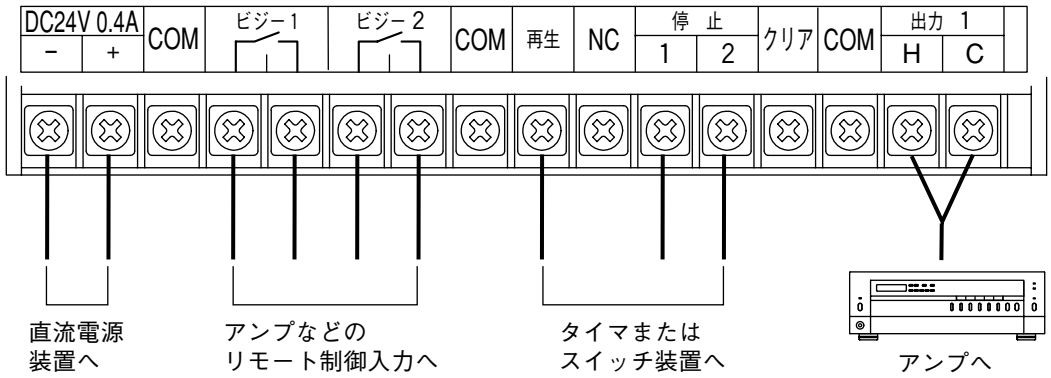
● 端子台

［上 段］



・端子台の出力１、出力２はホーンジャックの出力１、出力２と同じ信号を出力します。
・接点入力は無電圧メイク接点、開放電圧DC24 V、短絡電流10 mA、短絡時間50 ms以上でお使いください。
・ビジー出力の接点容量はDC30 V 500 mA以下でお使いください。
・アンプの電源を直接制御するときは必ず十分な接点容量を持ったリレー接点を介してください。

［下 段］



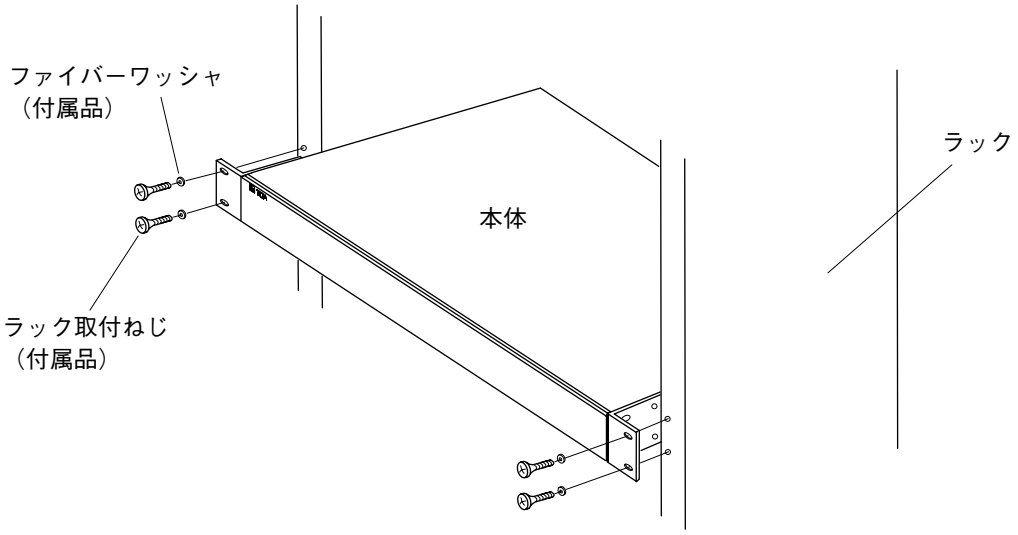
● 異常出力端子（後面端子台）の動作

通常はメイクしています。
本機が次の状態になったとき、この端子がブレイクします。

(1) カードスロットA、Bともにメモリカードが実装されていないとき
(2) 使用できないタイプのメモリカードや故障のメモリカードが実装されたとき
(3) SRAMメモリカードのバッテリ電圧が低下したとき
(4) 本機の電源が切れているとき
(5) 本機が異常動作したとき

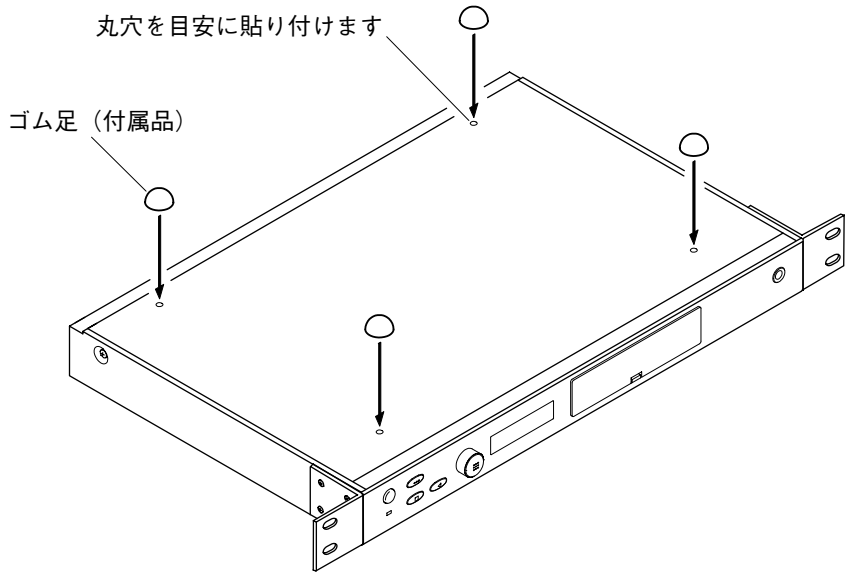
(1) ～ (4) については、正常な状態になれば端子はメイクします。
(5) の異常時には、一度電源を切り再度電源を入れなおしてください。正常に戻れば端子はメイクしますが、なお異常が続くようでしたら故障が考えられますので、販売店にご相談ください。

■ ラックマウントのしかた



■ ゴム足の取り付けかた

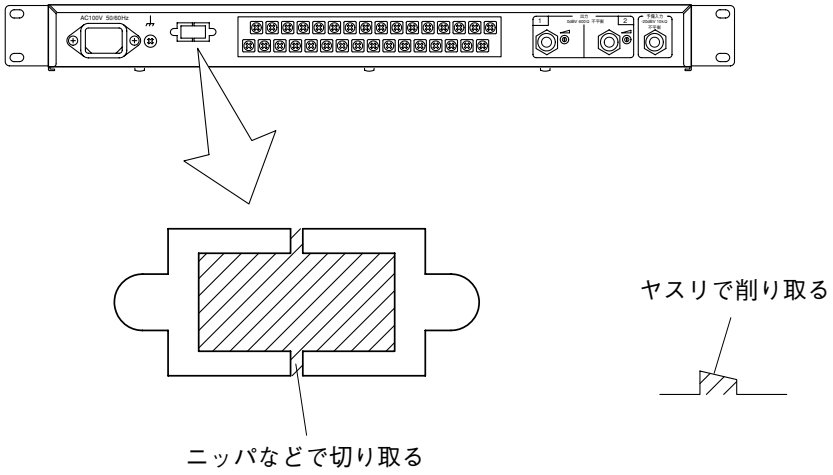
卓上に置いてご使用されるときは、付属のゴム足を本機の底面に貼り付けてください。



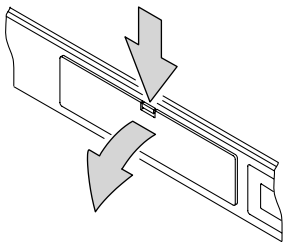
■ RS-232C 端子の移設

フロントカバーの中にある RS-232C 端子を後面パネルに移動させることができます。
RS-232C 端子の移設作業をするときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。

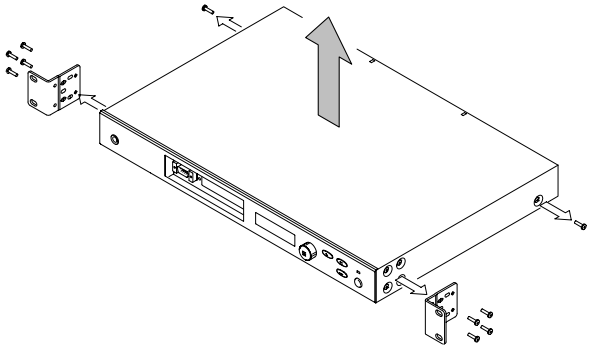
《 準備 》
後面パネルの RS-232C 取付部のつなぎ部分をニッパなどで切り取り、切り残しをヤスリで削ります。



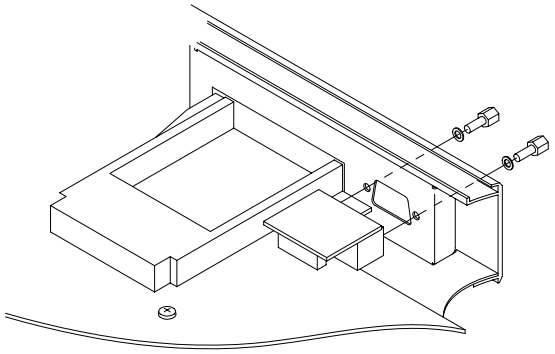
1. フロントカバーを取り外します。
フロントカバーのつめを下に押して、取り外します。



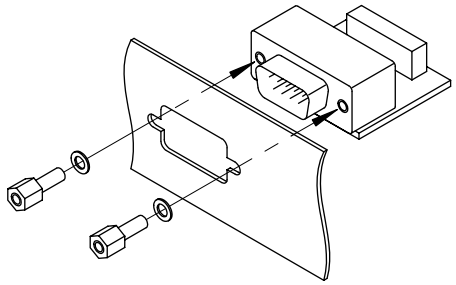
2. 側面左右各 5 ヶ所のねじをはずし、ラックマウント金具とケースを取り外します。



3. RS-232C コネクタを取り付けているネジ（2本）とワッシャ（2本）を取り外します。



4. **手順 3.** で外したネジとワッシャを用いて RS-232C コネクタを後面に取り付けます。



5. ケース、ラックマウント金具、およびフロントカバーを元どおりに取り付けます。

■仕　様

電　　源	AC100 V　50／60 Hz または DC24 V　0.3 A
消　費　電　力	9 W
周　波　数　特　性	20 ～ 20,000 Hz（44.1 kHz　サンプリング時） 20 ～ 14,000 Hz（32 kHz　サンプリング時）
歪　　率	0.3%以下（44.1 kHz、録音グレード：ハイ 2）
出　　力	出力1、2　　：0 dB *、600 Ω、不平衡、ホーンジャック／M3.5 ねじ端子 ヘッドホン出力：0 dB *、100 Ω、不平衡、ホーンジャック
入　　力	予備　　：–20 dB *、10 k Ω、不平衡、ホーンジャック
メモリーカード実装数	2枚（A、Bの2スロット）　※ メモリーカードは別売です。
再　生　モ　ー　ド　数	2元モノラルまたは1元モノラル（切換式）
再生プログラム数	8プログラム（ダイレクト制御）、256プログラム（バイナリ制御）のいずれか 上記に優先して緊急文章を1文章再生可能
制　御　入　力	起動1 ～ 8　、再生、停止1 、 停止2 、緊急、クリア：無電圧メイク接点　50 ms 以上、 開放電圧　DC30 V、短絡電流　10 mA、 M3.5 ねじ端子 RS-232C 端子　　：D-sub コネクタ（9 ピン）　オス
制　御　出　力	ビジー出力1・2、異常出力：M3.5 ねじ端子、接点容量　DC30 V　0.5A
操　作　表　示	16 文字 ×2 行　バックライト付 LCD
仕　　上　　げ	パネル：アルミ 、黒（マンセル N1.0 近似色）、3 分艶塗装 ケース：プレコート鋼鈑、黒（マンセル N1.0 近似色）、3 分艶
質　　量	約 4 kg

＊ 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

電源コード （5 m） …… 1
不平衡型ホーンプラグ付コード …… 2
ラック取付ねじ …… 4
ラック取付座金 …… 4
ゴム足 …… 4

TOA

TOA お客様相談センター	
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）	フリーダイヤル 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。
最寄りの営業所については、下記のホームページをご確認ください。

TOA ホームページ　http://www.toa.co.jp/

201507